西予総合福祉会　中・長期計画

長期事業年度（H26 年度～H30 年度）

社会福祉法人　西予総合福祉会

平成２０年度に策定しました西予総合福祉会中長期計画の検証として、平成２３年度に第１回（短期）、平成２６年度には第２回（中期）、そして今回は第１次中長期計画の最終回（長期）となる検証を行いその結果がまとまりましたのでご報告いたします。

長期計画期間の５年間（平成２６～３０年度）は、社会福祉法人をとりまく情勢が大きく変動いたしました。平成１２年介護保険制度の開始に象徴される社会福祉基礎構造改革により、措置から契約の流れのなかで、社会福祉法人にはそれまでになかった経営を担うこととなり、自らの事業継続のために収益力が求められることになりました。しかし、現在では社会環境の変化により社会福祉法人には再び非営利性が注目されるようになり、平成２９年社会福祉法の改正等により社会福祉法人制度改革がなされました。このことにより社会福祉法人本来の責任や役割が明確化され、高い公益性をもつ組織としてあらためてこれまでの事業運営を振り返るきっかけとなりました。そういったなかで、このたびの検証結果をもとに第２期中長期計画につなげ、引き続き“老人に生きがいを、障がい者には希望を、子どもには大きな夢を”の基本理念の下、地域に貢献する組織として事業を展開してまいります。

最後になりましたが、平成２０年度からの第１次中長期計画をとおして、短期、中期、長期、それぞれの区切りでの検証作業においては、ご利用者様、ご家族の皆様には貴重なご意見をお寄せいただき、私たちの日頃の姿を映し出していただきましたことに厚くお礼申し上げます。また、中長期委員会をはじめ各施設の職員には業務の傍ら検証作業に取り組んでいただいたことに感謝しごあいさつといたします。

社会福祉法人西予総合福祉会
理事長　清家浩之

目次

第１章　中長期計画　中長期計画（H26 年度～H30 年度）実績について
　第１節　中長期計画委員会　（１）
　第２節　長期計画の検証　（２）
第２章　中長期計画
　第１節　理念・法人目標・数値計画　（５）
　　１　法人数値計画　（６）
　　２　養護・障がい者支援施設目標・数値計画
　　（１）　ひまわりの家　（２３）
　　（２）　障がい者施設希望の森　（２５）
　　（３）　障がい者施設松葉学園　（３０）
　　３　乳幼児施設目標・数値計画
　　（１）うわまち南保育園　（３５）
　　（２）うわまち東保育園　（３８）
　　（３）中川保育園　（４０）
　　（４）田之筋保育園　（４２）
　　（５）下宇和保育園　（４４）
　　（６）明間保育園　（４７）
　　（７）宇和保育園　（４９）
　　４　高齢者施設目標・数値計画
　　（１）松葉寮　（５２）
　　（２）ケアハウスれんげ　（５６）
　　（３）福祉の里　（５８）
　　（４）游の里　（６６）
　　（５）皆楽園　（７２）
　　（６）あけはま荘　（７５）
　　（７）ケアハウスはまゆう　（７７）
第３章　利用者等調査・自己評価
　第１節　利用者・利用者ご家族アンケート調査結果　（８０）
　　１　障がい者支援施設調査集計結果　（８１）
　　２　乳幼児施設調査集計結果　（８５）
　　３　高齢者施設調査集計結果
　　（１）特別養護老人ホーム３施設集計　（９０）
　　（２）デイサービス、ショート、ＧＨ、あんしんの家　（９３）
　　（３）ケアハウスれんげ、はまゆう　（９６）
　第２節　自由意見への回答
　　１　障がい者支援施設　（９９）
　　２　乳幼児施設　（１１２）
　　３　高齢者施設　（１２０）
第３節　自己評価
　　１　障がい者支援施設　（１４５）
　　２　乳幼児施設　（１５３）
　　３　高齢者施設　（１５９）
第４章　参考資料　（１６８）

第１章　中長期計画の長期計画（平成 26 年度～30 年度）実績について

第１節　中長期計画委員会

中長期計画では、その進捗状況を確認するため、利用者家族アンケート等を行い計画の達成度や新たな課題の発掘に努め計画に反映させることと記されています。前回は中期事業年度（H23～25 年度）の実績を検証、今回は長期事業年度(H26～30 年度)の検証を実施いたしました。前回同様のアンケートや聞き取り調査等も実施しております。

中長期計画の実績は、法人本部で取りまとめ、各施設の施設長に協力を得て検証を行いました。

利用者御家族様へのアンケートは平成 30 年 9 月吉日付で依頼書（参考１）を添えて、施設ごとに無作為に抽出した 30 人にお願いしました。記入者は無記名とし回収率を上げるために、法人本部への郵送か回収箱への投函を選択出来るようにしました。なお、利用者数が 30 人に満たない施設においては全員に依頼し、法人全体での依頼総数 770(前回 901)、回収率 78.3%（前回 70.9%）でした。

第 2 節　長期計画の検証

（１） 法人本部

平成 26 年度から平成 30 年度は中期計画時に導入した事業部制の導入、人事制度の導入、リスクマネジメント体制の構築を推進してく期間となりました。一方平成 30 年度には、今後の法人の方向性を検討するための中長期戦略委員会を立ち上げ、今後 5 年間の戦略計画を作成いたしました。

事業部制は、老人事業部、養護・障がい事業部、児童事業部がそれぞれの課題・問題点を把握し本部と連携しながら問題解決していくこととしました。

人事制度は、平成 24 年度から進めていた働きがい向上プロジェクトの成果として、平成 26 年度から試行期間として実施いたしました。等級・役職体系の整備、評価制度の変更、賃金体系の変更を行いました。平成 29 年度からは試行期間を経て評価制度などの調整を行い、さらに働きがい向上を目指し本格的実施に至りました。また、人材確保の試みとして、経済連携協定（ＥＰＡ）による外国人介護福祉士候補者の受け入れを模索していきました。

平成 29 年 4 月 1 日から施行された社会福祉法に則した法人運営をおこなうため、評議員会、理事会の権限に応じた開催を実施し、また前年度決算において収益が３０億円以上の法人に会計監査人の設置が義務付けられたことにより、平成 29 年度から会計監査人を設置いたしました。社会福祉法改正によって法人組織のガバナンス強化を図ることが出来ました。

施設整備関係では、平成 28 年 4 月、平成 26 年に譲渡された児童養護施設「ひまわりの家」を吉田町から宇和町久枝地区に移転新築を行い、事業内容も情緒障害児短期治療施設（平成 29 年 4 月 1 日 児童心理治療施設に名称変更）定員１０名を開設し、児童養護施設の定員を３０名から２０名に変更し開設しました。また平成 30 年 3 月には、旧宇和病院跡地に「地域密着型特別養護老人ホーム開明の杜」と 4 月にはうわまち南保育園、うわまち東保育園を統合する形で「認定こども園うわまち未来こども園」を開設しました。

新規事業では、平成 26 年 6 月から、しばた胃腸科内科跡地に、内科・外科・リハビリテーション科を診療科目とした松葉診療所の運営を開始しました。また、リハビリ専門のデイサービスを「歩（宇和町）、歩みま店（三間町）」にそれぞれ開設しました。また「ヘルパーステーションまつば」を設立し訪問介護事業を開始し、在宅生活を支援する体制を整えました。

平成 27 年 4 月より西予市から譲渡を受けて、三瓶町蔵貫において養護老人ホーム「三楽園」の運営を開始し、環境上の理由や経済的理由によって自宅で生活する事が困難な高齢者の入所支援を行うこととしました。また、明浜町俵津において明浜小学校の児童を対象とした学童保育「おれんじクラブ」を開設し子育て支援の充実を図りましが平成 30 年 4 月からは、西予市の委託先の変更により地元事業者に引き継いでいただくこととなりました。また、平成 30 年には、官から民への流れの中、西予市立石城保育園及び多田保育園の移管を受け運営を行いました。平成 30 年西日本豪雨災害により、明間保育園が避難指示地域に指定され、保育園が使用できなくなり、明間地区内の昭和多目的集会施設をお借りして引き続き明間地区で保育を行うことが出来ました。

長期計画の検証のもと、今後の事業展開としては、人口減少に伴う人材不足が大きな課題となってきています。そのためには、人事制度の更なる充実や外国人労働者の受け入れなど導入して行く必要があると考えます。

また、築 30 年を超える老朽化した施設を更新する時期が近付いている中、更新計画を立て、更新時期や資金の調達を検討していく必要があります。

地域に求められる社会福祉法人としてより一層信頼される組織なるよう努めてまいります。

(2)養護・障がい事業部

養護部門では、平成 26 年度より、吉田町で児童養護施設「ひまわりの家」を譲渡され、定員 30 名で運営を始め、平成 28 年 4 月には、西予市久枝の地に新施設を建設し移転いたしました。移転と同時に地域のニーズに対応するため、事業内容を、心理的問題を抱え日常生活の多岐にわたり支障をきたしている子どもたちに、医療的な観点から生活支援を基盤とした心理治療を中心に、学校教育との緊密な連携による総合的な治療・支援を行う施設である情緒障害児短期治療施設（平成 29 年 4 月 1 日 児童心理治療施設に名称変更）定員１０名を開設し、児童養護施設の定員を３０名から２０名に変更し開設しました。

平成 25 年度より開始した「障がい児通所支援事業所ぽのぽの」において平成 27 年 4 月から、西予市より旧蔵貫保育園を借り受け、主に障がい児通所支援事業において利用が増加する夏休み等学校の長期休暇中に活用することにより受け入れ環境を整えました。また、サービスの更なる充実を図るため平成 30 年 10 月から、旧うわまち東保育園の園舎を改装し松葉学園より移転し運営を始めました。

また、平成 27 年 9 月から、障がい者の居住の場として８か所目となるグループホーム「きずな」定員６名を開設し、地域での少人数の共同生活を支援することとし、平成 28 年 1 月からは、障がい者就労支援事業の一環として喫茶店「パーラーりぷとん」の経営を始め、障がい者の就労の場を確保した。

今後は、障がい者入所施設においては、高齢化する利用者の対応が課題となって来ておりその対応と、地域共生社会の実現に向けた取り組みを、各施設、各事業において展開していくよう努めてまいります。

(3)児童事業部

「子ども・子育て支援法」のもと検討を重ねてきた認定こども園を、うわまち東保育園とうわまち南保育園を統合する形で旧宇和病院跡地に建設し、平成 30 年 4 月から事業を開始いたしました。幼稚園部門の 1 号認定の定員を 10 名、保育園部門の 2 号認定、3 号認定の定員を 180 名、合計 190 名の定員で開始するとともに、併設施設として学童保育「なかよしクラブ」を開設し子育て支援の充実を図りました。仕事と子育ての両立支援に関しては、平成 26 年 4 月より宇和保育園において午後 11 時まで子どもを預かる夜間延長保育「よつばルーム」の運営を開始しました。平成 29 年 1 月より西予市からの要請により宇和町小学校区を対象とした学童保育「トトロクラブ」の運営を行うこととなりました。また、官から民への流れの中、西予市立石城保育園及び多田保育園の移管を受け平成 30 年度から運営を行いました。

平成 30 年 7 月豪雨災害によって、明間保育園が避難指示区域に指定され、保育園が使用できない状況になりました。地域の皆さまの協力を得て、昭和多目的集会施設をお借りして引き続き明間地区で保育を行うことができましたが平成 31 年度は避難指示区域のため休園を余儀なくされ、小学校の廃校もあり今後の運営について検討が必要な時期が来ています。

今後は、少子化を見据えた事業展開や、保護者ニーズへの対応が難しくなってくると思われます。次世代を担う子どもたちの健やかな成長をサポートしていけるよう、保育の原点を見失わず事業を展開していくよう努めてまいります。

(4)老人事業部

長期事業年度（平成26～平成30年度）を振り返りますと、スクラップ＆ビルドを実施した時期であると思います。平成26年6月から、しばた胃腸科内科建物を購入し、松葉診療所を開設することができ、医療と福祉の連携のもと、在宅福祉サービスの充実を図りました。

平成27年度には、経営の効率化を図るため「石城あんしんの家れんげ」のショートステイ定員３名を廃止し、「ななほし中川」２名、「あんしんの家」１名を増員することといたしました。また、三間地区でリハビリ専門デイサービス歩みま店の定員を増員し地域ニーズに対応いたしました。

平成30年1月に多田地区で行っていた小規模のデイサービス「多田あんしんの家」を利用者の減少に伴い事業を廃止いたしました。しかし、地域ニーズが多い入所施設を平成30年3月から、旧宇和病院跡地に地域密着型特別養護老人ホームとして「開明の杜」を入所29名、4月から短期入所10名で新たに開設いたしました。こちらには「居宅介護支援事業所松葉寮」及び「ヘルパーステーションまつば」の事務所を移転し、新たなる地域の福祉拠点の役割を担って参ります。

この年7月に西日本豪雨による災害が発生し、游の里温泉と游の里デイサービスは4ヶ月という長期にわたる休業を余儀なくされ、温泉は年末の12月下旬にデイサービスは年明けの1月上旬に再開することが出来ました。また、宇和島市三間町で運営していた「リハビリ専門デイサービス歩みま店」も豪雨災害の影響を受け、利用者が減少しました。更に建物の賃貸借契約が終了することにより平成31年3月で廃止いたしました。一方、宇和地区の利用者ニーズに対応するため、閉園したうわまち南保育園に、宇和町伊賀上地区で運営していた「リハビリ専門デイサービス歩」を9月に移転し利用者増加に対応していきました。

人材確保について、人口減少に伴い働き手不足が顕著になり職員の確保が難しい状況になりつつあります。平成28年度から経済連携協定（ＥＰＡ）による外国人介護福祉士候補者の受入れを模索し、また外国人技能実習生の受け入れも検討しつつ、人材の確保が課題となって来ています。

国が進める地域包括ケアシステムの中で、今後も各事業のスクラップ＆ビルドを検討しつつ、必要なサービスを見極めつつ事業を展開していきたいと考えます。

第２章

第１節　　理念・法人目標・数値計画

〇基本理念

一　老人に生きがいを
一　障がい者には希望を
一　子どもには大きな夢を

多様化されていく社会の要請に応じ、福祉サービスの拠点として、総合的、多角的な施設作りを展開し、子ども、老人、障害者そして地域社会と「共に生き、共に歩み、共に育つ」ことをモットーに、心豊かな地域社会作りをめざします。

〇基本方針

西予総合福祉会は、老人、障がい者、子ども、そして地域社会と「共に生き、共に歩み、共に育つ」を行動の指針として、基本理念を支える三つの力「顧客の満足」「職員の満足」「経営の満足」の向上に取り組みます。

（１）　老人、障がい者、子どもの尊厳を守り、多様化する社会の要請に応じ、関わるすべての方々の福祉ニーズを的確に捉え、安心・安全な福祉サービスを展開します。

（２）　福祉活動の財産は人であるとの考えに基づき、利用者中心の福祉実践、専門性の高い職員集団作り、職員の処遇整備を行い、人材育成に努めます。

（３）　業務改善、経営の効率化、計画的な見直しのある施設整備をし、健全経営を保ちます。

（４）　地域に支えられ必要とされる法人として、社会に貢献できる施設運営に取り組みます。

1　数値計画

(1)　地域に必要な福祉サービスの展開

項目			短期計画 H21～22 年度	中期計画 H23～25 年度	長期計画 H26～30 年度
施設事業強化	障害者施設	実績	就労継続支援事業開始	障害者自立支援法に基づく体系移行	就労継続作業棟
			完了	H23 体系移行	H26 年就労継続活動棟建設
		実績	新グループホーム・ケアホーム建設	新グループホーム・ケアホーム事業開始	
			完了	H23 事業開始	
	乳幼児施設	実績	学童保育の実施	公立保育園移譲経営 ２～4 ヶ所	法人内保育施設整備計画
			完了	長期にて継続検討	計画中止
		実績		学童保育「ななほし中川」運営開始	
				平成 25 年度運営開始	
		実績		夜間延長保育の検討・施設整備	
				施設設備完了	
		実績		認定こども園の検討	幼保連携型認定こども園の設立
				認定こども園プロジェクト委員会立上げ	H30 年認定こども園設立
	高齢者施設	実績	特養、デイサービス あけはま荘・ケアハウスはまゆう・特養 松葉寮・ケアハウス れんげ施設移譲経営	あんしんの家 1 グループホームうつのみやさんの家移転廃止検討 游の里デイサービス 事業内容検討 ケアハウス特定施設事業開始	あんしんの家 1 明浜地区施設整備 計画
			移譲経営開始	游の里デイ事業内容長期にて検討 うつのみやさんの家新築移転 ケアハウス 2 施設特定事業開始	H30 年 1 月多田あんしんの家事業廃止
		実績	あんしんの家移転		
			完了		H30 年地域密着型特別養護老人ホーム設立
	その他	実績		游の里温泉事業内容検討	
					游の里温泉事業内容検討
				長期にて継続検討	継続検討
新規事業取組	高齢者住宅事業への参入				定員 10 名程度
					サービス付き高齢者向け住宅検討
					継続検討

（2）業務改善、経営の効率化、施設整備

項目		短期計画 H21～22 年度	中期計画 H23～25 年度	長期計画 H26～30 年度
施設経営強化	職員給与 福利厚生	研修・被服助成の見直し	臨時･パート交通費見直し 給与・休暇の見直し	給与・休暇の見直し
	実績	継続実施	H22 年度実施　H25 年度完了	H26 年人事制度導入による給与体系の見直し実施
	各種契約の 見直し	電気省力化設備設置 電気保守点検見直し	電気省力化設備設置 給食業務外部委託	給食業務外部委託
	実績	完了	電力 1 施設 給食一部施設完了	松葉寮・皆楽園・あけはま荘・希望の森 4 施設実施

項目			短期計画 H21～22 年度	中期計画 H23～25 年度	長期計画 H26～30 年度
施設経営強化	障害者施設	実績	生ゴミ処理機 1	軽自動車 1	軽自動車　1 ホロ付トラック　2 ワゴン車　4 普通乗用車　1 作業トラック　1
			完了	1 台購入　1 台リース	軽自動車　1 軽トラック　1 ワゴン車　6 作業トラック　1
		実績	スプリンクラー設置	パソコン 4	パソコン　6
			H23 年度完了	完了	パソコン　4
		実績	駐車場整備	テレビ 6	トラクター　1
			完了	完了	見送り
		実績	作業場・車庫整備	エアコン 2 箇所	エアコン 20 箇所
			完了	6 台完了	見送り
		実績	食堂椅子・テーブル購入	居室改修	給湯用ボイラー
			完了	完了	見送り
		実績	元自活訓練棟改装		
			計画延期		
		実績	長期計画軽自動車 1 台 寄付金購入		
		実績	長期計画パソコン２台　購入		
	児童施設	実績	学童保育備品、固定遊具購入	総合遊具更新 2 箇所	総合遊具更新 1 箇所
			完了	完了	未整備
		実績	パソコン 2	エアコン 4	
			完了	完了	
		実績		カーテンの更新	カーテン更新
				完了	未整備
		実績	プリンター1	砂場日除けテント張替	
			2 台購入 砂場日除けテント張替完了	短期実施	
		実績	乳児室ロッカー1	物置 1	物置 1
			完了	完了	未整備
		実績	人工芝	生ゴミ処理機 3	
			2 園完了	生ごみ処理機 1 台完了	安全マット設置
		実績	ベランダひさし取付	調理台	
			完了	完了	
		実績	下駄箱	ロッカー	
			完了	未整備	門扉更新

施設経営強化		実績	フェンス更新、エアコン設置	ベランダ塗装	
			フェンス更新、エアコン配置 ベランダ塗装　完了	短期実施	エアコン更新
		実績		耐震診断 1 箇所	耐震診断 3 箇所
				1 箇所完了	1 箇所完了
		実績		耐震工事	
				1 箇所実施	職員トイレ改修
	高齢者施設	実績	ワゴン車 1	ワゴン車 2　軽自動車 2	ワゴン車 2
			中期計画 1 完了	完了	ワゴン車 1
		実績	リフト車 1	エアコン 65	軽自動車 4
			補助申請不採択	長期計画へ	軽自動車 2
		実績	緊急避難用扉設置	火災報知器センサー35	研修施設
			完了	一部　完了	完了
		実績	火災報知器センサー10	専用リビング・厨房整備 特殊浴槽 1　個室浴設置 ユニットバス完備 4 部屋　浴槽、洗い場の拡張 1 箇所　　ナースコール	空調設備
			4 か所更新		一部完了
		実績	専用リビング整備		娯楽室段差解消
			完了		完了
		実績	健康器具整備		特殊浴槽 4
			中期計画に延期	特浴完了　他長期計画に変更	未実施
		実績			入浴リフト 2
					入浴リフト 1
			ボイラー1	冷凍冷蔵庫スチームオーブン	ボイラー4
			更新		ボイラー4
		実績	ナースコール	完了	ナースコール
			計画見直し		完了
					濾過装置
					未実施
					エアコン 65
					一部更新
					マイクロバス 1
					未使用の為廃棄 1

(3)　生活の質を高める施設運営

①人材確保計画

長期計画実績

計画作成時には中途退職者数を考慮しない数値で正職員採用計画を作成する。

平成 23 年度に 4 人、24 年度に 8 人、25 年度に 8 人の中途退職者（正職員）があったため、その減少分を考慮し修正する。

平成 26 年度の人事制度改定により、嘱託職員、臨時職員を正職員に登用させることとし、正職員比率は 60%台後半を示すこととなる。

平成 26 年度から毎年事業拡大を行っており、それに伴い職員数も年々増加していった。また、人口減少の影響で、新規職員の確保が難しくなっている状況であり、職員の質の確保が問題となっている。

〈西予総合福祉会職員採用実績：H31 年 4 月修正〉

年度	正職員数	正職員採用数	嘱託職員	臨時職員	パート職員	総数	新規事業	退職職員数					正職員比率%
								正職員数	嘱託職員	臨時職員	パート職員	計	
20	171	10	15	119	113	418		10		19	18	47	40.9
21	212	51	13	154	141	520		20	1	14	33	68	40.8
22	216	24	17	159	145	537		14	1	20	20	55	40.2
23	225	22	16	161	162	564		7	0	25	33	65	39.9
24	237	23	21	146	178	582		10	1	18	32	61	40.7
25	247	26	27	142	183	599		16	2	19	23	60	41.2
26	415	65	0	0	223	638	※1※2※3	36	0	0	23	59	64.4
27	439	46	0	0	233	672	※4	28	0	0	29	57	65.3
28	453	47	0	0	240	693	※5	38	0	0	26	64	65.3
29	460	37	0	0	256	716		31	0	0	36	67	64.2
30	473	42	0	0	279	752	※6	29	0	0	37	66	62.3
		351						210	5	115	273	603	

※1　平成 26 年度　児童養護施設　ひまわりの家　設置経営

※2　平成 26 年度　松葉診療所　開院

※3　平成 26 年度　リハビリ専門デイサービス　歩みま店　事業開始

※4　平成 27 年度　養護老人ホーム　三楽園　受託

※5　平成 28 年度　ひまわりの家　移転新築　情緒障害児短期治療施設　事業開始

※6　平成 30 年度　地域密着型特別養護老人ホーム（短期入所は H30 年 3 月事業開始）事業開始

認定こども園　石城保育園　多田保育園　事業開始

② 人材育成

対人援助、介護、保育等社会福祉の現場に必要とされる技術や知識のレベルは年々高まってきており、必要とされる資格要件も示されることが多くなってきました。資格取得や研修の啓発を行い、質の高いサービスを実践できる人材育成に取り組みます。

施設種別	資格取得・研修等	短期計画 H21～22 年度	中期計画 H23～25 年度	長期計画 H26～30 年度
障害者施設	社会福祉士	2 人	6 人	6 人
	実績	1 人	1 人	1 人
	介護福祉士	2 人	4 人	10 人
	実績	1 人	4 人	18 人
	サービス管理責任者研修	6 人	4 人	10 人
	実績	8 人	18 人	9 人
乳幼児施設	初級カウンセラー	2 人	12 人	12 人
	実績	8 人	11 人	14 人
	中級カウンセラー			1 人
	実績	1 人		0 人
	福祉施設長専門研修		6 人	3 人
	実績	1 人	0 人	0 人
	新規：ＱＣ入門講座研修	0 人		
	実績	2 人		
高齢者施設	介護福祉士	14 人	47 人	37 人
	実績	19 人	44 人	36 人
	介護支援専門員	4 人	6 人	5 人
	実績	1 人	1 人	8 人
	社会福祉士		4 人	2 人
	実績	1 人	1 人	2 人
	管理栄養士		1 人	
	障害福祉サービス管理責任者研修		1 人	
	実績		1 人	
	ユニットリーダー研修	2 人	2 人	2 人
	実績	5 人	4 人	8 人
	認知症介護実践者研修	1 人	3 人	2 人
	実績	3 人	9 人	2 人
	認知症対応型管理者研修		2 人	1 人
	実績		1 人	1 人

長期計画実績

資格取得を奨励する為の資格取得にかかる旅費、宿泊費等の補助制度や取得者に対する助成金制度の導入などを進めた結果、上記のような実績を上げることが出来ました。障がい者施設の介護福地士取得が必要性を感じられ予定数を上回る取得者になっていますが、社会福祉士資格の取得は1人にとどまりました。高齢者施設では、介護支援専門員の資格取得者も予定数を上回っています。今後も質の高いサービスが実践できるよう資格取得に努めて参ります。

〈資格取得等計画〉

○ 平成24年度までに高齢者施設常勤介護職員の60%を介護福祉士とします。

長期計画実績

平成24年度末には、高齢者施設常勤介護職員の介護福祉士割合は52.5%でありましたが、平成30年度末にはその介護福祉士取得者割合が66.1%(127人/192人)と計画を上回ることが出来ました。今後も引き続きサービス向上に向け、介護福祉士資格取得に努めて参ります。

（4）財務計画

計画：内部留保金額・・・・・単年度1億2千万円

内部留保金額　長期計画実績

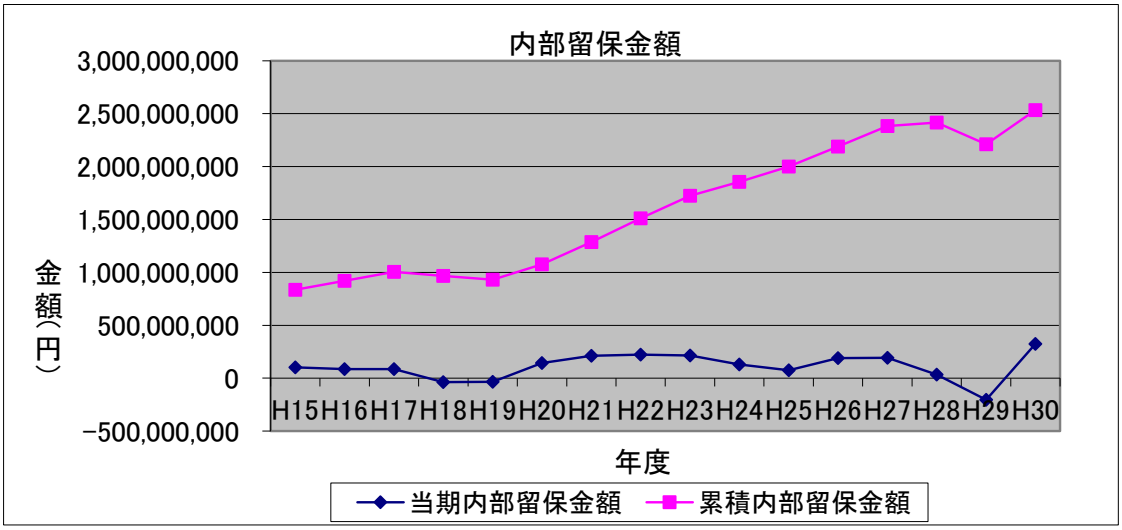
平成26年度決算後、長期計画年度での内部留保金額実績を以下に示します。

老人事業部では、デイサービス事業で介護保険の制度改正により減収となる。また、平成30年度から地域密着型特別養護老人ホームを開設し増収となった。障がい事業部では、松葉学園、希望の森ともにどの事業も依然好調に推移している。児童事業部では、平成30年度から石城、多田保育園を西予市から移管され増収となっている。

単年度内部留保金額は、平成26年度約1.8億円、27年度1.9億円、28年度0.3億円、29年度△2.0億円、30年度3.2億円の実績であり平成26年度から30年度までの平均は1億円と目標達成できていない。新規施設の建設や明間保育園事故保証金支払いで支出したことが原因である。平成20年からの中長期計画を通してみれば、単年度平均1.39億円であり、単年度目標の1.2億円を達成することができている。

内部留保金額

	積立預金取崩収入	積立預金積立支出	当期資金収支差額	当期内部留保金額	累積内部留保金額	備考
平成15年度	−11,505,000	49,515,000	63,418,739	101,428,739	835,767,627	松葉学園建設
平成16年度	−59,431,000	57,280,000	87,567,162	85,416,162	921,183,789	
平成17年度	−2,000,000	40,600,000	46,076,029	84,676,029	1,005,859,818	
平成18年度	−97,276,000	77,482,708	−18,276,239	−38,069,531	967,790,287	希望の森新住居棟
平成19年度	−155,000,000	62,000,000	57,572,184	−35,427,816	932,362,471	皆楽園建設
平成20年度	−15,000,000	2,000,000	155,437,486	142,437,486	1,074,799,957	皆楽園
平成21年度	−821,000	74,000,000	139,305,905	212,484,905	1,287,284,862	あけはま荘
平成22年度	0	78,413,029	144,767,661	223,180,690	1,510,465,552	
平成23年度	−14,000,000	124,800,000	103,680,402	214,480,402	1,724,945,954	明間保育園事故
平成24年度	−25,000,000	9,684,000	144,991,456	129,675,456	1,854,621,410	
平成25年度	0	9,300,000	66,097,743	75,397,743	2,000,948,002	GH建設・診療所購入
平成26年度	−12,500,000	50,800,000	150,275,222	188,575,222	2,189,523,224	
平成27年度	−130,544,330	52,600,000	271,297,569	193,353,239	2,382,876,463	ひまわりの家建設
平成28年度	−122,600,000	0	155,171,347	32,571,347	2,415,447,810	明間保育園事故補償金支払
平成29年度	−73,347,000	16,330,457	−147,405,029	−204,421,572	2,211,026,238	うわまち未来こども園・開明の杜建設
平成30年度	−3,000,000	227,000,000	99,372,235	323,372,235	2,534,398,473	



①生産性について

計画：1人当たり30万円台の確保を目指したいと考えております。

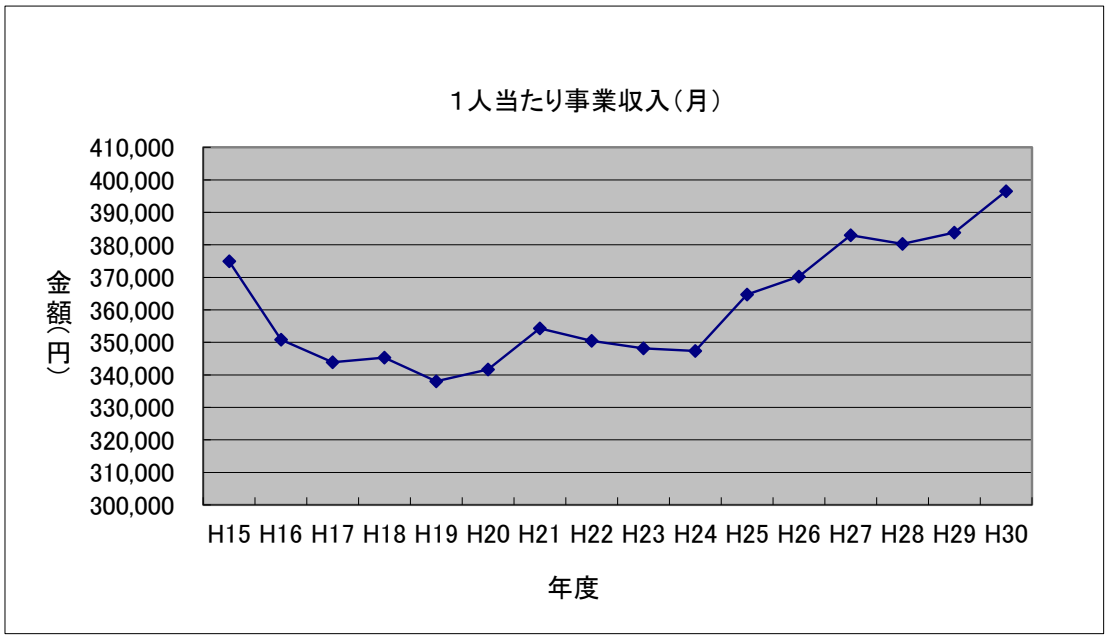
長期計画実績

平成26年度事業収入は月額約2.3億円、27年度2.5億円、28年度2.6億円、29年度2.7億円、30年度2.9億円と順調に推移し、1人当たり事業収入（月）は、平成26年度は370,191円、27年度382,911円、28年度380,250円、29年度383,798円、30年度396,520円と目標金額30万円台を確保することができた。

生産性

1人当たり事業収入（月）

		事業収入／12	平均従事者数	1人当たり事業収入（月）
1	平成15年度	109,863,944	293	374,962
2	平成16年度	113,307,121	323	350,796
3	平成17年度	115,880,317	337	343,859
4	平成18年度	114,647,019	332	345,322
5	平成19年度	118,647,114	351	338,026
6	平成20年度	142,810,818	418	341,653
7	平成21年度	181,380,900	512	354,260
8	平成22年度	185,067,529	528	350,507
9	平成23年度	193,211,447	555	348,129
10	平成24年度	200,088,770	576	347,376
11	平成25年度	217,000,950	595	364,707
12	平成26年度	233,220,230	630	370,191
13	平成27年度	257,315,865	672	382,911
14	平成28年度	264,654,020	696	380,250
15	平成29年度	277,102,063	722	383,798
16	平成30年度	299,372,325	755	396,520

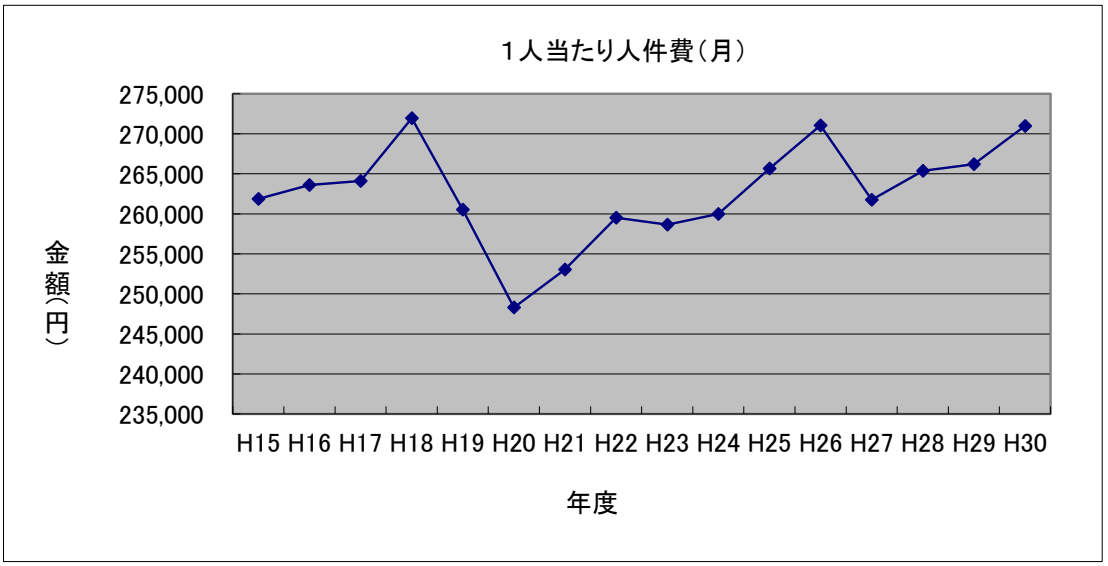


計画：人件費については人件費率66%程度、26万円を維持していきたいと考えます。

長期計画実績
平成26年度271,054 円（人件費率＝68.5%）、27年度261,741円（人件費率＝66.1%）、28年度265,381円（人件費率＝67.9%）、29年度266,194円（人件費率＝68.6%）、30年度270,980円（人件費率＝68.6%）と推移している。平成26年度に給与改定を行い平成27年度には減少したが、また年々上昇傾向にある。

生産性
１人当たり人件費（月）

		人件費／12	平均従事者数	１人当たり人件費（月）
1	平成15年度	76,726,960	293	261,867
2	平成16年度	85,138,522	323	263,587
3	平成17年度	89,002,761	337	264,103
4	平成18年度	90,286,018	332	271,946
5	平成19年度	91,448,546	351	260,537
6	平成20年度	103,786,628	418	248,293
7	平成21年度	129,555,607	512	253,038
8	平成22年度	137,033,382	528	259,533
9	平成23年度	143,553,780	555	258,655
10	平成24年度	149,741,702	576	259,968
11	平成25年度	158,066,148	595	265,657
12	平成26年度	170,763,725	630	271,054
13	平成27年度	175,890,003	672	261,741
14	平成28年度	184,705,287	696	265,381
15	平成29年度	192,192,307	722	266,194
16	平成30年度	204,589,693	755	270,980



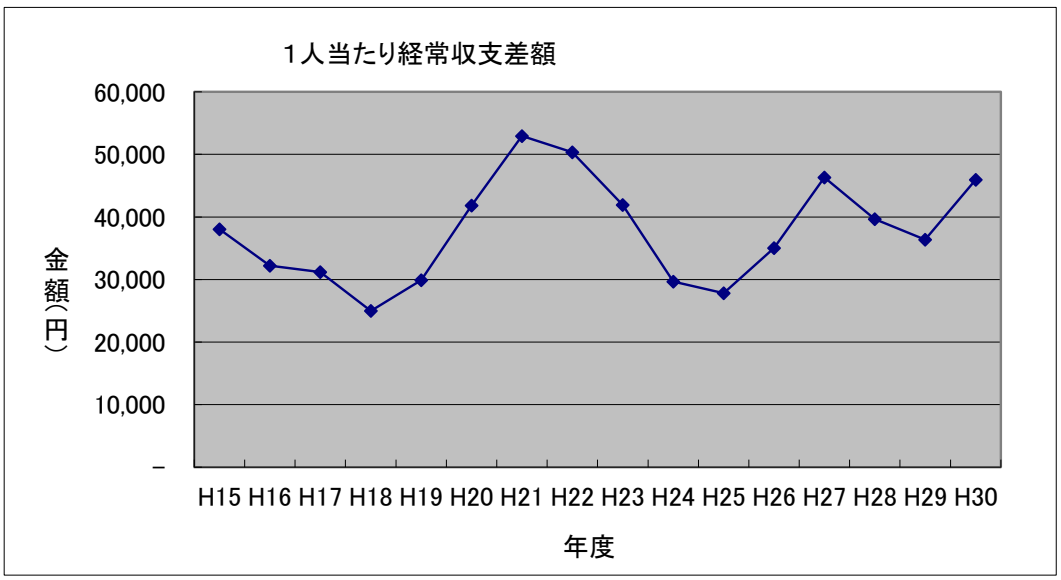
計画：経常活動収支差額については、5年間月当たり約1千万円程度で推移しており、職員の増加により1人当たりの金額は減少しております。しかし、目標としては3万3千円程度としたいと考えています。

長期計画実績
1月当たり経常活動資金収支差額は平成26年度約2千2百万円、27年度3千1百万円、28年度2千7百万円、29年度2千6百万円、30年度3千4百万円と計画数値を上回ってはいる。1人当たり経常活動資金収支差額（月）は平成26年度35,026円、27年度46,326円、28年度39,660円、29年度36,3707円、30年度45,935円と目標額（＝33,000円）を上回ることとなった。

生産性

1人当たり経常収支差額（月）

		経常収支差額／12	平均従事者数	1人経常収支差額（月）
1	平成15年度	11,145,406	293	38,039
2	平成16年度	10,401,231	323	32,202
3	平成17年度	10,515,957	337	31,205
4	平成18年度	8,293,253	332	24,980
5	平成19年度	10,501,626	351	29,919
6	平成20年度	17,487,300	418	41,836
7	平成21年度	27,107,969	512	52,945
8	平成22年度	26,580,052	528	50,341
9	平成23年度	23,257,863	555	41,906
10	平成24年度	17,085,315	576	29,662
11	平成25年度	16,563,294	595	27,837
12	平成26年度	22,066,432	630	35,026
13	平成27年度	31,130,908	672	46,326
14	平成28年度	27,603,517	696	39,660
15	平成29年度	26,258,956	722	36,370
16	平成30年度	34,680,938	755	45,935



②収益性について

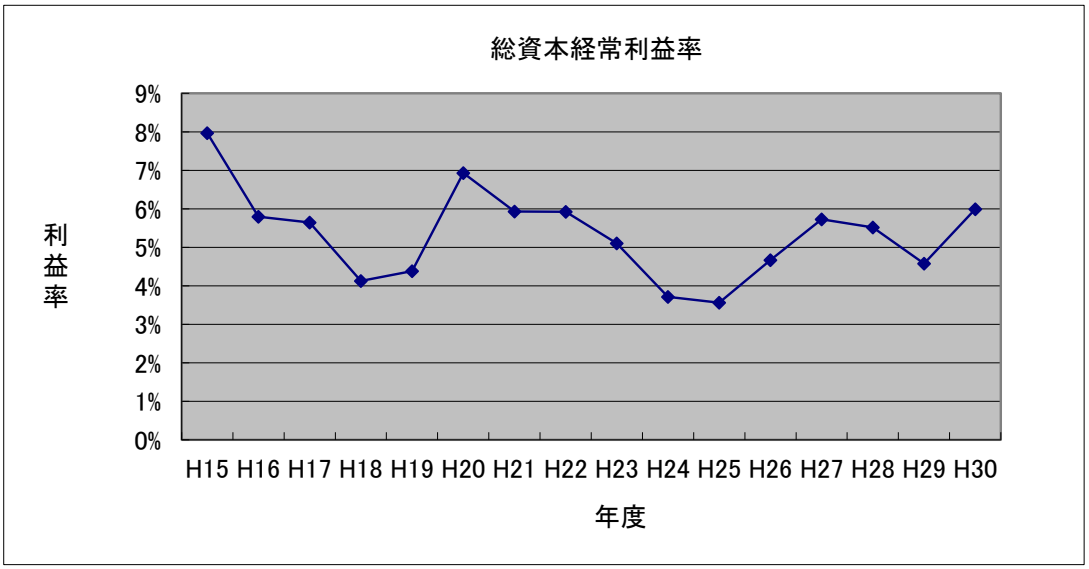
計画：経常活動資金収支差額を総資産、事業収入との比較により収益率を求めました。総資本経常収益率は、平成15年度と19年度を比較すると総資産が12億円増加し、利益率が3.5%減少しています。皆楽園、希望の森、宇和保育園などの建物資産の増加によるもので公立福祉施設を受託経営する21年度以降もこの傾向は一定期間続きます。しかし、減価償却等により目減りをする資産も高額となり、そのバランスの中で5%台を維持したいと考えます。

長期計画実績
平成26年度4.67%、27年度5.73%、28年度5.48%、29年度4.58%、30年度5.99%と目標のほぼ5%台を維持することができている。

収益性

総資本経常利益率

		経常収支差額	総資産	総資本経常利益率
1	平成15年度	133,744,871	1,679,231,595	7.96%
2	平成16年度	124,814,773	2,155,122,285	5.79%
3	平成17年度	126,191,480	2,234,782,892	5.65%
4	平成18年度	99,519,031	2,411,225,274	4.13%
5	平成19年度	126,019,507	2,875,397,894	4.38%
6	平成20年度	209,847,605	3,027,755,638	6.93%
7	平成21年度	325,295,633	5,484,437,516	5.93%
8	平成22年度	318,960,625	5,387,536,148	5.92%
9	平成23年度	279,094,353	5,465,853,102	5.11%
10	平成24年度	205,023,778	5,519,336,203	3.71%
11	平成25年度	198,759,533	5,579,666,543	3.56%
12	平成26年度	264,797,179	5,671,989,717	4.67%
13	平成27年度	373,570,891	6,521,568,121	5.73%
14	平成28年度	331,242,206	6,006,432,805	5.51%
15	平成29年度	315,107,476	6,879,464,239	4.58%
16	平成30年度	416,171,257	6,944,892,527	5.99%



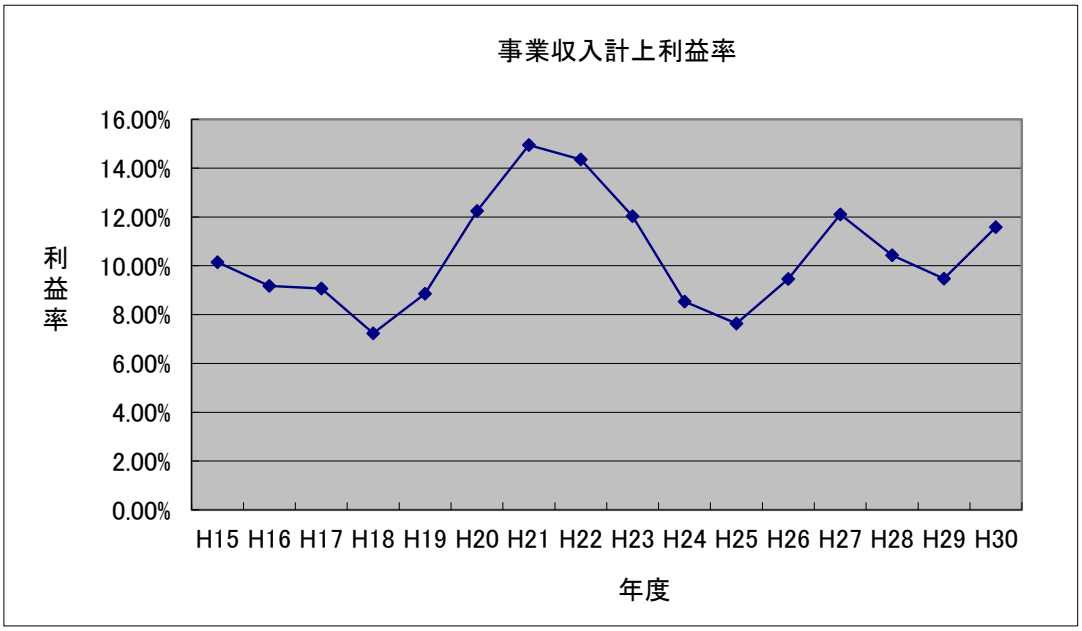
計画：事業収入経常利益率は、平成19年度で8.85％でありますが、今後の事業費単価の不透明さもあり6％後半を維持する事を目標としたいと考えております。

長期計画実績
平成26年度9.46%、27年度12.1%、28年度10.43%、29年度9.48%、30年度11.58%と目標を達成することができた。

収益性

事業収入経常利益率

		経常収支差額	事業収入	事業収入経常利益率
1	平成15年度	133,744,871	1,318,367,325	10.14%
2	平成16年度	124,814,773	1,359,685,450	9.18%
3	平成17年度	126,191,480	1,390,563,803	9.07%
4	平成18年度	99,519,031	1,375,764,224	7.23%
5	平成19年度	126,019,507	1,423,765,365	8.85%
6	平成20年度	209,847,605	1,713,729,815	12.25%
7	平成21年度	325,295,633	2,176,570,794	14.95%
8	平成22年度	318,960,625	2,220,810,345	14.36%
9	平成23年度	279,094,353	2,318,537,365	12.04%
10	平成24年度	205,023,778	2,401,065,237	8.54%
11	平成25年度	198,759,533	2,604,011,404	7.63%
12	平成26年度	264,797,179	2,798,642,755	9.46%
13	平成27年度	373,570,891	3,087,790,381	12.10%
14	平成28年度	331,242,206	3,175,848,235	10.43%
15	平成29年度	315,107,476	3,325,224,756	9.48%
16	平成30年度	416,171,257	3,592,467,897	11.58%



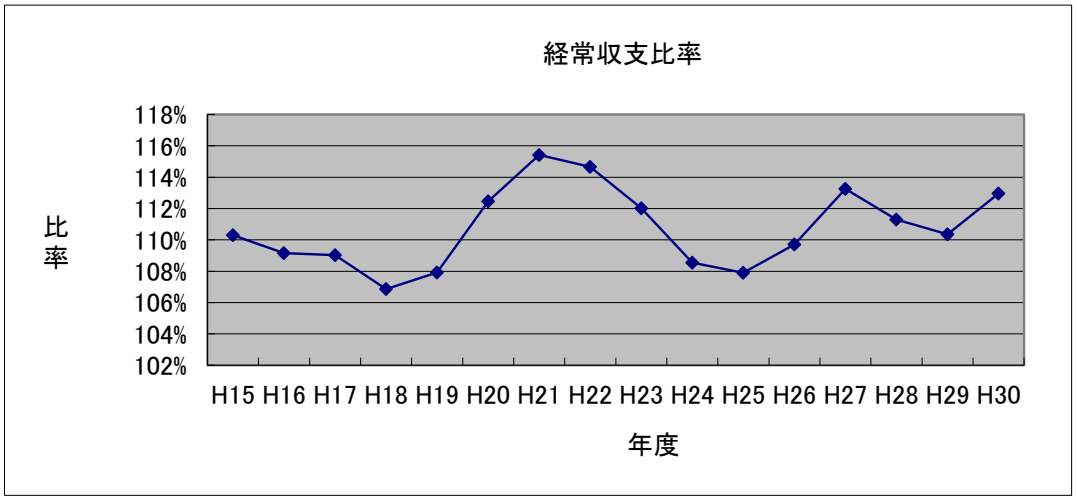
計画：経常収入と経常支出を対比しながら経常収支比率を見てみると、106％～110％の間にあり、年間差額は9千9百万円から1億3千3百万円の収入増となっています。今後の目標として106％を目指し経営の安定に努めたいと考えます。

長期計画実績
経常収支比率は、平成26年度109.70％、27年度113.25％、28年度111.29％、29年度110.35％、30年度112.96％と目標を達成することができた。

安全性

経常収支比率

		経常収入	経常支出	経常収支比率
1	平成15年度	1,432,463,455	1,298,718,584	110.30%
2	平成16年度	1,487,027,625	1,362,212,852	109.16%
3	平成17年度	1,524,716,803	1,398,525,323	109.02%
4	平成18年度	1,550,932,939	1,451,413,908	106.86%
5	平成19年度	1,718,787,047	1,592,767,540	107.91%
6	平成20年度	1,893,667,380	1,683,819,775	112.46%
7	平成21年度	2,434,636,658	2,109,341,025	115.42%
8	平成22年度	2,494,725,238	2,175,764,613	114.66%
9	平成23年度	2,600,608,436	2,321,514,083	112.02%
10	平成24年度	2,602,437,998	2,397,414,220	108.55%
11	平成25年度	2,713,554,369	2,514,794,836	107.90%
12	平成26年度	2,993,815,745	2,729,018,566	109.70%
13	平成27年度	3,191,931,941	2,818,361,050	113.25%
14	平成28年度	3,264,500,261	2,933,258,055	111.29%
15	平成29年度	3,359,335,076	3,044,227,600	110.35%
16	平成30年度	3,628,042,619	3,211,871,362	112.96%



参考

年度	減価償却費. 累計	年度	減価償却費. 累計
15	524,713,260	23	1,321,481,123
16	555,219,497	24	1,505,934,018
17	597,240,203	25	1,694,084,345
18	643,118,995	26	1,878,229,158
19	692,346,359	27	2,060,769,419
20	781,510,637	28	2,275,067,973
21	964,117,944	29	2,509,313,602
22	1,145,752,674	30	2,633,255,551

平成21年度～30年度の主な計画数値

単位:円

年度	経常収入	経常支出	経常収支差額	事業収入	人件費
21	2,170,000,000	2,025,000,000	145,000,000	1,953,000,000	1,432,200,000
22	2,230,000,000	2,084,500,000	145,500,000	2,007,000,000	1,471,800,000
23	2,260,000,000	2,114,500,000	145,500,000	2,034,000,000	1,491,600,000
24	2,290,000,000	2,144,500,000	145,500,000	2,061,000,000	1,511,400,000
25	2,300,000,000	2,154,500,000	145,500,000	2,070,000,000	1,518,000,000
26	2,310,000,000	2,164,500,000	145,500,000	2,079,000,000	1,524,600,000
27	2,340,000,000	2,194,500,000	145,500,000	2,106,000,000	1,544,400,000
28	2,350,000,000	2,204,500,000	145,500,000	2,115,000,000	1,551,000,000
29	2,360,000,000	2,214,500,000	145,500,000	2,124,000,000	1,557,600,000
30	2,370,000,000	2,224,500,000	145,500,000	2,133,000,000	1,564,200,000

（5）地域貢献

① 地域とともに歩む

ボランティア、研修生、実習生の受け入れを推進し、施設の開放に努めます。

○ 年間 1,620 人のボランティア受け入れを目標にしていましたが、長期検証期間には、平均 1,688 人受け入れることが出来ました。今後もボランティア、研修生、実習生を積極的に受け入れ地域に貢献できるになるよう努めていきます。

ボランティア受入実績				
年度　単位	障がい	保育園	高齢者	合計
H20　人数	468	460	523	1,451
H21　人数	346	454	656	1,456
H22　人数	361	958	811	2,130
H23　人数	340	1,189	729	2,258
H24　人数	197	1,055	704	1,956
H25　人数	178	1,236	1,224	2,638
H26　人数	219	1,052	618	1,889
H27　人数	181	876	636	1,693
H28　人数	162	912	733	1,807
H29　人数	52	958	558	1,568
H30　人数	79	998	408	1,485

② 地球に優しく

自然を愛し、環境に配慮した未来に続く経営に努めます。

○ 生ゴミのリサイクル化

長期計画実績
　養護・障がい事業部 3 施設は生ごみ処理機を導入して 100%リサイクル達成しています。
保育園の 1 園は目標を上回る実績を残していましたが、生ごみ処理機の破損。残りの園も最終目標である 100%削減に向けて再度取り組んでいます。
高齢者施設では、全事業所外部委託に変更しており、事業所での生ごみは出していない状況です。

○ CO2 排出量 10%削減（ガソリン・可燃ごみ 10%削減）

ガソリン消費量					
年度　単位	障がい	保育園	高齢者	合計	20 年比率
H20　ℓ	7,502	288	23,064	30,854	
H21　ℓ	8,515	232	25,470	34,217	111%
H22　ℓ	10,786	318	27,925	39,030	126%
H23　ℓ	14,351	222	35,735	50,086	162%
H24　ℓ	16,473	489	38,909	55,382	179%
H25　ℓ	19,712	908	40,100	55,400	180%

H26 ℓ	18,238	1,134	38,809	58,181	189%
H27 ℓ	23,278	947	36,342	60,567	196%
H28 ℓ	24,198	1,101	37,043	62,342	202%
H29 ℓ	27,094	871	34,702	62,667	203%
H30 ℓ	27,884	303	29,249	57,436	186%

長期計画実績
　CO2 排出量 10%削減となっていますが、目標には達していません。各事業部とも、事業内容の変更で平成 20 年度に比べ大幅に増加し、平成 29 年度には 2 倍の使用量となっています。サービス地域の拡大、利用者の増加等による結果と考察します。平成 30 年度は、多田あんしんの家の閉鎖や豪雨災害により福祉の里デイと游の里デイの同一敷地でのサービス提供により使用量が減っています。

可燃ごみ袋購入金額						
年度	単位	障がい	保育園	高齢者	合計	20 年比率
H20	円	122,000	110,800	632,300	865,100	
H21	円	103,000	104,644	709,000	916,644	106%
H22	円	144,000	85,776	622,800	852,576	99%
H23	円	116,000	87,735	1,030,500	1,234,235	143%
H24	円	109,200	107,783	986,500	1,203,483	139%
H25	円	112,800	71,436	907,000	1,091,236	126%
H26	円	147,500	76,102	954,560	1,178,162	136%
H27	円	133,000	97,152	919,060	1,149,212	133%
H28	円	162,500	73,680	988,660	1,224,840	142%
H29	円	154,500	111,900	997,320	1,263,720	146%
H30	円	127,000	111,300	996,600	1,234,900	143%

長期計画実績
　目標の可燃ごみ削減目標の 10%削減は達成できませんでした。利用者様や職員の増加に伴い、可燃ゴミの量は増加をしています。ここ数年は対 H20 年度比 140%で推移しています。生ごみ処理機の設置に伴い、資源化には各施設の努力義務としています。

○　上水道使用量 10%削減

上水道使用量						
年度	単位	障がい	保育園	高齢者	合計	20 年比率
H20	㎥	17,510	11,863	37,450	66,823	
H21	㎥	20,220	11,404	37,361	68,985	103%
H22	㎥	18,060	11,755	38,704	68,519	103%
H23	㎥	16,116	11,507	54,710	82,333	123%
H24	㎥	16,520	8,593	52,678	77,791	116%
H25	㎥	20,148	8,707	53,894	82,749	124%
H26	㎥	21,038	11,188	51,162	83,388	125%
H27	㎥	22,987	8,364	49,657	81,008	121%

H28　㎥	33,280	8,659	50,520	92,459	138%
H29　㎥	26,106	8,509	49,343	83,958	125%
H30　㎥	19,385	7,003	50,172	76,560	114%

長期計画実績
　目標の 10%削減とはならず、法人全体では 14%増えています。障がい施設では、施設の漏水の修繕したこと、保育園では、平成 30 年度から 2 園閉し認定こども園 1 園になったことにより使用量が減っています。高齢者施設は、大きな変化なく推移しました。目標であった 10%削減には至っていませんが、漏水の修繕実施によって使用量を抑えることが出来ました。貴重な水資源であり、職員一人一人の意識付けが必要だと考えます。

③　災害対策：地震・津波災害の被災者への支援ができる体制作りを行ないます。

○　水・食料 3 日分

（1 人が 3 食×3 日生活出来ることを 1 単位としています。）

非常用水、食糧備蓄				
年度　　人	障がい	保育園	高齢者	合計
H22　3 日分	240	542	200	982
H25　3 日分	155	264	510	929
H26　3 日分	155	300	655	1110
H27　3 日分	155	300	655	1110
H28　3 日分	175	300	655	1130
H29　3 日分	175	300	655	1130
H30　3 日分	180	300	645	1125

※保育園は通園施設の為、通常は 1 人 1 日分 1 食として備蓄しています。
上記のデータでは数字を合わせるので 1 人が 3 食×3 日生活出来ることを 1 としています。　　（1 人 1 食　2,375 人分）

長期計画実績
　水、食料の備蓄 3 日分を利用者定員分は確保することはできていますが、東日本大震災を経験し、大規模の災害を想定すると 7 日分が必要となります。7 日分を備蓄するためには、保存場所や保存方法について協議をする必要があると思われます。近年大規模災害が連続して発生していくことを考えれば、備蓄を増やしていく必要があります。

(6)　その他

法人設立記念の日に、10 年・20 年・30 年の永年勤続表彰を行います。

2　養護・障害者支援施設目標・数値計画

（１）　ひまわりの家

目標概要

平成 26 年 4 月 1 日、宇和島市吉田町に本部のある社会福祉法人吾子苑から事業譲渡された定員 30 人の大舎制児童養護施設です。児童養護施設は愛媛県宇和島市吉田町立間尻甲 748 番地、施設建物は昭和 49 年建設の鉄筋コンクリート造３階建で老朽化がすすんでおり、耐震診断も未実施です。（社福）吾子苑との事業譲渡契約等に基づき平成 27 年には西予市宇和町に新施設の建設を始め翌年には移転する計画であり、現在愛媛県担当課と協議中です。

計画している施設は木造 2 階建て、それぞれ小規模グループケアを実施し、児童養護３グループ（定員 20 人）、ショートステイ２人、児童心理治療２グループ（定員 10 人）です。

保護者のない児童や家庭環境上養護を必要とする児童に対し、公的な責任として社会的に養護を行う児童養護施設は全国に 595 か所（H25.10.1 現在）、県内では 10 か所あります。要保護児童数の増加や保護理由の複雑化等に対処するため施設の小規模化、家庭的養護の推進が求められています。また、入所児童の 53.4%（H20.2.1 現在）が被虐待児、障害等のある児童が 23.4%（H20 現在）であり、こうした児童への心理的ケアや生活指導には高度な専門性を有する職員が要求されます。

児童心理治療施設（情緒障害児短期治療施設）は全国に 38 施設、入所児童 1,310 人（H25.10.1 現在）で、軽度の情緒障害を有する児童を入所させ医療、心理療法、養護、教育を総合的に提供できる児童福祉法上の治療施設です。現在、愛媛県は未設置のため必要な場合は県外の行政や施設に依頼して入所することになります。この施設を児童養護施設に併設し平成 28 年には運営する計画をすすめています。児童精神科医師・小児科医師、看護師、臨床心理士など専門職の雇用や嘱託契約など解決すべき課題がありますが、愛媛県・西予市担当課や関係機関の指導を仰ぎながら準備を進めてまいります。

平成 26 年から 27 年は新施設建設の準備期間と位置づけ、職員の確保や専門性を高める研修、先進施設での実習や研修をおこない、28 年からの運営に支障が無いよう準備をしたいと思います。

長期計画実施状況

新築落成式を H28,3,28 に挙行し、4.1 から新施設にて運営を開始した。養護は 12 名、心理は 2 名でスタートしたが、その後利用者を順調に増やし、H30 年度、養護は 17 名、心理は 6 名となっている。30 年度から暫定定員になったために、充足率の向上に努めながら家庭的養護の確立をめざしたい。H29 年度 6 月に門扉を、県児童福祉施設整備事業補助金（1837 千円）を活用して完成した。入所者が増えることで、分教室が狭くなり、教育に支障を来たすことが想定内になってきたため検討課題に位置づけたい。

これまでに、多数の施設見学や出向いての説明等で施設への理解を深めてきた。今後、専門的知識や支援技能を高めながら、地域のニーズに応え、少しでも貢献できるように他機関や地域との連携に努めたい。

経過の進行表

施設目標	数値計画	短期計画 H26～27 年度	中・長期計画 H28～30 年度	財源等 （単位：千円）
施設設備	施設建設（養護 20 人、心理 10 人、ショート 2 人）	県と協議、建設	運営開始	国・県補助、借入及び自主財源
	実績	新築落成	H28 運営開始	国 236598 千円 市 38028 千円 借 8000 千円 自主 55558 千円
	普通校・特別支援学校の分校あるいは分級設置	県教委、市と協議		
	実績	小・中分教室設置		
専門職の育成	社会福祉士２人	１人	１人	
	実績	１人	１人	
	臨床心理士２人	１人	１人	
	実績	１人	０人	
	基幹的職員研修２人	２人		
	実績	１人		
	里親支援専門相談員１人		１人	
	実績		０人	
地域貢献	福福まつりに替わる行事の実施　参加者 100 人程度	福福まつり実施	新行事実施	補助金 15 万円 自主 15 万円
	実績	福福まつり実施	わんぱく祭り実施	県補助５０万円
災害対策	水・食糧 5 日分備蓄 50 人分	50 人分		
	実績	30 人分		
環境保全	上水道使用 10%削減			
	実績			
	生ゴミ資源化 100%	100%		
	実績	０%		
	ＣＯ２排出削減 10%		太陽光発電 10kw/ｈ　設置	
	実績		31,601kw/ｈ	
第三者評価	3 年ごとに受審		受審	自主 30 万円
	実績		H28 養護 H29 心理	H28 県 34 万円 H29 県 34 万円

（２）障害者支援施設 希望の森

施設の目標

希望の森は、施設開設から 30 年を経て、社会情勢や障害者福祉施策の変化する中、利用者一人ひとりのニーズに、より柔軟に対応しながら、これまで培ってきた信頼と施設の持つ専門性を福祉サービスという社会資源として提供し、地域と共に生きる福祉の拠点としての希望の森をめざします。

１）安定・継続的事業の展開

経過の進行表の事業の新体系移行や移行に伴う住居確保・改修については終了しているため、中・長期計画では次の点において力を入れ事業を展開します。

〇在宅利用者へのサービスの充実

生活介護事業の通所利用者も徐々に増加し、また利用したいというニーズもあります。利用の形態も様々であるため、送迎体制の確保、またニーズに応じた内容のサービスが提供できるよう生活介護のサービス内容の見直し等を行い、利用者の方の選択の幅が広がり充実した日々が送れるようにしていきます。

短期入所について、緊急時の受け入れも含め可能な限り対応することで、利用者や家族が安心して生活できるように努めます。

相談支援事業の取り組みによりニーズの把握、迅速な対応、社会資源の確保、事業所等との連携を図り、地域での生活がより一層充実したものとなるようにしていきます。

２）人材育成

〇サービス管理責任者・社会福祉士・介護福祉士資格取得については、別紙の通り。

〇高齢化や重度化に対応できる職員の育成にも力を入れ、たん吸引等講習会への参加も促していきます。

〇社会福祉職というプロとしての自覚を持ち、利用者が日常を心身ともに心地よく暮らしていけるよう、「当たり前のことをさりげなく支援できる職員」「自分の持っている個々の力を発揮し、チームとして取り組む姿勢をもつ職員」の育成を行います。

３）設備の改修・更新

〇設備の改修・更新は別紙の通り。

〇施設の建替えも視野に入れ、無駄のない施設整備や設備の改修等に取り組みます。

４） 地球に優しい事業経営に努める

〇 上水道使用量を 10%削減します。

〇 資源のリサイクルを図り、可燃ゴミを 10%削減します。

〇 CO2 排出量を減らす為電気、ガス、ガソリン、重油等消費量ベースで 10%削減します。

〇 生ゴミの資源化を図り、100%削減を継続します。

４）地域とともに歩む福祉施設として、ボランティア受入人数 年間 100 人を目指します。

５）平成 28 年度までに、南海トラフ地震対策として、利用者、職員合計 80 人の水・食料 7 日分の備蓄を完了します。

長期計画実施状況等

平成 26 年 2 月には開園 30 周年記念式典を執り行い、改めてご家族や地域の皆様のお力添え、また、日々の積み重ねや継続して取り組むことの大切さを感じました。今後も、利用者の方一人ひとりの思いに寄り添い、地域貢献を視野に入れながらサービスや事業を展開していきます。在宅で生活介護通所利用者の方の利用も少しずつ増加しており、地域のニーズに応えながら、さらに安定した経営を行っていきます。

【設備の改修・更新】

30 年という年月を経て、建物や設備等はかなり老朽化しており、すぐにではないが施設の建替え計画も視野に入れながら整備を進めています。居室等のエアコンについては毎年数台ずつ故障するため、利用者の方が不便をきたさないようその都度対応しています。利用者の方の高齢化と共に、居室のバリアフリー化や手すりの設置、利用者の方が自分の力を生かして快適に生活できるように努めました。

【地球に優しい経営】

光熱水費に大きな変化や削減は見られておりません。通所利用者の受け入れ体制の充実(送迎や日中活動の充実)や利用者一人ひとりに合った暮らしの実現を目指すうえでは、単純な削減は難しい状況です。節約できるところについては節約を行い地球に優しい環境作りに努めます。また、原発事故に対する施設防災計画を策定し、緊急避難先の受け入れ施設と提携を結びました。

【地域と共に】

毎年ボランティアや地域の方々と協力しながら、地域の行事に参加し、地域の活性化にもつながっています。今後も引き続き、地域の中で人とのつながりを大事に希望の森ができることを少しずつ積み重ねていきます。平成 30 年度より神野久地区福祉の里づくり協議会の事務局を希望の森でやっています。

【人材育成】

サービス管理責任者の研修は、計画的に受講出来ています。社会福祉士・介護福祉士等の資格についても、年々取得を志す職員が増えています。高齢化や重度化に対応できる職員の育成にも力を入れていき、社会福祉職というプロとしての自覚を持ち、利用者が日常を心身ともに気持ちよく暮らしていけるよう、「当たり前のことをさりげなく支援できる職員」「自分の持っている個々の力を発揮し、チームとして取り組む姿勢をもつ職員」の育成を行います。

経過の進行表

施設目標	数値目標	短期計画 H21～22 年度	中期計画 H23～25 年度	長期計画 H26～30 年度	財源等 （単位：千円）
事業の新体系移行	H23 年度中 生活介護・就労継続	障害程度区分認定 ブロック作業廃止	23 年度サービス管理責任者 4 人 在宅利用者の受入		
	実　績	22 年度末移行完了			

	居室の改修工事		定員 40～45 人の施設入所		
	実　績	23 年度から施設入所定員 40 人に減	23 年度交流ﾎｰﾑトイレ改修、居住棟渡り廊下設置	各居室のバリアフリー化を順次実施。29 年度男性トイレ改修	自己資金 3,340
	ケアホーム 8～10 人定員の開設		開設予定		自己資金 10,000
	実　績	ケアホーム開設 10 人	23 年度 10 人グループホーム夢の家へ移行		新築借家
	生ゴミ処理機	新規購入			自己資金 1,500
	実　績	21 年度購入済		29 年度買い替え	自己資金 1,450
	駐車場整備	整備			自己資金 1,500
	実　績	21 年度整備済			1,500
	作業場・車庫	整備			自己資金 1,500
	実　績	21 年度車庫 22 年度作業棟新築			1,600 国補助 11,865
	食堂椅子テーブル	購入			自己資金 1,000
	実　績	購入済		28 年食堂テーブル・イス一式購入	自己資金 950
防火体制整備	スプリンクラー設置工事	補助事業 県と協議	22 年度の事業（設計見直し）		自己資金 11,000 補助金 19,100
	実　績		23 年度工事済		自己資金 9,440 国補助 19,120
施設整備	居室･トイレ･浴室			居室・浴室補修	自己資金 1,000
	実　績		23 年度交流ﾎｰﾑトイレ改修、居住棟渡り廊下設置 24 年度屋根塗装 25 年度女性浴室改修 25 年度女性トイレ改修	27 年度食堂床改修工事 28 年度男性トイレ改修 29 年度男性トイレ改修	自己資金 3,340 自己資金 5,460 自己資金 954 自己資金 1,365
備品･車両等の更新	テレビ更新		H22～23 年度食堂・娯楽室 3 台 支援員室 2 台、交流ホーム 1 台		自己資金 1,000
	実　績	22 年度購入済			390

備品・車両等の更新	作業トラック			更新	自己資金 2,300
	実　績			27年度日本財団ダブルキャブトラックに買い替え	自己資金 1,691 補助1,390
	9人乗りワゴン車			更新	自己資金 1,500 補助1,000
	10人乗りワゴン車			更新	自己資金 2,000 補助1,000
	軽乗用車			更新	自己資金 1,300
	実　績	寄付で購入済			1,650
	ホロ付きトラック			更新	自己資金 2,300
	普通乗用車			更新	自己資金 1,500 補助1,000
	マイクロバス				
	実　績		24年度中古購入		3,469
	農耕トラクター			ﾄﾗｸﾀｰ（中古）	自己資金 1,500
	実　績			見送り	
	エアコン		食堂、事務室	娯楽室、訓練室 居室16室 職員室、支援員室	自己資金 4,000
	実　績		23年度居室5台 25年度食堂	見送り	445 450
	ノートパソコン			更新6台	自己資金 1,000
	実　績	2台購入済		見送り	280
	給湯用ボイラー			更新	自己資金 3,500
	厨房設備			ｼﾞｪｯﾄｵｰﾌﾞﾝ ｶﾞｽﾃｰﾌﾞﾙ 消毒保管庫 冷凍冷蔵庫	自己資金 3,500
	実　績	食器洗浄機ﾘｰｽ		見送り	
	大型洗濯機			更新	自己資金 1,500
	大型乾燥機			更新	自己資金800
	備蓄用倉庫			倉庫1	自己資金500
	生活介護活動備品			椅子・机	自己資金 1,000

人材育成	サービス管理責任者 6 人	研修 4 人	2 人	サービス管理責任者：毎年 1 人以上 相談支援専門員：長期で 3 人	
	実　績	4 人	23 年度 3 人 24 年度 4 人 25 年度 2 人	0 人	
	社会福祉士　4 人		4 人	長期で 2 人	
	実　績	1 人取得	25 年度 1 人	0 人	
	社会福祉士実習指導者			28 年度 1 人 資格のあるもの 1 人配置	
	介護福祉士　2 人		2 人	長期で 5 人	
	実　績	1 人取得	25 年度 4 人	26 年度 2 人 27 年度 2 人 28 年度 2 人 29 年度 1 人	
	介護福祉士実習指導者			資格のあるもの 1 人配置	
災害対策	水・食料の備蓄	水・食料の備蓄 3 日分(利用者・職員合計 80 人、被災者 80 人、合計 160 人分)	水・食料の備蓄 3 日分(利用者・職員合計 80 人、被災者 80 人、合計 160 人分)	水･食料の備蓄 7 日分(利用者・職員合計 80 人分)	
	実　績		水・食料の備蓄 3 日分(利用者 50 人・職員 25 人合計 75 人分)	水･食料の備蓄 3 日分×85 人分	
地域貢献	ボランティアの受け入れ	年間 180 人	年間 180 人	年間 100 人	
	実　績	21 年度 269 人 22 年度 280 人	23 年度 261 人 24 年度 165 人 25 年度 138 人	26 年度 164 人 27 年度 122 人 28 年度 105 人 29 年度 1 人	
環境保全	生ゴミの資源化	100%削減		100%削減継続	
	実　績	達成		達成	

(3) 障害者支援施設　松葉学園

目標概要(施設の現状及び主な計画)

1）　利用者の方の人権を尊重し、施設を地域の拠点として、施設の持つ専門分野を地域の福祉サービスに提供し、地域に開かれた学園づくりを目指します。

①　施設内にとどまらず、外部の専門家や関係諸機関との連携をとります。

②　新たな情報を受信、発信し、環境の変化に対応しながら、理念や基本方針を実現していきます。

2）　自己決定、自己選択の場をより多く保障し一人ひとりにあった暮らしに視点をおきます。

①　小規模施設、ユニットの特性を生かし快適な生活が提供できるよう、生活技術の研鑽に努めます。

②　地域の人達と共に障害福祉を考え理解し合える場となることを目指します。

③　豊かな経験の場を多く提供します。

④　利用者、職員、保護者がボランティア精神を持ち、地域福祉への援助、協力が行えるよう努力します。

具体的計画

1）　安定した事業の展開

①　障害者支援施設　松葉学園の安定的な経営

施設入所支援（定員 30 名）生活介護（定員 47 名）短期入所（定員 5 名）の定員安定確保が第一。特に、通所利用者の増に力を入れます。

②　就労部門の見直し

障害者の働く場を具体化していきます。

就労継続支援（B 型）事業所いっとき館（定員 20 名）については、作業場確保のため平成 26 年作業場を松葉学園内に建築予定。また、就労先一般事業所の開拓をさらにすすめます。

③　障害児に対する支援の充実

障がい児通所支援事業所ぽのぽのでは、児童発達支援事業（定員 5 名）放課後等デイサービス（定員 10 名）保育所等訪問支援事業の 3 事業の利用者確保を最優先に安定的経営を目指します。特に、児童発達支援についての、職員の質の向上と療育機能の充実を図ります。

④　短期入所・日中一時支援受け入れ

短期入所事業(定員 5 人)及び日中一時支援事業を継続して行ないます。

⑤　実習生、ボランティア受け入れ

利用者の余暇支援や地域への行事参加等、ボランティアの受け入れをしていきます。

ボランティア受け入れ人数　　年間 50 人

実習指導者の養成を行ないます。(資格のあるものから)

⑥　地球に優しい、地域に役立つ福祉施設

生ゴミの資源化を図り、100%リサイクルを継続します。

上水道使用料を 10%削減します。

CO2 排出量削減のため、夜間待機電力の活用等を行ない、電気消費量 10%削減します。

平成 27 年までに、南海トラフ地震対策として利用者、職員合計で 80 人と被災者 50 人分、計 130 人分の水、食料等 7 日分の備蓄を完了します。

２）人材育成

① 利用者中心の支援実践

資格取得や研修を通じての知識の習得だけではなく、利用者の立場に立った考え方やより質の高い支援のあり方を実践できる職員集団作りを行います。

② 専門性の高い職員、資質の向上

利用者と共に考える暮らしの実現のため、職員相互の緊張感を保ち、職員自身が自分で考え工夫するという意識を継続していきます。

必要な資格取得の啓発を行います。

平成 30 年度までに社会福祉士取得者 4 人

平成 30 年度までに介護福祉士取得者 10 人

３） 地域福祉の促進

長期計画実施状況等

【事業展開】

障がい児通所支援事業所ぽのぽのでは、平成 29 年度に放課後等デイサービス事業の定員を 10 名から 20 名に増やし、平成 30 年度には、旧うわまち東保育園に移転を行い、より多くの利用者の方々を受け入れることができるようサービス内容の充実を図りました。就労継続支援（Ｂ型）事業所いっとき館においては、平成 26 年度に西予市民病院内売店をコンビニ化、また、地域の商店街にあるパーラーりぷとん（喫茶店）の経営を始め、利用者が地域で働く場の確保や地域貢献としての事業展開を行いました。グループホームである夢の家においては、スプリンクラー設置等を行い、施設整備の充実に努めました。障害者支援施設松葉学園においては、施設入所支援では高齢化に伴い入院の利用者が多くなる傾向ではありますが、生活介護での新規利用者の受け入れや短期入所の積極的な受け入れを行ったこともあり、安定した経営状況でした。平成 28 年度には、防犯対策として、一部県施設整備等補助金を利用し防犯カメラ等の設置を行いました。

【人材育成】については、介護福祉士等意欲的に資格を取得する職員が増加し、施設利用者の高齢化対応への意識も高まっています。また、平成 30 年度には、社会福祉士実習指導者講習会に職員 1 名が参加し、社会福祉士の指導者としての養成に取り組むことができました。サービス管理責任者研修については、ある程度予定していた人数等を満たしつつあるため、新たに強度行動障害関係の研修参加に力を入れているところです。研修や各事業所での会議を通じて、利用者との関わり方や意思決定についての学びを深め実践し、利用者の方を中心に職員一人ひとりが自分の力をチームの中で発揮することで、住みやすい地域社会を創ることができるよう取

り組んでいます。
【地球に優しい、地域に役立つ福祉施設】については、松葉学園内に一部漏水箇所が見つかり、給水管補修工事を行いました。南海トラフ地震対策として平成27年度備蓄用倉庫を構え、100人×5日分の水、食料の備蓄を行い、その他の備品についても、決められた備蓄目標に向けて順次対応しています。

経過の進行表

施設目標	数値計画	短期計画 H21～22年度	中期計画 H23～25年度	長期計画 H26～30年度	財源等 (単位:千円)
障害者総合支援法への対応	平成23年度松葉学園新体系へ移行	障害程度区分認定完了			
	実　績	障害程度区分認定完了	平成23年度松葉学園新体系へ移行完了		
	サービス管理責任者4人	2人	2人	4人	
	実　績	平成21年度生活介護分野 1 人就労分野 1 人計 2 人 平成22年度生活介護分野 1 人就労分野 1 人相談支援1人計3人	平成23年度 生活介護分野 1 人就労分野1人 地域生活分野 1 人児童分野1人 平成24年度 就労分野1人 地域生活分野 1人 平成25年度 生活介護分野 3人 就労分野1人 地域生活分野 1人 児童分野1人 計12人	平成26年度 生活介護分野 3人 就労分野1人 平成27年度 就労分野1人 平成28年度 生活介護分野 1人 計6人	
	グループホーム・ケアホーム建設(希望の森と合同)	資金確保 建設に向けての計画協力	新グループホーム・ケアホーム(定員10人、生活住居2箇所)事業の開始		自己資金 10,000
	実　績		平成23年度生活住居2か所増、定員35人	平成27年度共同生活住居 1 ヶ所増、定員41人	
備品・車両等の更新	パソコン4台		更新	9台	自己資金 1,200
	実　績		デスクトップパソコン1台 ノートパソコン1台	デスクトップパソコン2台 ノートパソコン2台	リース

	軽自動車		更新	1台	自己資金 1,000
	実　績		夢の家1台	平成29年度 軽自動車1台 軽トラ1台	自己資金 1,500
	ホロ付きトラック1台			更新	自己資金 1,000
	ワゴン車8人 1台			更新	自己資金 3,000
	実　績			平成27年度 ワゴン車8人 1台	リース
	ワゴン車10人 1台			更新	自己資金 3,000
	実　績			平成27年度 ワゴン車10人 1台	リース
	その他の車両 実　績			平成29年度 ワゴン車1台 平成30年度 ワゴン車 2 台 (ぽのぽの) 平成29年度 ワゴン車1台、 バス2台売却	リース
人材育成	サービス管理責任者	松葉学園 1人以上 いっとき館 1人以上	毎年1人以上研修受講	毎年1人以上研修受講	
	実　績	平成21年度 生活介護分野 1人 就労分野1人 計2人 平成22年度 生活介護分野 1人 就労分野1人 相談支援1人 計3人	平成23年度 生活介護分野 1人 就労分野1人 地域生活分野 1人 児童分野1人 平成24年度 就労分野1人 地域生活分野 1人 平成25年度 生活介護分野 3人 就労分野1人 地域生活分野 1人 児童分野1人 計12人	平成26年度 生活介護分野 3人 就労分野1人 平成27年度 就労分野1人 平成28年度 生活介護分野 1人 強度行動障害関係研修 平成27年度 1人 平成28年度 4人 平成29年度 5人 平成30年度 3人	
	社会福祉士 4人	2人 実習指導者研修受講(資格のある者)		4人	
	実　績	0人	1人	2人(新規採用及び異動) 実習指導者講習受講1人	

	介護福祉士 4人	2人	2人	10人	
	実　績	0人	3人	10人	
就労部門見直し	いっとき館就労見直し	就労移行支援事業の継続 定員6人 就労継続支援(B型)事業開始定員10人		平成26年度西予市民病院売店のコンビニ化	
	実　績	平成21年就労継続支援(B 型)事業開始 定員10人 平成22年度就労継続支援(B型)事業 定員4人増	平成23年度松葉学園新体系移行に伴い、就労継続支援(B型)事業所いっとき館として、定員20人 平成24年度就労移行支援事業廃止	平成26年度 西予市民病院売店コンビニ化 平成27年度 パーラーりぷとん(喫茶店)開始	6,000 2,000
	自活訓練棟改装	自活訓練棟を仕事の場として改装		就労継続支援（B型）事業所活動室の建設（松葉学園敷地内）	自己資金 3,000
	実　績	児童養護施設吾子苑建設予定となり、改装は中止とする。		平成26年度 就労継続支援（B型）事業所活動室の建設（松葉学園敷地内）	9,600
新事業展開			障害児通所支援事業所ぽのぽの（児童発達支援・放課後デイサービス事業・保育所等訪問支援）	障害児通所支援事業所ぽのぽの移転	
	実　績		平成25年度事業開始	平成29年度 放課後等デイサービスの定員増 平成30年度 旧うわまち東保育園に移転	11,200

3　乳幼児施設目標・数値計画

（１）うわまち南保育園

目標概要

・地域や自然を活用した体験を根底に置き、零歳児からのからだづくり、人と関わる力の基礎づくりの強化を図ります。看護師のいる保育園として、安心安全に努め、保護者の信頼を深め、入園児の増加を目指します。

具体的目標

施設整備　H21年度 〇パソコン購入（1台リース）

〇プリンター購入（リース）

〇乳児室ロッカー更新（2台）

〇二階外通路人工芝更新

中期計画　〇老朽化エアコン更新（2台）　〇生ごみ処理機（リース）

人材育成　　保護者の抱える様々な悩みを受けとめ、解決に向けて支援を行える職員を育成します。（カウンセラー）

長期計画実施状況

・施設整備については、Ｈ２７年に２階の西側のエアコン故障により１台更新、また、Ｈ２８年には、乳児室のエアコン故障により１台更新しました。また、老朽化により、ボイラー室と２階屋根の漏水の修繕工事をしました。

・利用者サービスでは、病後児保育事業も定着し、看護師が常駐しているという安心感が保護者の中に浸透しました。

・人材育成に関しては、職員研修は事業部として年間計画を立て、全国や四国規模での広い視野での保育についての研修も行ないました。職員の資格取得については、保育の現場で活かせる資格の保持者が増えており保育の質の向上につなげることができました。

・運営につきましては、園児は３月末には定員を超えて110%～115%の入所となっており、クラス配置を変更したりしながら保護者のニーズに応えています。

・認定こども園プロジェクト委員会を立ち上げて試行錯誤しながら、ようやく平成３０年度４月にうわまち未来こども園を開園することができました。それに伴い、３月末で南保育園を閉園することとなり、３月１１日（日）に、園児　保護者　卒園児　職員等を対象とした、グランドフィナーレを盛大に開催することができました。

・長期計画では、子ども子育て支援制度が施行されたのをうけ、平成30年度に幼稚園機能と保育園機能を併せもった認定こども園に事業変更し、認定こども園うわまち未来こども園を開設することができました。保護者の就労に関わらず利用することができる為、子どもが卒園するまで変わらない環境で保育をうけることができ、保護者も就労の変更による子育て不安をもつことがなくなり認定こども園への移行をスムーズに行うことが出来ました。法人の理念である【子どもには　大きな夢を】にそった保育理念を掲げながら地域から親しまれ、子育て支援の拠点となるように、地域や利用者ニーズの把握に努めてまいります。

経過の進行表

施設目標	数値計画	短期計画 H21～22年度	中期計画 H23～25年度	長期計画 H26～30年度	財源等 （単位：千円）
安全快適な園舎	園舎改築			目途をつける 認定こども園新設	
	実　績	H23耐震性診断受診	耐震改修工事 H25.12工事完了 認定こども園プロジェクト委員会発足	平成30年度 認定こども園 うわまち未来こども園開園	耐震診断 補助金1.207 自己資金300 耐震改修工事 自己資金 1、606
利用者サービス	病後児事業（自園型からオープン型への検討）		病後児事業オープン型への移行研究		
	実　績	病後児事業（体調不良型）定着	オープン型への移行研究は中止	病後児事業（体調不良型）定着	
	職員研修	保育指針、絵画、リズム、給食、おもちゃ、健康、障害児ケース、保育部会	保育指針、絵画、リズム、給食、おもちゃ、健康、障害児ケース、保育部会 保育専門分野研修	保育指針、絵画、リズム、給食、おもちゃ、健康、障害児ケース、保育部会 日保協・全保協全社協主催研修会参加 8人	
	実　績	達成	達成 第三者評価受審 主任･係長講座 コーチングトレーニング講座、子ども子育て新制度説明会、人事管理講座 地域活性化研修会 福祉QC入門講座	達成 全国保育研究大会 四国ブロック保育研究大会 人材マネジメント講座受信 初級リスクマネジメント講座受講 改訂保育所保育指針研修受講 キャリアアップ研修受講	
保護者満足度への取り組み	不満、どちらかというと不満の70%を削減				
	実　績	60%	達成		
人材の育成	初級カウンセラー５人		2人	3人	
	実　績	3人	2人	1人	

	中級カウンセラー１人			１人	
	実　績		中期取得　1人	0人	
	社会福祉施設長資格認定講習　2人		1人	1人	
	実　績		0人	0人	
	資格取得 幼稚園教諭 リトミック ミュージックケア ネイチャーゲーム ベビーマッサージ			15人	
	実　績		初級ミュージック・ケア　4人 ベビーマッサージ3人	初級ミュージックケア2人 ベビーマッサージ6人 ネイチャーゲーム　4人	
地域貢献への取り組み	ボランティア受入れ	80人／年	100人／年	120人／年	
	実　績	H22　342人／年	372人／　年	110人/年	
災害対策	水･食料３日分備蓄	園児他130人	園児他150人	園児他170人	
	実　績	園児他133人、3日分備蓄（米、水）	1日一食として1200人	園児他150人の３日分貯蓄（米　水）	
環境保全	生ごみ資源化	20%	70%	100%	自己資金
	実　績	生ゴミ処理機使用するが、フル稼働できず目標達成せず	生ゴミ処理機（東保育園へ週2回持参）	東保育園の生ごみ処理機故障のため自園で行なう。	
	燃えるごみ削減	10%	継続	継続	
	実　績	0%	40%	60%	

（２）うわまち東保育園

目標概要

・　現在は定員確保できているが、地域の状況や園児の兄弟を把握すると少子化傾向が顕著にうかがえます。
・　保護者・地域のニーズの把握に努め、さらに利用者サービスの充実を図っていきます。長期的には定員減となるので、一時保育等の事業拡大を検討致します。
・　地域の協力を得ながら、地域の環境を生かし、自然体験や実体験を保育の中心に置き心身共に逞しく心豊かなこどもを育成します。また、保護者との信頼関係作りに努め、子育ての良きパートナーとなるようにします。
・　保育の質・職員の資質向上を目指して園内外の研修を行ない、自己研鑽に努めます。

具体的目標

〇Ｈ21年度　　ベランダひさし取り付け
〇中期計画　　調理台更新　　園児ロッカー更新　　生ごみ処理機
〇長期計画　　総合遊具更新

長期計画実施状況

・施設整備については、平成23年度に内門取替、幼児用トイレ床の張り替えとパソコン1台を購入致しました。平成24年度には、生ゴミ処理機とパソコン一台を購入、平成25年度には、厨房のエアコンを更新し、幼児用トイレの１台を洋便器に取替えました。平成28年度に、職員トイレを和式から洋式トイレに改修し、来園いただいたお年寄りにも配慮が出来るようになりました。生ゴミ処理機の購入により、生ゴミの資源化を図ることができましたが、年々故障が多く、部品交換をしてきましたが、修繕不能となり閉園の際に廃棄処分にしました。
・職員研修については、予定通り実施することができました。平成23年度に保育所事故予防研修会と保育21世紀セミナー、平成24・25年度と続けてリスクマネージャー養成講座、労務管理講座受講し、全職員でリスクマネジメントや働く環境の改善に取り組んでいます。また、平成25年度にはトップセミナーを受講し、子ども子育て新制度の理解に努めました。人と関わる職場においては、カウンセリング技法が必要な資格であることを啓蒙し、取得者増を目指しましたが、中期以降の取得者がなく、今後の課題となりました。
・平成28年度に2回目の第三者評価を受審、保育の振り返りができたりサービス提供の在り方について学ぶことが出来ました。今後もよりよい保護者支援ができるよう、そして保育の質の向上を目指して努力してまいります。
・地域貢献のボランティアは中期年平均148名のご参加を頂きました。福祉体験ボランティアの参加者が減少しておりますが、行事等に参加いただくよう声かけをしながら保育園に関心を寄せていただくと共に、広く地域の方との交流を図ってまいりました。
・災害対策では、備蓄量を3日分とし、内容については水・米以外にすぐに食べる事ができるビスコと日用品のおむつ・ウエットティッシュ等を加えました。今後も、備蓄量や内容についてさらに検討し、非常時対応に備えてまいります。

・長期計画では、子ども子育て支援制度が施行されたのをうけ、平成30年度に幼稚園機能と保育園機能を併せもった認定こども園を開設するにあたり、閉園することとなりました。保護者の就労に関わらず利用することができる為、子どもが卒園するまで変わらない環境で保育をうけることができ、保護者も就労の変更による子育て不安をもつことがなくなり、認定こども園への移行をスムーズに行うことが出来ました。法人の理念である【子どもには　大きな夢を】にそった保育理念を掲げながら地域から親しまれ、子育て支援の拠点となるように、地域や利用者ニーズの把握に努めてまいります。

＊初級カウンセラーを平成30年までに東保育園での取得者を5名養成します。

＊園長・補佐(現副施設長)候補者の中から福祉施設長専門研修会１名を受講します。

経過の進行表

施設目標	数値計画	短期計画 H21～22年度	中期計画 H23～25年度	長期計画 H26～30年度	財源等 (単位：千円)
園庭の設備				総合遊具の更新	
	実　績			職員トイレ修繕 洋式化	自己資金 400
利用者サービス	サービス拡充			一時保育 一時保育 認定こども園設立	民間補助 自己資金
	実　績		平成25年度 認定こども園プロジェクト委員会発足	平成29年度 認定こども園建設 平成30年度 認定こども園開設	民間補助 自己資金 南保育園と同じ
	職員研修の充実	保育指針研修 QC研修　運動・体力研修 カウンセリング　絵画･リズム　給食･おもちゃ　健康・障害児　保育研修	保育指針研修 QC研修　運動・体力研修 カウンセリング　絵画･リズム　給食･おもちゃ　健康・障害児　保育研修	保育指針研修 QC研修　運動・体力研修 カウンセリング　保育専門分野研修 日保協・全保協全社協主催研修会参加 5人	
	実　績	達　成	達　成 第三者評価受審 保育21世紀セミナー 初級リスクマネージャー講座 トップセミナー		
人材育成	初級カウンセラー５人	１人	1人	3人	
	実　績	1人	0人	0人	
	福祉施設長研修受講1人				
	実績				
	資格取得 幼稚園教諭 リトミック			15人	

	ミュージックケア ネイチャーゲーム ベビーマッサージ				
	実　績		ミュージックケア1人 ベビーマッサージ3人 ネイチャーゲーム1人	ベビーマッサージ４人 ネイチャーゲーム1人	
地域貢献	ボランティア年間 90人	80人／年	90人／年	90人／年	
	実　績	90人／年	148人／年	133人／年	
環境保全	生ゴミ資源化	30%	70%	70%	
	実　績	0%	80%	90%	
災害対応	3日分の水・食料：利用者職員被災者	130人分	130人分	130人分	
	実　績	86人分	1日一食として 400人分	1日一食として 130人分	

（３）中川保育園

目標概要

・地域の中の保育園として、子どもたちや老人（宅老所）との交流が出来るよう地域の中に根ざしていきます。

・子どもたちとの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進し、子どもたちにふさわしい生活の場になるようにします。

・保護者との緊密な連携の下、保護者の支援及び地域の子育てに関する支援を行います。

具体的目標

① 施設整備　H21年　下駄箱更新
　　中期計画　エアコン整備　　総合遊具の更新　　ベランダ塗装

② 災害対策　利用者職員被災者3日分の水、食料の備蓄

③ 人材育成　初級カウンセラー　施設長専門研修会受講

④ 地域貢献　ボランテイア年間参加者受入

⑤ 地球にやさしい　　生ゴミ資源化

長期計画実施状況

・施設設備に関しては、遊具下安全マットの設置工事をしたり、泥遊びができる場所を作ったりして、安心して子どもたちが遊べるようになりました。

・災害対策としては現在のところ、3日分60名の備蓄（米・水・ビスコ）なので、次期計画において目標達成できるように努めてまいります。また、さまざまな災害時に迅速に対応するため、マニュアルの見直しや、風水害マニュアルを作成して災害に対して対応出来るように進めてま

いります。
・利用者サービスについては、平成23年度より開始されていた学童保育が、平成25年度より中川保育園を拠点として運営することになりました。ななほし中川デイサービスの一室をお借りしている為、お年寄りとの交流もあり、温かな環境の中で児童の健全育成・保護者支援を行うことができ、ほぼ100%の利用率で順調に運営しております。今後も保護者の方に信頼して利用して頂けるよう、子育て支援に努めます。
・人材育成については、初級カウンセラーを2名が取得し、現在の職員数のおよそ3割の職員が初級カウンセラーの資格を持つことができました。また、毎年ミュージックケア、ベビーマッサージの資格取得者も増えております。平成24年度には第三者評価を受審することで、保育の振り返りやサービス提供の在り方について学ぶことが出来ました。平成29年度には再度第三者評価を実施し、これからもよりよい保護者支援をし、保育の質の向上を目指して努力してまいります。
・地域ボランティアの受け入れは、平成26～30年度467名と計画を大きく上回ることができました。夏休みに町内の福祉事業所で実施している、小中高生を対象にした福祉ふれあい体験ボランティアの関心が高く、小学生に大勢参加して頂き保育園のことを知ってもらったり、園児とのふれあい等とても良い機会となりました。また、地域内外からの畑の耕作や絵本の読み聞かせのボランティアも長年続けて頂いており、ありがたく思います。今後も、地域とのつながりを大切にしてまいります。
　　・生ごみ資源化は、目標達成ができませんでした。生ゴミ処理機の有効な使い方や、地球にやさしい生活の在り方を職員全員で工夫しながら努めてまいります。

経過の進行表

施設目標	数値計画	短期計画 H21～22年度	中期計画 H23～25年度	長期計画 H26～30年度	財源等 （単位：千円）
施設の改修	総合遊具		総合遊具更新	安全マット工事 泥場設置	自己500 民間捕助 1，100
	実　績		H23完了	H29　完了	自己資金 206
	ベランダ塗装		ベランダ塗装		自己資金
	実　績	ベランダ・遊具下安全対策工事実施	短期実施		
利用者サービス	職員研修の充実	保育指針研修 QC研修　運動・体力研修 カウンセリング　絵画・リズム　給食・おもちゃ　健康・障害児　保育研修	保育指針研修 QC研修　運動・体力研修 カウンセリング　絵画・リズム　給食・おもちゃ　健康・障害児保育研修	保育指針研修 QC研修　運動・体力研修 カウンセリング　保育専門分野研修 日保協・全社協全社協主催研修参加 2人	
	実　績	達成	達成 第三者評価受審	達成	
災害対策	３日分の水食料備蓄：利用者職員被災者合計	70人	75人	80人	
	実　績	園児職員1日分備蓄（米・水･ビスコ）	1日一食として 180人分	達成	

人材育成	初級カウンセラー２人		1人	1人	
	実　績	短期取得　2人	2人	0人	
	福祉施設長専門研修会受講１人		1人		
	実　績		0人		
	資格取得 幼稚園教諭 リトミック ミュージックケア ネイチャーゲーム ベビーマッサージ			5人	
	実　績		ミュージックケア1人 ネイチャーゲーム1人 ベビーマッサージ2人	ミュージックケア1人 ベビーマッサージ8人	
地域貢献	ボランティア:受入人数年間	30人	35人	40人	
	実　績	59人／年	115人／年	93人／年	
環境保全	生ゴミ資源化	10%	20%	30%	
	実　績	10%	10%	30%	

（４）田之筋保育園

目標概要

・長期計画として、保育園で子どもとお年寄りとが一緒に生活できるようにし、地域の中に根ざした保育をしていきます。

・地域、専門機関、保護者との連携を蜜にし、子育て支援を推進していきます。

・研修で学んだ知識、技術や判断力が実践に生かされるようにし、職員一人ひとりの資質の向上を図ります。

具体的目標

① 施設整備　・フェンス更新　・ロッカー更新　・エアコン新設　・倉庫の更新
　・カーテンの更新

② 災害対策　・利用者職員被災者への水、食糧３日分の備蓄

③ 人材育成　・教育カウンセラー(初級)　・施設長専門研修会受講

④ 地域貢献　・ボランティア年間受入

⑤ 地球にやさしい　・生ゴミ資源化

長期計画実施状況
・施設整備につきましては、職員トイレ及び幼児用トイレの改修を行い、ご家族や地域のお年寄りなどどなたでも、行事等参加時に園に来て安心して過ごして頂けるようになり、又、保育室1室にエアコンが無かった為エアコンを新設し、全室にエアコン完備となり快適に過ごせるようになりました。
・災害避難計画について、低年齢の入所も多くなり避難車が古くなっていたので購入しました。又、備蓄も3日分の米・水の他、ビスコ・レトルトカレーなども購入し備蓄量を増やし、賞味期限など確認しながら再購入し、いつでも対応できるよう市より設置して頂いた防災倉庫に保管し非常時に対応できるように備えております。　防犯対策として、非常通報設備を設置していただき、避難訓練時に使用し、いつでも職員が対応できるようにしております。
・ネイチャーゲームの資格を3名取得しました。保育の中で実践し子ども達の育成に役立てていきます。初級カウンセラー受講者がなく、今後、保護者との相談等にも生かし子育て支援が行えるよう資格取得者を増やして参ります。
　第3者評価を受審したことで、保育の振り返りが出来ました。今後も保育の質の向上に努めて参ります。
・園庭の全面芝生化により、現在も乳児から年長まで皆が芝生の上を走り回っております。平成26年度から、父親の保護者による「芝かれ隊」が、芝生の管理をはじめ、園庭の整備を引き受けてもらうなど、職員、保護者が一体となった運営が続いております。特色ある保育園として、今後も芝生を維持し環境の整備に努めます

経過の進行表

施設目標	数値計画	短期計画 H21～22年度	中期計画 H23～25年度	長期計画 H26～30年度	財源等 （単位：千円）
施設の改修	フェンス更新				
	実　績	H21フェンス更新済			
	ロッカー 更　新				
	エアコン 新　設				
	実　績	H21保育室エアコン更新	H25厨房エアコン更新	H30保育室エアコン新設	自己資金 426
	倉庫の更新				
	カーテンの 更新			カーテンの更新	自己　50 補助金　70
	実　績		H23全室更新	中期実施	自己資金　90
利用者サービス	職員研修の 充実	保育指針研修 QC研修　運動・体力研修 カウンセリング　絵画・リズム　給食・おもちゃ　健康・障害児　保育研修	保育指針研修 QC研修　運動・体力研修 カウンセリング　絵画・リズム　給食・おもちゃ　健康・障害児　保育研修	保育指針研修 QC研修　運動・体力研修 カウンセリング 保育専門分野研修 第三者評価受審 日保協・全社協全社協主催研修参加 ３人	

	実　績	達成	達成 福祉QC入門講座 労務管理講座 新制度保育セミナー 全国主任・係長講座 全国主任初任者研修	全保協主催の研修参加　2名 H28年福祉サービス第三者評価受審	
災害対策	３日分の水食料　利用者職員被災者合計	70人	75人	80人	
	実　績	70人分の米・水確保	1日一食として75人分	80人分の米・水確保他ビスコ	
人材育成	初級カウンセラー　３人		2人	1人	
	実　績	短期取得　1人	1人	0人	
	福祉施設長専門研修受講１人		1人		
	実　績	H22　1人	短期実施		
	資格取得 幼稚園教諭 リトミック ミュージックケア ネイチャーゲーム ベビーマッサージ			2人	
	実　績		ベビーマッサージ1人	ネイチャーゲーム3人	
地域貢献	ボランティア	65人	68人	70人	
	実　績	125人／年	120人／年	100人／年	
環境保全	生ゴミ資源化	10%	20%	30%	
	実　績	0%	10%削減	10%削減	

（５）下宇和保育園

目標概要

・中長期を考え、今後入所児童が減少する傾向が考えられる為、空き部屋を利用しての放課後児童の受入制度としての学童保育の取り組みや地域における未就園児親子の育児相談・指導に当たるなど、総合的な子育て支援施設を目指します。

・養護の充分行き届いた環境の下で、自然体験を通して体力作りやお遍路さんが通る保育園としてお接待に努め、自ら周囲の子どもや地域の人と関わる力を育てていきます。

具体的目標

施設整備

中期計画　・H22年度の学童保育開設に当たり、部屋を整備します。

・固定遊具が古くなり危険なので更新します。

人材育成

長期計画　・初級カウンセラーの資格を3名取得させます。

・福祉施設長専門研修を1名受講します。

・保育内容については養護や教育の両面にわたり子どもの発達を促していけるよう、施設長をはじめ各職員が保育所内外の研修を通して、必要な知識及び技術の習得・向上に努めます。また、職員の人材育成を行うことで、資質の向上を図ります。

長期計画実施状況

・空き保育室を利用した学童保育を平成 22 年 4 月より開始し、今年で８年目になり田之筋小や明間小からも大勢の利用がありました。明間小が閉校となり、皆田小へ統合しました。利用者増により、部屋面積が不足し、田之筋校区の児童を 1 年間の猶予期間でトトロクラブでの利用となりました。今後も保育園を卒園した後の児童の子育て支援は大きな課題となっており新たな場所での放課後児童クラブの運営に努めてまいります。

・施設整備については、平成 23 年 4 月と平成 24 年 4 月にパソコンを購入、同年 8 月に卓上型アンプ放送設備一式を購入しました。また、平成 25 年 7 月に厨房のエアコンの更新と屋外掲示板を取り付けました。

・職員の人材育成については、初級カウンセラーを平成 25 年に 2 名、ミュージックケアとベビーマッサージをそれぞれ 1 名が取得しました。園児や保護者の方に対してよりよい支援ができるよう、今後も取得者を増やしてまいります。

・災害に対応については、市の補助により防災倉庫を園庭に設置、倉庫内に発電機や投光機も常備され、災害時における備えができました。園内でも米・水・ビスコを用意していますが、乾パンや火を使わなくても食べられる食品など、防災グッズの準備を行ない、災害に備えています。

　平成 30 年 7 月の豪雨災害において、当園も周辺から濁流が流れ込み、厨房、トイレ、外部倉庫が浸水する被害を受けました。非常の際に、保育園から公民館への避難経路が水没する可能性がわかり、市や地域と連携し避難についての再検証を行っています。

・不審者対応についても、市の補助により、警備会社と契約を結ぶことができ、非常の際の安心を確保することができました。

・地球にやさしい環境作りでは、コンポストを活用して保育園の畑で再利用しており、生ゴミの廃棄率が少なくなっております。今後もゴミの分別をさらに行ない資源化に努めてまいります。

経過の進行表

施設目標	数値計画	短期計画 H21～22年度	中期計画 H23～25年度	長期計画 H26～30年度	財源等 （単位：千円）
施設整備 学童保育の部屋の整備	H22年度までに必要な備品を準備する				市補助金
	実　績	備品購入	備品購入		
	固定遊具購入				共同募金 自己資金
	実　績	固定遊具更新			
利用者サービス	職員研修の充実	保育指針研修 QC研修 運動・体力研修 カウンセリング 絵画・リズム　給食・おもちゃ　健康・障害児　保育研修	保育指針研修 QC研修 運動・体力研修 カウンセリング 絵画・リズム　給食・おもちゃ　健康・障害児 保育研修	保育指針研修 QC研修 運動・体力研修 カウンセリング 保育専門分野研修 第三者評価受審 日保協・全社協全社協主催研修参加 3人	
	実　績	達成	達成 幼児期の教育研修会 保育所主任保育士研修会 保育21世紀セミナー		
人材育成	初級カウンセラー　2人		1人	1人	
	実　績		2人	0人	
	福祉施設長専門講習受講１人			1人	
				受講なし	
	資格取得 幼稚園教諭 リトミック ミュージックケア ネイチャーゲーム ベビーマッサージ			5人	
	実　績		ベビーマッサージ 2人 ネイチャーゲーム 1人	ベビーマッサージ 2人 ネイチャーゲーム 1人	
災害対応	３日分の水食料：利用者職員被災者合計	60人	80人	80人	
	実　績	60人	1日一食として 200人分	1日一食として 200人分	

地域貢献	ボランティア年間受入	50人	55人	55人／年	
	実　績	106人／年	163人／年	80人／年	
環境保全	生ゴミ資源化	30%	40%	50%	
	実　績	60%	50%	50%	

（６）明間保育園

目標概要

・改築から35年、老朽化に伴いこまめに点検し、修繕等を施し安全管理に努めます。

・社会環境の変化、人間関係の複雑化の中で子供たちの生きにくさは大きいと思われます。人としての基礎を育む大切な時期の子ども達と関わる職員は、様々な研修を重ね資質の向上を図る必要があります。さらに、地域・保護者・子育ての支援にも努めていきます。

・高齢者人口52.2%の集落で小学校の合併も予想されます。益々過疎の寂しい地域となることが予想されます。保護者の希望でもある園の存続ができるよう保護者や地域の人たちとの連携をもって、元気な地域、保育園づくりを行います。

具体的目標

施設整備　・総合遊具の更新　・防水塗装　・耐震強度検査　・洋式便器取替
　　・テント張替

災害対策　・利用者、職員被災者

人材育成　・教育カウンセラー（初級）　・施設長専門研修会受講

地域貢献　・ボランティア年間受入

地域にやさしい　・生ゴミ・燃えるゴミ資源化

長期計画実施状況

・『施設整備』については、27年度に門扉取り付け工事を、28年度に職員室にエアコン移設取り付け工事を、同じく28年度にガステーブルの購入を、30年度に耐震改修工事を行いました。

・『利用者サービス』においては、平成23年7月お泊り保育事故について、二度とこのような事故をおこさないよう引き続きリスク管理責任者を中心に、危険予防及び安全対策の重要性について職員が認識を深めていけるよう研修の充実を図ってまいります。また、事業部ごとに実施しております「安全の日を考える」施設点検を通して、安全な保育園作りをめざし信頼回復に努めてまいります。平成26年度に日保協のリスクマネジメント初級、平成27年度に第三者評価を受審しております。

・『人材育成』については平成26年度に初級カウンセリングを、平成26・28・30年度にベビーマッサージ資格を各1名取得しております。今後も、保護者との連携や相談等に生かしていけるように、資格取得に努めてまいります。

・『地域貢献』では、ボランティア受け入れは、地域内外から年平均17名でした。少子高齢化に伴い減少しましたが、さらに地域の方との関わりを大切にして豊かな心を育む保育に心がけていき

たいと思います。
・『災害対策』においては、米や保存食・水等3日分の備蓄量です。今後、原子力災害防災計画に沿って備蓄量や対策について見直し、災害に備えていきます。
・『環境保全』においては、コンポストの利用方法、ごみ分別の徹底、光熱費等の使用分析をして資源の削減に努めていきます。
・定員20名の小規模な保育園です。地域性を生かした特色ある保育の実践に努めてまいります。
・平成30年豪雨災害によりにより、園舎が避難指示地域に指定され、園舎での保育が出来なくなり、明間地区内の昭和多目的集会所をお借りして保育を行うこととなりました。

経過の進行表

施設目標	数値計画	短期計画 H21～22年度	中期計画 H23～25年度	長期計画 H26～30年度	財源等 （単位：千円）
施設整備	総合遊具一基	総合遊具の更新			
	実　績	遊具設置完了		門扉取り付け	自己資金 265
	砂場日除けテント		テントの張替え		
	実　績	H22年度張替	短期実施	エアコン移設・ ガステーブル購入	自己資金 108
	防水塗装（漏水時）				
	耐震強度検査			耐震改修工事	自己資金 3,239
利用者サービス	職員研修会の充実	保育指針研修 QC研修　運動・体力研修 カウンセリング　絵画・リズム　給食・おもちゃ　健康・障害児　保育研修	保育指針研修 QC研修　運動・体力研修 カウンセリング　絵画・リズム　給食・おもちゃ　健康・障害児　保育研修	保育指針研修 研修　運動・体力研修 カウンセリング　保育専門分野研修 第三者評価受審 日保協・全社協全社協主催研修参加 3人	
	実　績	達成	達成 保育所主任保育士研修会 保幼小連携研修会	初級カウンセリング 1名 ベビーマッサージ 3名 初級リスクマネジメント1名 第三者評価受審	
災害対策	3日分の水・食料	30人分	30人分	30人分	
	実　績	30人分	1日一食として 120人分	30人分	
人材育成	初級カウンセラー　3人	1人	2人	2人	
	実　績	1人	2人	1人	
	福祉施設長専門講習受講　1人		1人		
	実　績		0人		

	資格取得 幼稚園教諭 リトミック ミュージックケア ネイチャーゲーム ベビーマッサージ			5人	
	実　績		ミュージックケア 1人 ベビーマッサージ 1人	ベビーマッサージ 3人	
地域貢献	ボランティア年間受入	35人	50人	80人／年	
	実　績	137人／年	140人／年	48人/年	
環境保全	生ゴミ資源化	50%	50%	80%	
	実　績	0%	20%	30%	

（７）宇和保育園

目標概要

保育園（子育て支援センター）が、子どもや保護者、地域にとって安心して、子育てや就労ができる、居心地のよい楽しい場となるように私達は、大切な子どもの人権を尊び、安全で安定した生活ができる環境を用意し、人や自然とふれあう実体験を通して、健やかな育ちを支えていくよう、自己研鑽に努め専門性を高めていきます。

具体的目標

Ｈ21年度　　○パソコン購入（1台リース）

中期計画　　○老朽化エアコン更新（1台）○物置更新（一棟）○生ゴミ処理機

長期計画　　○物置更新（1棟）

長期計画実施状況

・平成２５年、沐浴室ユニットバス設置。平成２６年４月１日より、夜間延長保育を開始いたしました。宇和保育園だけのメリットととらえ、必要とされる保護者の方がいらっしゃいますので、今後も、ニーズを把握しながら、安全、安心な運営を心がけていきます。

・平成２９年度に年少組のエアコンが故障して使えなくなり、更新しております。今後、厨房のエアコンも老朽化しておりますので、計画的に更新してまいります。

・施設設備については、老朽化により修繕や更新が必要になっております。平成３０年度に下駄箱の更新をする予定です。今後、物置等の更新も考えていきます。適切な管理を行いながら、安心、安全な環境づくりを行うため、園内外全体の環境整備を行います。

・災害対策については、水、乾パンの追加購入をいたしました。今後も、備蓄物を追加購入していき、地域住民の方にも少しでも対応できるようにしてまいります。

・パソコンは、平成３０年度に、リースの分が１台故障し、また、もう１台、購入していた分が

故障し使えなくなった為、あわせて２台リースとして更新いたしました。
・人材育成においては、初級カウンセラーを2名が取得しました。また、保育の質の向上の為、毎年、多くの職員がミュジックケアー・ベビーマッサージ・ネイチャーゲーム等の資格取得をし、保育の現場で生かしております。今後も、自己研鑽、人材育成に力を注いでいきたいと考えます。
・長期計画では地域貢献において、子育て支援センターでの専属ボランティアを含み約２００名の方々を受け入れております。今後も、保護者・ＯＢ・地域の方々が気軽に園に来ていただいて、子ども達と交流していただいたり、行事等に協力していただいたりする機会を増やし、地域に根ざした信頼される保育園づくりに努めてまいります。
・ゴミの削減につきましては、生ゴミ処理機の有効な活用ができていない状態ですが、ゴミ分別の徹底、光熱費の使用料の分析に努め、日頃からの節約につなげていきたいと考えます。

経過の進行表

施設目標	数値計画	短期計画 H21～22年度	中期計画 H23～25年度	長期計画 H26～30年度	財源等 （単位：千円）
設備の更新	総合遊具				共同募金 自己資金 1,800
	実　績		総合遊具更新		
利用者サービス	障害児デイサービス事業		障害児デイサービス事業の研究		
	病後児（オープン型）事業		病後児（オープン型）事業の研究	夜間保育事業	
	実　績		Ｈ24研究取りやめ	平成26年4月1日夜間延長保育事業開始	
	夜間延長保育事業			実施予定	
	実　績		事業開始の検討準備 ユニットバス 警備システム設置	平成25年沐浴室ユニットバス設置工事 平成26年１月8日警備保障システム完備 平成26年3月25日監視カメラ・インターホン設置工事完了	自己資金 1,070
	職員研修の充実	保育指針研修 QC研修　運動・体力研修 カウンセリング　絵画・リズム　給食・おもちゃ　健康・障害児　保育研修	保育指針研修 QC研修　運動・体力研修 カウンセリング　絵画・リズム　給食・おもちゃ　健康・障害児　保育研修	保育指針研修 QC研修 運動・体力研修 カウンセリング 保育専門分野研修 日保協・全社協全社協主催研修参加 ５人	
	実　績	達成	達成 第三者評価受審 保育所事故予防研修会 子ども子育て３法案の制度学習会	日保協・全社協主催研修参加　５名達成 QC研修は、取り止め	

保護者・職員の支援	親・職員の相談、支援苦情の対応等の充実			カウンセラー配置	
	実　績			職員のために、相談希望者はカウンセラーが対応。	
災害対応	３日分の水食料.利用者職員被災者	園児・保護者・職員（250人）地域住民20食	園児・保護者・職員（250人）地域住民20食	追加購入	
	実　績	園児職員170人	1日一食として200人分	１日一食として250人分	
人材育成	初級カウンセラー合計６人		3人	3人	
	実　績	1人	2人	2人	
	福祉施設長専門研修２人		1人	1人	
	実　績		0人	0人	
	資格取得幼稚園教諭リトミックミュージックケアネイチャーゲームベビーマッサージ			20人	
	実　績		ミュージックケア2人 ベビーマッサージ6人 ネイチャーゲーム2人	達成　２１人 ミュージックケア２人 ベビーマッサージ１１人 ネイチャーゲーム３人 幼稚園教諭３人 初級カウンセラー２人	
地域貢献	ボランティア年間	150人	子育て支援センターでの専属ボランティア含み 180人	子育て支援センターでの専属ボランティア含み 200人	
	実　績	145人	達成	達成　200人	
環境保全	生ゴミ資源化	20%	70%	70%	
	実　績	20%	50%	機械故障のため0%	

4　高齢者施設目標・数値計画

（１）宇和町特別養護老人ホーム松葉寮

目標概要

私たち松葉寮は、介護を必要とする方々の生活支援をすることにより成り立っています。その使命はご利用の方々に生きがい（人間としての幸せ）を提供し、憂いなく一日をお過ごしいただくためのお手伝いをすることです。そのため、私達は仕事に対して『安全・確実・信頼』の視点を求めながら「自分が利用したい、自分の一番大切な人に利用させたい」施設運営を行います。

① 旧施設から新設移転し 18 年が経過しました。経年劣化やメーカーの統廃合により部品調達ができず修繕のできない設備機器も目立ち始めるなど、今後ハード面の管理維持費用の増大が見込まれます。

そこで新たに総額約 1 億 5,000 万円の機材購入及び修繕計画を盛り込みます。

② 介護職員不足が大きな問題となっています。このまま欠員の状態で推移すれば「利用者・職員・経営」それぞれの満足が確保できない状況に陥る恐れのある憂慮すべき問題です。そのため、子育て支援と同様、職員支援策を充実してまいります。

長期計画実施状況

【設備の改修】H27 年度にひなたユニットのリビングを整備することが出来ました。

【設備の更新】エアコンの更新については、一般的な耐用年数（10 年）を大きな故障等なく稼働していましたが、昨年度（H29）あたりから、故障頻度が増えています。同年に国の省エネ対策補助事業（一部助成）にて、更新を計画しましたが助成決定に至りませんでした。今後も同補助金申請にて更新を進めていく予定です。

また、車両に関しても車いす対応軽自動車が経年劣化で更新が必要となり、30 年度更新いたしました。

【利用者サービス向上】介護福祉士資格取得人数について 15 名を目標としていたところ、合計 9 名の職員に留まっています。

【職員満足の向上】法人内保育園で夜間延長保育の実施、更には学童保育の事業拡充により、地域の方々とともに働きながら子育て出来る環境に取り組んでおります。（一般希望者にも開放）。

【経営満足の向上】この分野では省エネルギーの取組としてソーラー発電研究を中長期的に研究する計画を立てていましたが、売電価格変更の情報入手を機に設置するに至りました。一か月平均 20 万円売電しています。

また、ベッド稼働率については目標の 97%に及んでいません（H31 年 3 月現在、95%）。入居利用者の平均要介護度が 4.5 であり、体調不良による入院者の増加が主な原因です。現在のところ、口腔ケアやリハビリ支援の維持強化に加え、具体的な対策として、積極的な看取り介護の実施、確実な加算取得体制の確保に努めたいと考えています。

計画の進行表

施設目標	数値計画	短期計画 H21～22 年度	中期計画 H23～25 年度	長期計画 H26～30 年度	財源等 （単位：千円）
施設の改修	ショートステイのリビング	整備			自己資金 13,000
	実績	完了			
	ひなた･さくらコスモスリビング・厨房整備		整備	整備	自己資金 30,000
	実績		長期計画へ。	ひなたリビング 27 年度完了	自己資金 17,388
	浴室の改修			個室浴設置	自己資金 5,000
	実績			未整備	
設備の更新（リース対応について検討）	老朽化エアコン更新		50 台 （20,000）	50 台 （20,000）	自己資金 30,000 民間補助 10,000
	実績		故障等なく更新の必要がなくなりました。長期計画へ。	故障が頻発し、更新が必要	
	特殊浴槽整備			2 台（9,000）	自己資金 6,000 民間補助 3,000
	実績			故障等なく更新の必要なし。	
	車両整備		2 台（3,000）	4 台（6,000）	自己資金 4,500 民間補助 4,500
	実績		現保有車両台数で運営ができていました。長期計画へ。	車いす対応車（軽）1 台更新	自己資金 17,288

	ボイラ整備				自己資金 15,000 民間補助 15,000
				2台（30,000）	
	実績			未整備	
	業務用洗濯乾燥機の整備			4台（5,000）	自己資本 5,000
				3台（4,000）	
	実績		1台購入	1台購入	自己資本 810
	ナースコールシステム整備				自己資金 15,000
	実績			整備完了	自己資本 5,241
新規事業への取組	高齢者住宅事業への参入			定員10人程度 （100,000）	
				施設としての計画中止	
財源	自己資金	21,000	51,500	289,000	361,500
	補助金		6,500	46,000	52,500
	借入			30,000	30,000

②「安全・確実・信頼」を求めて

施設目標	数値計画	短期計画 H21～22年度	中期計画 H23～25年度	長期計画 H26～30年度	財源等 （単位：千円）
利用者サービス向上	介護福祉士 36人	6人	15人	15人	
	実績	8人	17人	9人	
	管理栄養士1人		1人		
	実績	0人	0人	0人	
	社会福祉士2人		2人		
	実績	0人	0人	0人	
	職員研修会の充実 施設環境の向上	全職員の接遇研修 ユニットリーダー研修 先進施設研修・QCリーダー研修	初任者・中堅・リーダー研修・先進施設研修・パート研修	初任者・中堅・リーダー研修・先進施設研修・パート研修	
	実績	達成	介護力向上講習が主体となりました。		

職員満足の向上	子育てと仕事の両立	施設内託児所・学童保育施設研究	施設内託児所・学童保育施設開設		
	実績	H22 子育て支援プロジェクト発足・始動		施設内託児等は検討中止。宇和保の夜間保育や各学童保育事業の拡充にて対応	
経営満足の向上	給食業務の外部委託		外部委託開始		
	実績	H22.4～民間委託開始			
	省エネルギーの取組	空調・電気スイッチを各部屋及びグループ化設置検討	ソーラー発電研究	ソーラー発電研究	
				実施済み	
	実績	H25 年度実施	H24 年度取り付け完了		
	保守業務の見直し	空調保守	消防設備		
	実績	中期計画へ	毎年見直しを実施しています。今後も継続致します。	節電監視システムの導入	
	設備のリースへの移行	毛布	ベッド・オムツ・ナースコール	送迎車両・電話機 毛布	
	実績	現在の物が使用出来る為長期計画へ延期	同左	未実施	
	ベッド稼働率	93%	96%	97%	
	実績	95%	96%	95%	
震災対策	災害時の備蓄品（3 日分）	利用者・職員 100 名 3 日分 地域住民 50 名	利用者・職員 100 名 3 日分 地域住民 50 名	利用者・職員 100 名 1 日分 地域住民 50 名	

	実績	利用者・職員100 人 1 日分（厨房委託業者）地域住民 50 人 3 日分（松葉寮）	利用者・職員100 人 1 日分（厨房委託業者）地域住民 50 人 3 日分（松葉寮）	利用者・職員100 人 1 日分（厨房委託業者）地域住民 50 人 3 日分（松葉寮）	
	自家発電装置の整備		未整備		自己資金 1,000
	実績		長期計画へ		
地域と共に	年間 365 人のボランティア受入	受入システム作り	選任ボランティア職員配置	ボランティアセンター	
	実績	ボランティア委員会による受入､マニュアル･活動記録を整備しました。	ボランティア担当職員を配置しました。	未整備	
	在宅介護支援事業 1		介護教室・介護相談事業開始	介護教室・介護相談事業	
	実績		事業検討しています。	介護教室展開人の輪委員会	

（２）ケアハウスれんげ

施設概要

誰もが利用したくなるような施設・事業所づくりを施設理念とし、施設理念に基づき、常に相手の立場に立ったサービスを提供するため、ご利用者お一人お一人を大切にし、ケアハウスれんげ職員としての自覚を持ち、向上心を高めて技能・知識の習得に努めます。また地域に根差した施設作りを目標とし、事業所の利用率・利用者数の向上に努め、当期資金収支差額の黒字化を目指します。平成 23 年 7 月より特定施設入居者生活介護事業を導入し、利用されている皆さん同士が、隣人として心通わせる生活をお送り頂くよう援助しながら、中・重度介護の必要が生じても、施設として対応できるシステムとなっています。

施設設備

長期計画：H26～30 年度

居室エアコンの整備

照明器具の LED への移行

洗濯物干し場の整備（中庭）

福祉車両補助申請　（軽自動車）

顧客満足

長期計画：H26～30 年度

稼働率　95%を目標に生活支援を行います

人材育成

長期計画

施設の介護福祉士を 1 人養成します。

ユニットリーダー研修修了者 1 人を養成します。

長期計画実施状況

長期計画の設備更新として、資源エネルギー庁の補助を活用し共有部分のエアコン更新を行いました。居室エアコンは不具合のあるものから順次取替えを行い半数以上が更新を終えることができました。ナースコールは平成 27 年度松葉寮と一体的に更新を行いました。

施設改修としては、計画にはなかったが経年劣化による雨漏りがあり東側陸屋根部分の防水工事を行いました。特定施設体制による利用者の重度化傾向に対応するため、一般浴槽のみであった入浴施設に車椅子から直接入浴できる個浴を設置するよう労働局の補助を活用し改修を行いました。

平成 23 年度からの特定施設入居者生活介護事業も、利用定員の約３分の２が特定施設利用者と安定的に推移し、現在も 20 名の方に特定施設を利用していただいております。今後も安心して生活していただけるよう更に生活支援に力を入れていきたいと思います。

経過の進行表

施設目標	数値計画	短期計画 H21～22 年度	中期計画 H23～25 年度	長期計画 H26～30 年度	財源等 （単位：千円）
施設改修	緊急避難用扉の設置	洗濯物干し場			自己資金 1.000
	実績	設置終了			自己資金 263
	居室 4 部屋ユニットバスの完備		115 号～118 号		自己資金 4.000
	実績		計画中止		
	娯楽室のバリアフリー化				自己資金 3.000
	実績		段差解消		自己資金 1.370
	中庭洗濯物干し場の設置			中庭廊下側設置	自己資金 1.000
	実績			H26 設置済	自己資金 676
	防水工事			東側陸屋根	
	実績			H30 完了	自己資金 2,646

	浴室改修			個浴設置	
	実績			H30 完了	自己資金 2,016 公的補助 674
車両・設備更新	ワゴン車両整備	1 台			自己資金 1.000 民間補助 2.000
	実績		リース契約		
	ボイラ整備			1 台	自己資金 2.500 民間補助 3.000
	実績			次期繰越	
	エアコン更新	リース対応	15 台 (3.000)	15 台 (3.000)	自己資金 3.000 民間補助 3.000
	実績		リース計画中止 購入 1 台	H30 居室 17 台更新	自己資金 2,507
				H30 共有部分 更新	自己資金 8,309 公的補助 2,642
	ナースコール更新	(540)	(2,000)	(2,000)	自己資金 4,540
	実績			H27 更新	自己資金 3,683
	火災報知機センサー更新	10 箇所	35 箇所	41 箇所	自己資金 1.350
	実績	2 箇所	2 箇所	2 箇所	自己資金 154

（３）福祉の里

１）福祉の里デイサービスセンター

目標概要

地域の中の施設として皆様から選んでいただけるように、平成 24 年度より作業療法士を配置し、個別機能訓練のサービスを開始しました。また定休日（日曜日）を設け、提供日（月～土）のサービス提供の充実を図りました。平成 25 年度からは営業終了時間を約 1 時間延ばし、9 時 30 分から 16 時 40 分の営業時間としました。

また、重度のご利用者様にも安心してご利用していただけるように個別の機能訓練のサービスも利用できるなど、特色を出して、ご利用して頂けるようなデイサービスを目指します。

福祉避難所としての機能の充実も今度検討していく必要があります。

送迎車両の購入及び更新

長期計画：H26～30 年度

ワゴン車を購入

設備の購入及び更新

長期計画：H26～30 年度

ホール内エアコンの交換

人材育成

長期計画：H26～30 年度

介護福祉士 9 名　（現在資格者 9 名　内 1 名は育児休業中）

長期計画実施状況

福祉の里では介護福祉士の有資格者数 9 名確保を目指してきました。しかし、平成 30 年度における介護福祉士の数は 4 名と低迷しています。その原因は、①法人内有資格者数の不足　②定期異動に伴う資格保有者の他施設への流出　③通所介護事業の介護報酬マイナス改定による人件費抑制　④未資格者の新規採用増　等が挙げられます。他業種からの転職者（未資格）は受験資格取得までに最低 3 年を要するため、日頃から実務経験年数等の管理を徹底し潤滑な受験につなげたいと考えております。

法人全体では引き続き職員の資格取得支援を継続展開していることから介護福祉士の数が伸びており、その占める割合が向上すれば施設への有資格者分配も期待できます。

その他、送迎車輌及び空調の整備については計画的に更新できており円滑な事業運営につながっております。

経過の進行表

施設目標	数値計画	短期計画 H21～22 年度	中期計画 H23～25 年度	長期計画 H26～30 年度	財源等 （単位：千円）
設備、備品、車両等の購入及び更新	特殊浴槽		特殊浴槽更新		
	実績		更新		
	送迎車両			ワゴン車購入 ワゴン車整備	リース
	実績			未整備	
	ボイラ	ボイラ			
	実績	更新			
	エアコン			3 台	
	実績		4 台	3 台	
サービス内容に関する事	アンケート調査の不満割合の削減		不満やや不満を 70%削減		
	実績		80%削減		

人材育成	介護福祉士 9名	3名	3名	3名	
	実績	3名	5名	4名	
災害対策	水、食糧等3日分の備蓄		被災者50人分	被災者50人分	
	実績		長期計画へ	50人分	
地域貢献	ボランティア受け入れ		年間40名	年間40名	
	実績	50人	平均170名	平均50名	
地球に優しい	生ごみの資源化		100%	26年度より食事を業者に委託	
	実績		50%	100%	

２）多田あんしんの家

目標概要

「あんしん」「あんぜん」「あんらく」住み慣れた地域で、なじみの仲間と過ごし、なじみのスタッフが介護にあたることから、あんしんで落ち着いた時間を過ごせる場所を提供することを目的に、地域介護、地域福祉の拠点として地域の方の交流の場としての機能充実を図ります。

① 人材育成については、介護福祉士2名の養成を目指します。
② 南海トラフ地震対策として、利用者及び職員の水、食糧の備蓄3日分を30年度までに完備します。
③ 生活リハビリの強化と、家族との情報及び交流を深めます。
④ 福祉の里グループ及びあんしんの家との連携をとりながら、ボランティアの受け入れ（年間30名）を積極的に取り組み、介護予防に力を入れます。

※平成30年1月31日事業を廃止。

宇和町内小学校区それぞれに通所並びに短期入所事業所の配置を目標に掲げ平成17年9月1日西予市宇和町伊延東にて事業開始しました。当初は福祉資源が皆無であったことから地元多田地区より多数の利用者を受入れていましたが、複数の施設の運営開始に伴い同地区在住の利用者数が減少していきました。住み慣れた地区でのサービス提供が目的の一つであったことから、一定の役割は果たせたものと捉えております。

経過の進行表

施設目標	数値計画	短期計画 H21～22 年度	中期計画 H23～25 年度	長期計画 H26～30 年度	財源等 （単位：千円）
施設の改修	浴室の拡張 床の改修		浴槽、洗い場の拡張	浴槽、洗い場の拡張	自己資金 3,000
	実績		長期計画へ	未実施	
設備の更新	送迎車両整備		ワゴン車		
	実績	23 年 2 月更新リース車	短期にて実施		
	健康器具整備	あんま機 ホットパック	あんま機 ホットパック	あんま機	
	実績	未整備	ホットパック 25 年 2 月	未整備	
人材育成	介護福祉士 4 名		2 名	2 名	
	実績		達成	1 名	
	介護支援専門員 1 名		1 名		
	実績		0 名		
震災対策	利用者・職員、水食料 3 日分備蓄		35 人	35 人	自己資金 200
	実績		5 人分	10 人分	
財源	自己資金	1,000	4,500	200	5,700
	実績		2,082		
	補助金		2,500		
	実績		なし		

３）ななほし中川

目標概要

ななほし中川は、学童保育を併設したあんしんの家として平成 23 年度に新設し、老人と子どものふれあいの場を大切にすることにより、中川地域福祉拠点としての機能を高めていくことを目指します。

① 南海トラフ地震対策としての水、食料等 3 日分の備蓄を進めます。
② 職員の専門性と心の優しさを育み、利用者サービスに努めます。
③ 中川地区の社会資源とし福祉拠点を目指します。

長期計画実施状況
ななほし中川の長期計画は「介護福祉士資格取得者 2 名確保」と「震災対策　備蓄食材 50 名分の確保」でありました。
介護福祉士は平成 30 年度管理者含め 7 名在籍しており計画を超える状況となっています。また、備蓄は平成 26 年当時自前で調理し食事を提供していたことから常時複数日分の食材を確保できていました。平成 29 年度からは、食事を自前から調理済み食材の提供に転換し、常時 3 日分（5 名×3 食×3 日）の備蓄は確保できています。
以上を踏まえ、ななほし中川は当初打ち出した長期計画に沿った事業展開が図れたといえます。

経過の進行表

施設目標	数値計画		短期計画 H24～25 年度	長期計画 H26～30 年度	財源等 （単位：千円）
施設			グループホームの移転・新築		自己資金 50,000
	実績		新築・移転		
人材育成	介護福祉士 4 名		2 名	2 名	
	実績		1 名	1 名	
	介護支援専門員 1 名		1 名		
	実績		0 名		
震災対策	利用者・職員、水食料 3 日分備蓄		50 人	50 人	自己資金 400
	実績		10 名	45 人	
財源	自己資金				50,400
	実績				

４）グループホームうつのみやさんの家

目標概要
　平成 25 年 12 月、中川地区に新築、移転をしました。ご利用者の高齢化、重度化に伴い限界を感じていた施設から、バリアフリーの施設になりサービス提供に変化がありました。今後は、ご利用者、ご家族が望まれるのであれば出来るだけ長く、住み慣れたグループホームで生活していただけるような施設を目指します。

長期計画実施状況
長期計画内容「認知症実践者研修修了者 1 名」「認知症対応型サービス事業管理者研修修了者 1 名」「災害対策備蓄品 10 人分の準備」
研修はそれぞれ計画に基づき受講し「認知症実践者研修」は平成 29 年度、「認知症対応型サービス事業管理者研修」は平成 26 年度に修了しました。
両研修修了は施設運営上必須であるため今後も計画的に職員を派遣していきます。
災害対策備蓄品は、食事提供体制を平成 28 年度より自前から調理済み食材（宅配）に切り替え提供していますが、急な入院等で提供できず余った冷凍食材が常時 54 名分（9 名×3 食×2 日）程度保管しているため備蓄品として活用したいと考えています。

経過の進行表

施設目標	数値計画	短期計画 H21～22 年度	中期計画 H23～25 年度	長期計画 H26～30 年度	財源等 （単位：千円）
施設整備 平成 23 年度 追加			グループホームの移転・新築		自己資金 50,000
	実績		新築・移転		
人材育成	介護福祉士 3 名		正職臨時 1 名 パート 2 名		
	実績	2 名	5 名		
	認知症実践者研修		1 名	1 名	
	実績		0 名 長期計画へ	1 名	
	認知症対応型サービス事業管理者研修		1 名	1 名	
	実績		0 名 長期計画へ	1 名	
地域貢献	ボランティア受入		年間 20 人		
	実績		15 名		
災害対策	利用者・職員、水食料 3 日分備蓄		利用者・職員被災者 10 人分	利用者・職員被災者 10 人分	
	実績		水のみ	54 名分	
環境保全	生ごみ資源化		100%削減		
			50%		

５）リハビリ専門デイサービス歩

目標概要

在宅生活に不安を抱える高齢者の方々の支援のために、リハビリテーションを提供することで障害部位の機能回復や残存機能の向上を図り、日常生活の維持・改善に努めることで、少しでも住み慣れた地域で生活していただきます。

・在宅生活におけるADL・IADLの自立度の改善
・家族の介護量の軽減
・リハビリスタッフの人材育成

【　具体的目標　】

①施設設備

Ｈ26～30年度

デイ送迎車補助申請　（軽自動車）　（歩）

②顧客満足

Ｈ26～30年度計画

デイサービスの利用状況として、2単位/日　各定員の10人を目指し、在宅の利用者様に対してサービスの充実を計ります。また、年平均稼働率85%を目指します。

③人材育成

理学療法士・作業療法士の新人教育
福祉住環境コーディネーターの養成

平成26年～30年度 実施状況　歩

介護保険法の改正により地域密着型・総合事業の小規模事業所として、短時間（午前・午後2単位）のリハビリ専門デイサービス事業を展開しております。

事業内容は介護報酬の減少を補う目的として、業務の効率化を図ることと地域の要望に応えるため定員を10名から15名に増員いたしました。

場所も平成30年9月より「旧うわまち南保育園」に移転し心機一転、地域の在宅福祉に貢献できるように努力しております。

経過の進行表

施設目標	数値計画	H25年度	H26～30年度	財源等 （単位：千円）
設備の更新	送迎車輌	送迎車 軽ワゴン2台購入 リフト車 2 台　（寄附）	送迎車（軽リフト） 補助申請 送迎車（セレナ）	日本財団助成 自己資金
	実　績	リース及び購入 游の里・福祉の里（寄附）	軽リフト車は 継続申請中 セレナ（普通車）	自己資金 1,000

設備の更新	事業所移転		平成 30 年度移転	自己資金
	実　績		平成 30 年度　旧うわまち南保育園跡地	自己資金 10,000
顧客満足度	アンケート調査の満足率のアップ		本人・ご家族の満足度目標 85～90%	
	実　績		達成 （長期アンケート結果）	
人材育成	ケアマネージャー：2 名 福祉住環境コーディネーター　3 名		期間を問わず、出来る限り早期に達成	
	実　績		平成 29 年度中に達成	
環境保全	一般ゴミの削減		ゴミ量の 5%削減	
	実　績		受け入れ人数の変化や移転などにより比較が困難。職員一同努力を継続中。	

６）リハビリ専門デイサービス歩　みま店

目標概要

在宅生活に不安を抱える高齢者の方々の支援のために、リハビリテーションを提供することで障害部位の機能回復や残存機能の向上を図り、日常生活の維持・改善に努めることで、少しでも住み慣れた地域で生活していただきます。

・在宅生活における ADL・IADL の自立度の改善
・家族の介護量の軽減
・リハビリスタッフの人材育成

【　具体的目標　】

①施設設備

Ｈ26～30 年度

デイ送迎車補助申請　（軽自動車）　（歩　みま店）

②顧客満足

Ｈ26～30 年度計画

デイサービスの利用状況として、1 単位/日　定員の 10 人を目指し、在宅の利用者様に対してサービスの充実を計ります。また、年平均稼働率 85%を目指します。

③人材育成

理学療法士・作業治療士の新人教育

福祉住環境コーディネーターの養成

平成 26 年～30 度　実施状況　歩　みま店

平成 26 年 6 月に午前中のみ 1 単位 10 名から開始した歩みま店ですが、平成 28 年より午前・午後定員 10 名に変更し、現在、宇和島市の地域密着・総合事業の小規模事業所として定員も午前・午後 12 名のリハビリ専門デイサービスとして営業しています。平成 30 年の 7 月豪雨で、三間地区の水道が使用できない状況となり、一時は利用者数（率）が大幅に減少致しました。加えて、来年度には、施設建物の賃貸借契約が満了することもあり、平成 30 年 3 月で事業廃止致しました。

経過の進行表

施設目標	数値計画	H26 年度	H27～30 年度	財源等 （単位：千円）
設備の更新	送迎車輌	送迎車 軽ワゴン：2 台 ワゴンリフト車：1 台 （寄附）	送迎車（軽リフト） 補助申請	自己資金 日本財団助成
	実　績	リース：2 台 福祉の里（寄附）	軽リフト車は継続 申請中 軽リフト（中古） 1 台リース	
顧客満足度	アンケート調査の満足率のアップ		本人・ご家族の満足度目標 85～90%	
	実　績		達成 （長期アンケート結果）	
人材育成	歩全体での数値目標		期間を問わず、出来る限り早期に達成	
	実　績		住環境福祉コーディネーターの目標 H29 年達成（新規以外）	
環境保全	一般ゴミの削減		ゴミ量の 5%削減	
	実　績		受け入れ人数の変化により比較困難。職員全員で努力継続中	

（４）游の里

１）游の里関連施設

施設の目標

- 在宅で暮す高齢者、身体障害者の心身の機能回復を図り、利用者が一日でも長く居宅で生活できるよう在宅ケアの支援に努めます。
- 利用者の意思及び人格を尊重し、安心して楽しんで過ごせるサービスの提供を心がけ、生きることへの自信や気力を促し、支え寄り添うケアをめざします。
- 地域の中核施設となるべく、地域社会との交流を促進し、利用者が地域において総合的サービスの提供を受けることができるよう努めます。

・　利用者が「にこやか」で「明るく健康的」に過ごすことができるよう、常にサービスの心を持ち続け「笑顔」「あいさつ」「まごころ」を利用者に届けるよう努めます。
・　利用者又はその家族に対して、サービスの内容及び提供方法について分かりやすく説明を行うと共に同意を得て実施し、その家族からは信頼して利用者を預けていただける施設づくりをめざします。

事業所の現状及び主な計画

石城あんしんの家れんげ

①　開所後 2 年が経過し、利用者も固定し経営も安定してきています。地域に根ざした施設として、ボランティアの受け入れ、地域行事に出向くなど積極的に地域との交流が図れるようにします。

②　職員自己評価を実施し、職員の段階に応じた研修等、人材育成を図る必要を感じました。また仕事にやりがいを感じ、満足感がもてる職場作りが必要です。

具体的目標

施設整備

・　ワゴン車を H23 年までに更新します。
・　専門職の育成
・　介護福祉士　　21 年度　2 人受験
・　介護支援専門員　21 年度　2 人受験
・　生ゴミの資源化　100%継続

游の里デイサービスセンター

・　H20 年度から自立・要支援の方を中心として介護予防の施設としてスタートしましたが、区分変更で要介護となられた方の引き続きの利用を希望される方が多く、介護予防の特色を生かして選択が出来るよう受け入れの範囲を広げます。
・　西予市からの指定管理者として協定にもとづき、大規模改修、設備の更新など市と協議をしながら進めていきます。

あんしんの家

・　地域に密着した、泊まって通える施設ではあるが、ショートステイが２床しかなく、利用者の要望を満たすことが困難となり、地区外のショートステイを利用されています。常時 3 人は受け入れのできる体制を確立します。
・　利用者数が開設当初の 1 日平均約 3 人から H20 現在約 11 人と大幅に増加し施設が手狭となりました。建物の賃貸契約が H21.3.31 で満了しますが、家主との協議の結果 H21.10.31 までに施設の移転を行います。

具体的計画

施設整備

中期計画

厨房設備：H8 開設時中古で設置してあった冷凍冷蔵庫、ガスオーブンを更新します。

あんしんの家：賃貸契約期間が満了する施設の移転をH21に行います。

長期計画

入浴設備：H8開設時に設置し21年が経過した特殊浴槽、入浴リフトをH29に更新します。

送迎車両：H8開設時に導入し18年が経過したマイクロバスをH26に、19年が経過したワゴン車をH27に更新します。

給湯設備：耐用年数を5年経過したボイラ、ろ過装置をH28に更新します。

空調設備：耐用年数を7年経過した空調設備をH30に更新します。（ユートピアと折半）

人材育成

中期計画

H23までに正職・臨時の介護職員は100%が介護福祉士とします。

H25までにパートの介護職員は50%が介護福祉士とします。

H22までにケアマネージャーを1人養成します。

H21に1人、H25までに3人の認知症介護実践者研修修了者を養成します。

H25までに認知症対応型サービス事業管理者研修修了者2人を養成します。

H25までに障害福祉サービス管理責任者研修修了者1人を養成します。

地域貢献

中期計画

地域に開かれた福祉施設として、年間　150人のボランティア受け入れを目指します。

災害対策

中期計画

H23までに南海トラフ地震対策として、利用者、職員及び地域住民被災者　合計100人分の水、食糧3日分を備蓄します。

環境保全

中期計画

H23までに生ゴミの資源化を図り、100%削減します。

長期計画実施状況

（游の里）

平成30年西日本豪雨により、平成30年12月までの6カ月間福祉の里デイサービスにて事業を行うことになりました。

長期計画で整備を予定していた設備は、入浴リフト、空調設備、浴槽水ろ過装置の更新でした。リフト及び空調設備は定期のメンテナンスで継続使用が望めることから更新を見送っています。今後も同様に保守点検しながら使用していきます。また災害対策における対策として、水及び食料を70名分備蓄する計画となっていましたが、通所介護事業所での長期滞在は現実的でないため利用者及び職員合わせて50名1日程度の備蓄量に留めています。今後は避難の長期

化が予想される原子力災害も視野に入れ想定範囲を広げる必要性を感じております。西予市との指定管理契約が継続される場合は専門機関の指導の下必要な量の備蓄を準備していきます。
（あんしんの家）
スプリンクラーの新規設置、認知症介護実践者研修受講（1 名）、年間ボランティア 30 名受入、災害備蓄品確保（20 名分）等を目標に掲げていました。
法律で設置が義務化されたスプリンクラーは平成 29 年度中に新規設置いたしました。認知症介護実践者研修は受講対象要件（認知症高齢者介護実務 2 年等）を満たしておらす、または、人員に余裕がないなどの理由により職員を派遣できておりません。
年間ボランティアに関しては、年間 10 名前後の受入で推移しています。より多くのボランティアを募り地域の福祉に対する理解を深めたいと考えております。
災害備蓄品は 30 名分の食料が確保されています。今後は医薬品や介護用品等にも目を向け準備を進めていきます。
（石城あんしんの家れんげ）
災害備蓄品 20 名分の確保を目標としていました。平成 27 年 4 月から短期入所事業（定員 3 名）を廃止し通所介護事業のみの運営に変更したことから、備蓄品は準備しておりません。
平成 28 年度当初より事業種別を「指定通所介護」から「認知症対応型通所介護」へと変更し運営展開しています。今後は専門性をより高め認知症を発症した方、また介護するご家族と幅広く安心してご利用いただける施設の構築に努めてまいります。

経過の進行表　石城あんしんの家れんげ

施設目標	数値計画	短期計画 H21～22 年度	中期計画 H23～25 年度	長期計画 H26～30 年度	財源等 （単位：千円）
車両等購入に関する事	送迎車両		ワゴン車購入		自己資金 日本財団助成
	実績	H21 年度ワゴン車完了	短期実施		
顧客満足	アンケート調査の不満割合削減		不満やや不満を 70%削減		
	実績		50%削減		
人材育成	介護福祉士 2 人	2 人			
	実績	1 人			
	介護支援専門員 2 人	2 人			
	実績	0 人	1 人		
	社会福祉士				
	実績	1 人			
災害対策	水、食料等 3 日分の備蓄		被災者 20 人分		
				20 人確保	
	実績		0 人	0 人	

地域貢献	ボランティア受け入れ		年間 20 人		
	実績		35 人		
地球にやさしい	生ゴミの資源化	100%継続			
	実績	100%継続			

経過の進行表　　游の里デイサービスセンター

施設目標	数値計画	短期計画 H21～22 年度	中期計画 H23～25 年度	長期計画 H26～30 年度	財源等 (単位：千円)
施設整備	冷凍冷蔵庫		更新		自己資金 1,000
	実績		購入		
	スチーム オーブン		更新		自己資金 1,500
	実績		なし	なし	
	特殊浴槽			更新 利用ないため 未定	自己資金 6,000
	実績				
	入浴リフト			更新	自己資金 3,500
	実績			更新せず継続 使用	
	マイクロバス１号			更新	自己資金 7,000
	実績		H 25 年度福祉の里から譲受	中期に実施	
	ワゴン５号			更新	自己資金 1,500 補助金 2,000
	実績		H24 年度競輪公益資金補助を頂き更新	中期に実施	
	ボイラ			更新	自己資金 1,500
	実績		H23 年度西予市事業により木質ペレットボイラーに更新	中期に実施	
	濾過装置			更新	自己資金 2,000
	実績			更新せず継続 使用	
	空調設備			更新	自己資金 2,500 補助金 7,500
	実績			更新せず継続 使用	
人材育成	介護福祉士６人		正職・臨時職員　４人 パート　２人		
	実績	臨時１名	正職３人・パート１人		
	介護支援専門員	１人			
	実績	０人			

	認知症介護実践者研修　1人		1人		
	実績		1人		
	障害福祉サービス管理責任者研修1人		1人		
	実績		1人		
地域貢献	ボランティア受入		年間　100人		
	実績		平均　130名		
災害対策	水・食糧3日分備蓄		利用者・職員被災者70人分	利用者・職員被災者70人分	
	実績		0人	50名/1日分	
環境保全	生ゴミ資源化		100%削減	100%削減	
	実績		0%		

経過の進行表　　あんしんの家

施設目標	数値計画	短期計画 H21～22年度	中期計画 H23～25年度	長期計画 H26～30年度	財源等 (単位：千円)
施設整備	建物施設	建物施設移転		スプリンクラー	自己資金 2,500 補助金 7,500
	実績	H21年度新築移転		スプリンクラー新規設置	
人材育成	介護福祉士2人		正職・臨時1人 パート1人		
	実績		0人		
	認知症介護実践者研修	1人	1人	1人	
	実績	0人	0人	0人	
	認知症対応型サービス事業管理者研修		1人		
	実績		0人		
地域貢献	ボランティア受入		年間　30人	30人	
	実績		9人	10人	
災害対策	水・食糧3日分備蓄		利用者・職員被災者20人分		
				継続	
	実績		0人	30名	
環境保全	生ゴミ資源化		100%削減	継続	
	実績		0%	0%	

（５）皆楽園

１）特別養護老人ホーム皆楽園、デイサービスセンター皆楽園

目標概要

平成 20 年 4 月オープンの施設であり施設整備や改修は当面必要としていません。但し、特浴とリフト浴が平成 9 年購入物件を再利用した為、注意深く使用する必要があります。送迎用のリフト車に老朽化の激しいものがある為、有利な補助事業等を活用して更新する予定にしています。

事業推進の本旨たる介護サービスの充実については、理念と利用者アンケート等を踏まえ具体的数値計画を以下に示し「老人に生きがいを」の実現としていきます。また、施設建設時の借入金を平成 30 年には完済し、可能な限り償却資産の更新費用も積立てていく計画としています。そのためには入所者の健康管理を徹底し入院日数の削減、短期入所者の稼働率アップ等で収入増を図りつつ管理運営費の削減を目標としています。

人材育成においては安定し良質なサービスを提供するに欠かせない要件であり良質な介護サービス提供を実践できるプロフェッショナル集団を育成してまいります。

自然を愛し環境に配慮した施設経営を推進し法人目標の数値をクリアするように努めてまいります。

施設設備

長期計画：Ｈ26～30 年度

研修施設建設

デイ送迎車補助申請　（軽自動車）

顧客満足

長期計画：Ｈ26～30 年度

短期入所　稼働率　90%　　デイサービス　1 日平均　20 人を目指し、在宅の利用者様に対してサービスの充実を計ります。また、機能訓練等により自立への支援をサポートしていきます。

人材育成

長期計画

介護支援専門員を 3 人養成します。（現在資格者 5 人）

施設の介護福祉士を 5 人養成します。（常勤換算 70%を目指します。）

社会福祉士を 1 名養成します。

ユニットリーダー研修修了者 2 人を養成します。

長期計画実施状況

デイサービスは平成 28 年度より地域密着型　定員 18 名(平成 27 年度までは定員 30 名)として運営しています。その為、長期計画の中で補助申請の予定をしていたデイ送迎車については、定員を下げた為、申請を見合わせています。稼働率では 78%、1 日あたり 14 名となり当初の計画より数字が伸びていません。入所では高い稼働率を示してはいるものの、待機者数が年々減少しており早い段階での入所判定調査が必要となってきています。平成 27 年 9 月避難施設を兼ねた研修施設を建設いたしました。福祉避難所としての指定は受けてはいるものの、備蓄や設備は充分ではなく今後の課題となっています。開設して 11 年目を迎えており、大型電化製品や厨房器具などの買い替えも視野に入れ、予算化が必要となっています。施設目標の項目に入ってはいませんが、今後は職員確保の問題が顕著化していくと考え、利用者様の為にも魅力ある施設作りが大切と考えます。

経過の進行表

施設目標	数値計画	短期計画 H21～22 年度	中期計画 H23～25 年度	長期計画 H26～30 年度	財源等 （単位：千円）
設備の更新	リフト車更新	補助申請	不採用なら補助申請	デイ送迎車（軽）補助申請	自己資金 民間補助
	実績	不採用	リースにて購入	未申請	
	特殊浴槽更新				
	実績	補助事業購入			
顧客満足	不満、どちらかというと不満の 70%削減		23 年度アンケートで確認		
	実績	50～60%削減	50～90%削減		
	入居者の平均要介護度の維持、改善に努める	3.4	3.5	3.8	
	実績	4.0	3.7	3.8	
	居室稼働率	95%	95%	95% 97%	
	実績	95%	96%	98%	
	短期入所稼働率	80%	80%	90%	
	実績	91%	82%	78%	
	デイサービス利用者 1 日当たり	21 人	23 人	25 人 20 人	
	実績	19 人	17.6 人	14 人	

専門職の育成	ユニットリーダー研修終了者4人	2人	H23年　2人	2人	
	実績	5人(1人異動)	4人(2人異動)	2人	
	介護福祉士 13人	3人 常勤換算50%	6人 常勤換算70%	4人 5人 常勤換算 70%以上	
	実績	3人	3人	3人	
	社会福祉士				
	実績			1人	
	介護支援専門員3人	2人	H25年1人	 3人	
	実績	1人	該当なし	1人	
地域貢献	ボランティア受入150人/年	120人/年	150人/年	150人/年 100人/年	
	実績	63人／年	43人/年	84人/年	
災害対策	水・食糧3日分備蓄	入所者、利用者被災者+職員計100人	21年実績+被災者30人計130	中期実績＋被災者100人	自己資金 450
				避難施設兼研修施設建設	自己資金 410,000
	実績	食糧50人 飲料水300人	120人分 (1人×3食×3日を1とする)	126人分 (1人×3食×3日を1とする)	
環境保全	生ゴミ資源化 100%	検討	達成	100%	自己資金 1,460
	実績	90%	生ごみ処理機購入80%	未実施	
	可燃ゴミ 10%　減	10%削減	継続	継続	
	実績	24%増加	33%増加	10%削減	

（６）特別養護老人ホームあけはま荘　　明浜デイサービスセンター

目標概要

私たちは、安心・尊厳・信頼を基本理念に掲げ、ご利用者様に安心で尊厳のある生活の場を提供し、皆様から愛され、信頼される施設を目指しております。そのために、自立支援介護の実践、研究を深め、尊厳のある生活ができる施設を目指し、終末期の看取り介護の実践を行い、最後まで生活のできる施設、最後を迎えたい施設となるよう努力したいと考えております。

① 昭和 51 年、明浜町（現西予市明浜町）で誕生した当施設は、平成元年の大規模改修工事を経て、平成 21 年 4 月 1 日から当法人に経営が移譲されました。建物や各設備ともに老朽化が進んでおり、自己資金や補助金等の有効活用により、整備を検討しております。又建物の老朽化、耐用年数を考え、今後新築、移転等を含め中長期で検討をしていきます。

② 職員が働きやすい職場、働きがいがある職場となるよう、職員一人ひとりが経営に参加できるよう提案、意見が集約できる仕組みの導入を検討いたします。

③ デイサービスセンターにおいては、利用者満足度を高められるよう、接遇や介護技術の向上が図れるよう研修等を行っていきます。

長期計画実施状況

設備及び建物の老朽化が進んでおり、長期計画で更新を予定しておりました、普通浴の改修につきまして、補助金を活用し特殊浴槽を購入し、また浴室を改修し個浴槽の設置を行うことができました。また空調設備につきましては、故障等により使用ができなくなった居室より随時更新し対応をしております。次期計画へ持ち越し再検討が必要な施設整備もありますが、今後も、老朽化が進むことが予想され、改修工事、建て替えの両選択で検討をしたいと考えます。また人材育成、利用者のサービス向上の観点から、資格取得に助成を続けており、介護福祉士 9 名、介護支援専門員 5 名が新たに誕生いたしました。

施設目標	数値計画	短期計画 H24～25 年度	中長期計画 H26～30 年度	財源等 （単位：千円）
施設整備	冷凍冷蔵庫	更新		
	実績	更新済		
	空調設備		更新	自己資金 40,000 又はリース
	実績		適宜更新	
	ボイラ　2 台	更新（旧館）	更新（旧館・新館）	自己資金 5,000 補助金 5,000
	実績	中長期計画へ	修繕で対応	
	特殊浴槽	更新		
	実績	更新済		

	衣類乾燥機	更新 1 台	更新 1 台	自己資金 2,000
	実績	修繕で対応 中長期計画で検討	修繕で対応	
	車両整備		リフト普通・軽各 1 台	自己資金 3,000 又はリース
	実績		次期計画で検討	
	介護ベッド		30 台更新	6,000
	実績		12 台更新	自己資金 670
	利用者コールシステム	更新	更新	自己資金 5,000 又はリース
	実績	中長期計画へ	旧館更新	自己資金 1,450
	普通浴改修		実施	自己資金 3,000
	実績		更新済	
	トイレ増設工事		実施	自己資金 3,000
	実績		次期計画で検討	
	照明器具（LED）		実施	自己資金 2,000
	実績		更新済	
	居室テレビ視聴工事	実施	実施	自己資金 2,000
	実績	中長期計画へ	中止	
	給食業務の外部委託	委託の検討		
	実績	25 年度より実施		
人材育成	社会福祉士	2 人	1 人	
	実績	1 人	0 人	
	介護福祉士	8 人	10 人	
	実績	7 人	9 人	
	介護支援専門員	3 人	2 人	
	実績	0 人	5 人	
地域貢献	ボランティア受入	年間 100 人	年間 100 人	
	実績	108 人	年間 50 人	

	小・中学校との交流	年 2 回	年 2 回	
	実績	年 2 回	年 2 回	
	巡回相談		年 5 回	
	実績		未実施	
災害対策	水・食料 3 日分備蓄	水・食料 3 日分備蓄	水・食料 7 日分備蓄	
	実績	備蓄完了	2 食で 7 日分	
環境保全	生ゴミ資源化	100%削減	100%削減	
	実績	100%継続	0%	

（7）ケアハウスはまゆう

目標概要

ケアハウスは、入浴や排泄、洗濯など、日常生活を行うことが出来るが身体機能が低下しつつあり、自立した生活（自炊が出来ない程度）が心配な高齢者に利用してもらうための施設です。また要介護認定を受けられ、要支援以上になられた方は、入浴、排泄、食事等の必要な介護を受けながら生活ができるので、入所後、長い期間利用が可能な施設となっています。

① 当施設は平成 8 年 4 月に明浜町（現西予市明浜町）が開設、運営し、平成 21 年 4 月 1 日から当法人の経営に移譲されました。現在、建物や各設備ともに老朽化が進んでおり、自己資金及び補助金の有効活用によって、整備を検討しております。

② 平成 25 年度より、特定入所者生活介護事業を開始し、介護認定を受けた利用者の方も安心して利用いただいております。

③ 一般利用者及び特定利用者ともに満足度を高めるために、レクリエーション、余暇活動、機能訓練の充実が図れるようにして行きます。

長期計画実施状況

平成 25 年 4 月 1 日より、開始しました特定施設入居者生活介護事業は、軌道に乗り経営も安定しておりますが、一般利用者と特定利用者の入退所により、収入にばらつきができる可能性もあり、さらなる経営安定に努めたいと考えております。

建物及び備品につきまして老朽化しており、修繕及び更新が今後増えることが予想されます。利用者の生活に不便がないよう適宜対応をしたいと考えております。また災害対策として、水・食料 3 日分の備蓄で計画を行っておりましたが、1 日 2 食で 4 日分増の、7 日分が備蓄をすることができました。

施設目標	数値計画	短期計画 H24～25 年度	中長期計画 H26～30 年度	財源等 （単位：千円）
施設整備	空調設備	更新	更新	自己資金 4,000
	実績	適宜更新中	適宜更新中	

	ボイラ及びろ過機		更新	自己資金 5,000
	実績		次期計画で検討	
	車両整備		軽自動車更新	自己資金 2,000 又はリース
	実績		次期計画で検討	
人材育成	社会福祉士 介護福祉士 介護支援専門員	あけはま荘分に含まれる	あけはま荘分に含まれる	
	実績	社会福祉士 1 名 介護福祉士 7 名	介護福祉士 9 名 介護支援専門員 5 名	
経営満足度の向上	特定入所者生活介護事業に向けて	検討	実施	
	実績	25 年度より事業開始		
災害対策	水・食料 7 日分備蓄	水・食料 3 日分備蓄	水・食料 7 日分備蓄	
	実績	備蓄完了	2 食で 7 日分	
環境保全	生ゴミ資源化	100%削減	100%削減	
	実績	100%継続	0%	

第３章　利用者等アンケート・聞取り調査

この計画では3年おきに実施することになっているアンケート調査を、前回と可能な限り同一条件で実施しました。
利用者家族アンケート、本人調査、自己評価の調査項目は横浜市福祉サービス第三者評価ホームページ（http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/hyouka/）掲載の諸票（平成21年2月25日一部改正）を用いました。

福祉サービスの第三者評価は福祉事業者が提供するサービスの質を第三者が専門的・客観的な立場から評価しその結果を公表することで事業者が、より質の高いサービスを提供できるよう誘導する役目を持っておりその調査項目は、障害者施設、保育所、特別養護老人ホーム等を対象としています。平成24年度は、皆楽園、中川保育園、希望の森、平成25年度は、松葉寮、宇和保育園、うわまち南保育園、平成27年度は、田之筋保育園、下宇和保育園、明間保育園、平成28年度は、児童養護施設ひまわりの家、三楽園、うわまち東保育園、平成29年度は、希望の森、児童心理治療施設ひまわりの家、あけはま荘、中川保育園、平成30年は、松葉寮、ケアハウスれんげ、ケアハウスはまゆうが　愛媛県の福祉サービス第三者評価（https://www.pref.ehime.jp/h20100/fukushi-hyouka/hyoukakekka.html）を受けました。

利用者本人聞き取り調査は保育園児を除き、各施設が可能な範囲で実施しました。なお、自己評価は正職員だけでなくパート職員にも依頼し回答して頂きました。

調査にあたり法人全体として統一したこと

◎利用者・家族アンケート依頼者
利用者30人以上の施設においては無作為に抽出した30人の家族
利用者が30名未満の施設は利用者全員の家族

◎アンケート依頼方法と発送日
平成30年9月　（保育園やデイサービスについては手渡しによって依頼）
◎回収方法
法人本部宛名記入の封筒を同封し、無記名にて投函依頼
回収率を上げるために、保育園では投函と併用して各保育所に回収箱を設置する。
◎集計
各施設で集計し委員会で整理する

第1節　利用者ご家族アンケート回収率

施設名	依頼総数	回収	回収率	前回回収率	前々回回収率	前々々回回収率
法人集計	770	603	78.3%	70.9%	72.1%	72.0%
障がい者施設	174	134	77.0%	59.8%	83.1%	80.0%
松葉学園　施設入所	25	20	80.0%	66.7%	73.3%	
生活介護	25	20	80.0%	70.0%		
就労継続支援B型事業所　いっとき館	26	15	57.7%	30.0%		
グループホーム　夢の家	30	21	70.0%	53.3%		
障がい児通所支援事業　ぽのぽの	30	30	100.0%	50.0%		
希望の森　施設入所	30	24	80.0%	90.0%	93.1%	
生活介護	8	4	50.0%	55.6%		
乳幼児施設	135	117	86.7%	80.1%	80.2%	77.9%
うわまち南保育園　※1	0	0	－	93.3%	63.3%	
うわまち東保育園　※2	0	0	－	83.3%	100.0%	
中川保育園	30	27	90.0%	60.0%	76.7%	
田之筋保育園	30	27	90.0%	79.2%	75.0%	
下宇和保育園	30	28	93.3%	80.0%	92.9%	
明間保育園	15	13	86.7%	76.5%	86.7%	
宇和保育園	30	22	73.3%	86.7%	70.0%	
高齢者入所・短期入所施設	171	139	81.3%	70.5%	68.5%	68.8%
特別養護老人ホーム松葉寮	30	26	86.7%	86.7%	73.3%	
短期入所施設松葉寮	30	30	100.0%	46.7%	66.7%	
特別養護老人ホーム皆楽園	30	29	96.7%	90.0%	76.7%	
短期入所施設皆楽園	30	15	50.0%	53.3%	63.3%	
特別養護老人ホームあけはま荘	30	28	93.3%	80.0%	60.0%	
短期入所施設あけはま荘	21	11	52.4%	65.2%	73.3%	
高齢者通所・地域密着型施設	234	176	75.2%	69.8%	64.8%	64.4%
福祉の里デイサービスセンター	30	21	70.0%	76.7%	66.7%	
游の里デイサービスセンター	30	27	90.0%	73.3%	76.7%	
明浜デイサービスセンター	30	14	46.7%	66.7%	60.0%	
皆楽園デイサービスセンター	30	25	83.3%	63.3%		
グループホームうつのみやさんの家	9	7	77.8%	77.8%	66.7%	
あんしん家	30	20	66.7%	56.7%	56.7%	
石城あんしんの家れんげ	15	9	60.0%	53.3%	46.7%	
多田あんしんの家　※3	0	0	－	82.4%	84.4%	
ななほし中川	30	23	76.7%	80.8%		
リハビリ専門デイサービス　歩	30	30	100.0%	80.0%		
軽費老人ホーム	56	37	66.1%	82.2%		
ケアハウスれんげ	27	22	81.5%	65.0%		
ケアハウスはまゆう	29	15	51.7%	96.0%		
前回法人合計	901	639	70.9%			

※1 ～　※3　事業廃止または変更により実施していません。

第3章　第1節　1　障害者支援施設調査集計結果

問1　施設の基本理念や基本方針について

	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	全く知らない	無回答
あなたは施設の基本理念や基本方針をご存知ですか（○は1つだけ）	20.5%	54.5%	4.5%	20.5%	0.0%	0.0%
前回結果	21.3%	36.2%	21.3%	12.8%	0.0%	8.5%
単位：人	9	24	2	9	0	0

	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	全く知らない	無回答
付問1　1、2と答えた方へ　その目標方針に賛同できますか	75.8%	21.2%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%
単位：人	25	7	1	0	0	0

問2　入所したときの状況について

	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答
施設に関する情報提供については	54.5%	29.5%	4.5%	0.0%	4.5%	6.8%
前回結果	46.8%	38.3%	4.3%	0.0%	0.0%	10.6%
単位：人	24	13	2	0	2	3
施設の理念や方針に関する説明には	56.8%	25.0%	4.5%	0.0%	6.8%	6.8%
単位：人	25	11	2	0	3	3
サービスの内容に関する説明には	59.1%	25.0%	2.3%	0.0%	6.8%	6.8%
前回結果	48.9%	36.2%	4.3%	0.0%	0.0%	10.6%
単位：人	26	11	1	0	3	3
費用や契約に関する説明には	54.5%	27.3%	6.8%	0.0%	4.5%	6.8%
単位：人	24	12	3	0	2	3
家族から本人に利用の理由を説明するうえでの支援には	50.0%	29.5%	2.3%	0.0%	11.4%	6.8%
単位：人	22	13	1	0	5	3

問3　支援の計画について

	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答
施設支援計画（個別支援計画）に関する説明には	56.8%	29.5%	0.0%	0.0%	2.3%	11.4%
単位：人	25	13	0	0	1	5
の、本人や家族からの意向・要望などの聞き取りには	52.3%	34.1%	0.0%	0.0%	4.5%	9.1%
単位：人	23	15	0	0	2	4
地域生活への移行や親元を離れて自立して生活をするための学習や体験の機会については	52.3%	18.2%	2.3%	0.0%	15.9%	11.4%
単位：人	23	8	1	0	7	5

問4　日常のサービス内容について

	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答
障害に応じた日中活動プログラムの実施については	54.5%	27.3%	4.5%	0.0%	6.8%	6.8%
単位：人	24	12	2	0	3	3
ご本人の体調についての日常的な配慮には	68.2%	18.2%	2.3%	0.0%	4.5%	6.8%
前回結果	55.3%	27.8%	2.1%	2.1%	2.1%	10.6%
単位：人	30	8	1	0	2	3
ご本人が病気やケガなどの時の対応については	70.5%	18.2%	2.3%	0.0%	2.3%	6.8%
単位：人	31	8	1	0	1	3
ご本人の意思を十分にくみ取っているかどうかについては	61.4%	15.9%	4.5%	0.0%	11.4%	6.8%
前回結果	44.7%	27.7%	4.3%	0.0%	14.9%	8.5%
単位：人	27	7	2	0	5	3

問5　施設の安全対策について

	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答
事故防止のための取り組みについては	54.5%	25.0%	6.8%	0.0%	13.6%	0.0%
前回結果	38.3%	29.8%	8.5%	2.1%	10.6%	10.6%
単位：人	24	11	3	0	6	0
衛生管理や感染症対策については	56.8%	29.5%	4.5%	0.0%	9.1%	0.0%
前回結果	46..8%	23.4%	6.4%	4.3%	6.4%	12.8%
単位：人	25	13	2	0	4	0

問6　施設と家族との連携・家族間の交流について

	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答
施設の理念や方針に関するご家族への説明については	47.7%	27.3%	6.8%	0.0%	6.8%	11.4%
単位：人	21	12	3	0	3	5
施設の様子や行事に関するご家族への情報提供については	63.6%	27.3%	2.3%	0.0%	4.5%	2.3%
前回結果	57.4%	25.5%	6.4%	0.0%	2.1%	8.5%
単位：人	28	12	1	0	2	1
ご本人の様子に関する説明や情報提供については	65.9%	27.3%	4.5%	0.0%	0.0%	2.3%
前回結果	51.1%	31.9%	2.1%	4.3%	2.1%	8.5%
単位：人	29	12	2	0	0	1
行事の開催日や時間帯について、ご家族が参加しやすいような配慮については	61.4%	29.5%	2.3%	0.0%	6.8%	0.0%
前回結果	53.2%	27.7%	6.4%	0.0%	4.3%	8.5%
単位：人	27	13	1	0	3	0

問7　職員の対応について

	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答
一人ひとりの利用者の尊重については	68.2%	27.3%	2.3%	0.0%	2.3%	0.0%
前回結果	46.8%	34.0%	2.1%	2.1%	6.4%	8.5%
単位：人	30	12	1	0	1	0
不満や要望を聞く体制については（気軽に言うことができるかなど）	65.9%	31.8%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%
前回結果	55.3%	21.3%	8.5%	0.0%	4.3%	10.6%
単位：人	29	14	0	0	1	0
不満や要望への対応については	63.6%	18.2%	4.5%	0.0%	13.6%	0.0%
前回結果	749.4%	31.9%	10.6%	4.3%	4.3%	8.5%
単位：人	28	8	2	0	6	0
職員のサービス提供方法の統一性については	59.1%	22.7%	4.5%	0.0%	13.6%	0.0%
前回結果	40.4%	31.9%	10.6%	4.3%	4.3%	8.5%
単位：人	26	10	2	0	6	0
総合的にみて、職員の対応についての満足度は	68.2%	27.3%	2.3%	0.0%	2.3%	0.0%
前回結果	46.8%	34.0%	6.4%	2.1%	0.0%	10.6%
単位：人	30	12	1	0	1	0

問8　施設を総合的に評価するとどの程度満足していますか

	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答
総合満足度は	65.9%	29.5%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%
前回結果	51.1%	34.0%	2.1%	2.1%	0.0%	10.6%
単位：人	29	13	0	0	2	0

前回マイナス評価2パーセント以上(複数人数)の項目	今回＝A	前回＝B	削減率
問1　施設の基本理念や基本方針について			
あなたは施設の基本理念や基本方針をご存知ですか	20.5%	12.8%	−60.2%
問2　入所したときの状況について			
施設に関する情報提供については	4.5%	4.3%	−4.7%
サービスの内容に関する説明には	2.3%	4.3%	46.5%
問4　日常のサービス内容について			
ご本人の体調についての日常的な配慮には	2.3%	4.2%	45.2%
ご本人の意思を十分にくみ取っているかどうかについては	4.5%	4.3%	−4.7%
問5　施設の安全対策について			
事故防止のための取り組みについては	6.8%	10.6%	35.8%
衛生管理や感染症対策については	4.5%	10.7%	57.9%
問6　施設と家族との連携・家族間の交流について			
施設の様子や行事に関するご家族への情報提供については	2.3%	6.4%	64.1%
ご本人の様子に関する説明や情報提供については	4.5%	6.4%	29.7%
行事の開催日や時間帯について、ご家族が参加しやすいような配慮については	2.3%	6.4%	64.1%
問7　職員の対応について			
一人ひとりの利用者の尊重については	2.3%	4.2%	45.2%
不満や要望を聞く体制については（気軽に言うことができるかなど）	0.0%	8.5%	100.0%
不満や要望への対応については	4.5%	14.9%	69.8%
職員のサービス提供方法の統一性については	4.5%	14.9%	69.8%
総合的にみて、職員の対応についての満足度は	2.3%	8.5%	72.9%
問8　施設を総合的に評価するとどの程度満足していますか			
総合満足度は	0.0%	4.2%	100.0%
削減率＝1−（A/B）			45.7%

利用者ご家族アンケート調査（障害者支援施設）松葉学園・希望の森施設入所

〈70%削減を達成できなかった項目〉

問１　施設の基本理念や基本方針について
施設の基本理念や基本方針について、前回、「全く知らない」「あまり知らない」が、今回 20.5%（前回 12.8%）と改善されていません。現在、契約時、家族会総会等で説明や周知を行っていますが、今後は、広報誌やホームページも活用して基本理念や基本方針を伝えていきます。

問２　入所したときの状況について
施設に関する情報提供については、4.5%と前回と同様な結果となりましたが、サービスの内容に関する説明では、改善がみられています。入所時の説明を丁寧にしていくことで改善に努めていきます。

問４　日常サービスについて
本人の体調についての日常的な配慮には削減が見られますが、ご本人の意思を十分にくみ取っているかどうかは、改善はみられていません。ご本人の意思を聞き入れ日常サービスの提供に努めて参ります。

問５　施設の安全対策について
事故防止のための取組みや衛生管理や感染症対策について、リスクマネジメントシステムの導入により、職員のリスク軽減意識と対応能力の向上により前回より改善されています。今後も、継続的にリスクマネジメントシステムやマニュアルの有効性を確認し改善を行っていくことで、安心して事業所をご利用いただけるように努めていきます。

問６　施設と家族との連携・家族間の交流について
施設の様子や行事、ご本人の様子などの情報提供については、前回の結果から改善されています。今後も家族との連絡を密にして常に情報提供していきます。

〈70%削減を達成した項目〉

問７　職員の対応について
職員の対応については、前回より改善がされています。人材育成による研修会や、現場でのリーダーの指導等が改善に結びついたものと考えます。今後もより一層人材育成を行い、利用者・家族の方に満足していただけるサービスの提供をしていきます。

第3章　第1節　2 乳幼児施設調査集計結果

問1　保育園の基本理念や基本方針について	よく知っている	まあ知っている	どちらとも言えない	あまり知らない	全く知らない	無回答
あなたはこの園の保育目標・保育方針をご存知ですか（○は1つだけ）	8.5%	53.4%	16.9%	18.6%	2.5%	0.0%
前回結果	6.5%	41.2%	13.1%	14.4%	2.0%	0.0%
	共感できる	まあ共感できる	どちらともいえない	あまり共感できない	その他	無回答
付問1　その目標方針に賛同できますか	47.5%	14.4%	0.0%	0.0%	0.0%	38.1%
単位：人	56	17	0	0	0	45
問2　入園するとき	満足	どちらかというと満足	どちらかというと不満	不満	その他	空白
見学の受け入れについては	55.1%	34.7%	1.7%	0.0%	8.5%	0.0%
単位：人	65	41	2	0	10	0
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	49.2%	41.5%	4.2%	0.0%	5.1%	0.0%
単位：人	58	49	5	0	6	0
園の目標や方針についての説明には	50.0%	41.5%	2.5%	0.0%	5.9%	0.0%
単位：人	59	49	3	0	7	0
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	64.4%	33.9%	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%
単位：人	76	40	0	0	2	0
保育園での1日の過ごし方についての説明には	55.9%	40.7%	1.7%	0.0%	1.7%	0.0%
単位：人	66	48	2	0	2	0
費用やきまりに関する説明については（入園後に食い違いがなかったかを含めて）	58.5%	36.4%	2.5%	0.0%	2.5%	0.0%
単位：人	69	43	3	0	3	0
問3　保育や行事の年間計画について	満足	どちらかというと満足	どちらかというと不満	不満	その他	空白
年間の保育や行事のについての説明には	50.8%	43.2%	4.2%	0.8%	0.8%	0.0%
単位：人	60	51	5	1	1	0
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	50.0%	43.2%	4.2%	0.8%	1.7%	0.0%
単位：人	59	51	5	1	2	0
問4　日常の保育内容について	満足	どちらかというと満足	どちらかというと不満	不満	その他	空白
クラスの活動や遊びについては（お子さんが満足しているかなど）	66.1%	30.5%	2.5%	0.8%	0.0%	0.0%
単位：人	78	36	3	1	0	0
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	67.8%	30.5%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%
単位：人	80	36	2	0	0	0
園のおもちゃや教材については（お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど）	55.1%	34.7%	2.5%	1.7%	5.9%	0.0%
単位：人	65	41	3	2	7	0
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	73.7%	23.7%	0.8%	0.0%	1.7%	0.0%
単位：人	87	28	1	0	2	0
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては	61.9%	33.9%	2.5%	0.0%	1.7%	0.0%
単位：人	73	40	3	0	2	0

遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	57.6%	35.6%	2.5%	0.0%	4.2%	0.0%
単位：人	68	42	3	0	5	0
給食の献立内容については	79.7%	20.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
単位：人	94	24	0	0	0	0
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	65.3%	33.9%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%
単位：人	77	40	0	0	1	0
基本的生活習慣（衣服の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては	58.5%	38.1%	1.7%	0.8%	0.8%	0.0%
単位：人	69	45	2	1	1	0
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	66.1%	30.5%	0.8%	0.0%	2.5%	0.0%
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	55.9%	37.3%	1.7%	0.8%	4.2%	0.0%
単位：人	66	44	2	1	5	0
お子さんの体調への気配りについては	67.8%	23.7%	5.1%	1.7%	1.7%	0.0%
単位：人	80	28	6	2	2	0
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	61.0%	27.1%	5.1%	3.4%	3.4%	0.0%
前回結果	56.2%	32.7%	6.5%	2.6%	2.0%	0.0%
単位：人	72	32	6	4	4	0
問5　園の快適さや安全対策について	満足	どちらかというと満足	どちらかというと不満	不満	その他	空白
施設設備については	34.7%	45.8%	9.3%	2.5%	7.6%	0.0%
前回結果	45.1%	43.1%	7.8%	2.0%	2.0%	0.0%
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	48.3%	37.3%	7.6%	0.8%	5.9%	0.0%
単位：人	57	44	9	1	7	0
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	30.5%	39.0%	16.9%	5.9%	7.6%	0.0%
前回結果	29.4%	47.7%	15.0%	1.3%	5.9%	0.7%
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	50.0%	36.4%	8.5%	2.5%	2.5%	0.0%
前回結果	52.3%	37.9%	6.5%	2.6%	0.7%	0.0%
問6　園と保護者との連携・交流について	満足	どちらかというと満足	どちらかというと不満	不満	その他	空白
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	45.8%	44.9%	4.2%	0.8%	4.2%	0.0%
単位：人	54	53	5	1	5	0
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	47.5%	41.5%	5.9%	0.8%	4.2%	0.0%
単位：人	56	49	7	1	5	0
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	51.7%	39.0%	5.1%	0.0%	4.2%	0.0%
単位：人	61	46	6	0	5	0
送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については	51.7%	35.6%	6.8%	1.7%	4.2%	0.0%
前回結果	52.3%	37.9%	7.8%	2.0%	0.0%	0.0%
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	54.2%	39.0%	1.7%	2.5%	2.5%	0.0%
単位：人	64	46	2	3	3	0
保護者からの相談事への対応には	57.6%	37.3%	1.7%	1.7%	1.7%	0.0%
単位：人	68	44	2	2	2	0
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については	55.1%	28.8%	6.8%	0.0%	9.3%	0.0%
単位：人	65	34	8	0	11	0
問7　職員の対応について	満足	どちらかというと満足	どちらかというと不満	不満	その他	空白
あなたのお子さんが大切にされているかについては	67.8%	29.7%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%
単位：人	80	35	3	0	0	0
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	72.9%	23.7%	2.5%	0.8%	0.0%	0.0%

単位：人	86	28	3	1	0	0
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	55.9%	30.5%	0.8%	0.8%	11.9%	0.0%
単位：人	66	36	1	1	14	0
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	70.3%	26.3%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%
単位：人	83	31	4	0	0	0
意見や要望への対応については	58.5%	34.7%	4.2%	0.8%	1.7%	0.0%
単位：人	69	41	5	1	2	0
問8　総合満足度は	満足	どちらかというと満足	どちらかというと不満	不満	その他	空白
保育園を総合的に評価するとどの程度満足していますか	63.6%	33.9%	1.7%	0.8%	0.0%	0.0%
単位：人	75	40	2	1	0	0
問9　施設への要望などあれば、自由にお書きください						
自由意見						

乳幼児施設、マイナス評価表

前回マイナス評価9.0%以上の項目	今回＝A	前回＝B	削減率
問1　保育園の基本理念や基本方針について			
あなたはこの園の保育目標・保育方針をご存知ですか	21.1%	16.3%	−29.4%
問4　日常の保育内容について			
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	8.5%	9.1%	6.6%
問5　園の快適さや安全対策について			
施設設備については	11.9%	9.8%	−21.0%
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	22.9%	16.3%	−40.0%
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	11.0%	9.1%	−20.9%
問6　園と保護者との連携・交流について			
送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については	8.5%	9.8%	13.3%
削減率＝1−（A/B）			

利用者ご家族アンケート調査（乳幼児施設）

☆保護者アンケート結果から

乳幼児施設、マイナス評価表

前回マイナス評価 9.0%以上の項目	今回＝A	前回＝B	削減率
問１　保育園の基本理念や基本方針について			
あなたはこの園の保育目標・保育方針をご存知ですか	21.1%	16.3%	-29.4%
問４　日常の保育内容について			
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	8.5%	9.1%	6.6%
問５　園の快適さや安全対策について			
施設設備については	11.9%	9.8%	-21.0%
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	22.9%	16.3%	-40.0%
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	11.0%	9.1%	-20.9%
問６　園と保護者との連携・交流について			
送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については	8.5%	9.8%	13.3%
削減率＝1-（A/B）			

保護者アンケートで不満、どちらかというと不満の合計が 9%以上の項目について

問１　施設の基本理念や基本方針について（まったく知らない、あまり知らないの合計）

前回 16.3%、今回 21.1%で知らない方が増えている状況です。中期計画時の検証で改善が見られたことで安心してしまい働きかけが減ったのではないかと思われます。今後は気を緩めず色々な場面や方法を使い、保護者の方や地域への周知を図ってまいります。

問４　日常の保育について

保育中のケガへの対応が、前回 9.1%、今回 8.5%で 6.6%の削減で、前回に比べて少し削減できています。子どものケガの対応については、適切できめ細かな対応を行い、保護者の方の安心・信頼につながるよう努めてまいります。

問５　園の快適さや安全対策について

施設設備については、9.8%から 11.9%と削減できていません。施設の老朽化が大きな原因と思われます。耐震補強や老朽化の補修等を進め、少しでも保護者の方に安心していただけるよう努めていきます。不審者侵入の対策については、訓練など実施していますが、社会情勢を見られこのような結果になったのではないかと考えます。訓練等の不審者対策、通報装置の設置等をお知らせし、ご理解を得ていきたいと考えています。感染症については、メール等活用し情報をより速く適切に提供できるよう工夫してまいります。

問６　園と保護者の連携･交流について

送り迎えの際の情報交換については、前回と同じような結果となっています。送迎時対応する保育士によって差が出ないよう子どもさんの様子をひと言でもお伝えできるよう指導してまいります。

問1　施設の基本理念や基本方針について

	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	全く知らない	無回答
あなたは施設の基本理念や基本方針をご存知ですか	12.0%	49.4%	14.5%	16.9%	7.2%	0.0%
前回結果	6.5%	58.4%	5.2%	22.1%	2.6%	5.2%
単位：人	10	41	12	14	6	0
	共感できる	どちらともいえない	あまり共感できない	まあ共感できる	共感できない	無回答
付問1　その理念、方針に賛同できますか	72.5%	25.5%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%
単位：人	37	13	0	0	0	1

問2　入所するとき

	満足	どちらかというと満足	どちらかというと不満	不満	その他	無回答
施設に関する情報の得やすさについては	48.2%	44.6%	4.8%	0.0%	2.4%	0.0%
単位：人	40	37	4	0	2	0
具体的なサービスの内容や費用に関する説明については	49.4%	44.6%	2.4%	0.0%	3.6%	0.0%
単位：人	41	37	2	0	3	0

問3　ご本人へのサービス提供に関すること

	満足	どちらかというと満足	どちらかというと不満	不満	その他	無回答
個別ケア計画の説明については	60.2%	32.5%	6.0%	0.0%	1.2%	0.0%
単位：人	50	27	5	0	1	0
個別ケア計画へのご本人やご家族の意向・要望の反映については	48.2%	45.8%	3.6%	0.0%	1.2%	1.2%
前回結果	57.1%	33.8%	5.2%	0.0%	2.6%	1.3%
単位：人	40	38	3	0	1	1

問4　日常のサービス内容について

	満足	どちらかというと満足	どちらかというと不満	不満	その他	無回答
食事については（内容や介助の対応など総合的に）	49.4%	42.2%	0.0%	0.0%	3.6%	4.8%
単位：人	41	35	0	0	3	4
入浴については（頻度や介助の対応など総合的に）	44.6%	43.4%	0.0%	0.0%	7.2%	4.8%
単位：人	37	36	0	0	6	4
トイレやおむつの介助の対応には	50.6%	36.1%	2.4%	0.0%	6.0%	4.8%
単位：人	42	30	2	0	5	4
自由時間の活動については（ご本人の希望に添った活動など）	44.6%	38.6%	1.2%	0.0%	8.4%	7.2%
単位：人	37	32	1	0	7	6
預かり金の管理方法や出納状況の説明については	53.0%	31.3%	4.8%	0.0%	3.6%	7.2%
単位：人	44	26	4	0	3	6
リハビリや機能回復のための取組みについては	44.6%	33.7%	9.6%	0.0%	6.0%	6.0%
単位：人	37	28	8	0	5	5
じょくそう予防や寝たきり防止のための取組みについては	48.2%	34.9%	4.8%	0.0%	4.8%	7.2%
単位：人	40	29	4	0	4	6

ご本人の体調への日常的な配慮については	56.6%	34.9%	2.4%	0.0%	0.0%	6.0%
単位：人	47	29	2	0	0	5
ご本人が病気や怪我などの時の対応については	59.0%	28.9%	3.6%	1.2%	0.0%	7.2%
単位：人	49	24	3	1	0	6

問5　施設の快適さや安全対策について

	満足	どちらかというと満足	どちらかというと不満	不満	その他	無回答
施設の快適さについては（清潔さ、適切な温度や明るさなど）	50.6%	34.9%	4.8%	0.0%	4.8%	4.8%
前回結果	57.1%	19.5%	6.5%	0.0%	2.6%	14.3%
単位：人	42	29	4	0	4	4
施設の構造や設備の安全性については	47.0%	41.0%	3.6%	0.0%	2.4%	6.0%
前回結果	50.6%	28.6%	5.2%	0.0%	1.3%	14.3%
単位：人	39	34	3	0	2	5

問6　施設と家族との連携・交流について

	満足	どちらかというと満足	どちらかというと不満	不満	その他	無回答
ご本人の様子に関する説明や情報提供については	54.2%	37.3%	6.0%	0.0%	2.4%	0.0%
前回結果	63.6%	28.6%	3.9%	1.3%	2.6%	0.0%
単位：人	45	31	5	0	2	0
施設行事などの開催日や時間帯への配慮については	57.8%	36.1%	2.4%	0.0%	3.6%	0.0%
単位：人	48	30	2	0	3	0

問7　職員の対応について

	満足	どちらかというと満足	どちらかというと不満	不満	その他	無回答
ご本人のプライバシーへの配慮については	60.2%	32.5%	2.4%	0.0%	2.4%	2.4%
前回結果	61.0%	27.3%	3.9%	1.3%	1.3%	5.2%
単位：人	50	27	2	0	2	2
一人ひとりの利用者の尊重については	50.6%	41.0%	4.8%	0.0%	1.2%	2.4%
単位：人	42	34	4	0	1	2
職員の対応については（優しく丁寧な対応など）	62.7%	33.7%	2.4%	0.0%	1.2%	0.0%
単位：人	52	28	2	0	1	0
職員のサービス提供方法の統一性については（どの職員も同じレベルのサービスを提供してくれるかなど）	55.4%	32.5%	8.4%	0.0%	2.4%	1.2%
前回結果	48.1%	36.4%	5.2%	1.3%	6.5%	2.6%
単位：人	46	27	7	0	2	1
不満や要望を聞く体制と対応については（気軽に言うことができるか、しっかりと対応してくれるかなど）	50.6%	39.8%	3.6%	1.2%	3.6%	1.2%
前回結果	57.1%	32.5%	5.2%	2.6%	2.6%	0.0%
単位：人	42	33	3	1	3	1

問8　総合満足度は

	満足	どちらかというと満足	どちらかというと不満	不満	その他	無回答
施設を総合的に評価するとどの程度満足していますか	59.0%	38.6%	1.2%	0.0%	0.0%	1.2%
単位：人	49	32	1	0	0	1

特別養護老人ホーム家族アンケート検証 ： 松葉寮　皆楽園　あけはま荘

問1は「全く知らない」「あまり知らない」と答えた人の割合の合計です。
問2からは「不満」「どちらかというと不満」と答えた人の割合の合計です。
目標はそれぞれのマイナス評価を70%削減することです。

前回マイナス評価　4.8%以上の項目	今回＝A	前回＝B	削減率
問1　施設の基本理念や基本方針について			
あなたは施設の基本理念や基本方針をご存知ですか	24.1%	24.7%	2.4%
問3　ご本人へのサービス提供に関すること			
個別ケア計画へのご本人やご家族の意向・要望の反映については	3.6%	5.2%	30.8%
問5　施設の快適さや安全対策について			
施設の快適さについては（清潔さ、適切な温度や明るさなど）	4.8%	6.5%	26.2%
施設の構造や設備の安全性については	3.6%	5.2%	30.8%
問6　施設と家族との連携・交流について			
ご本人の様子に関する説明や情報提供については	6.0%	5.2%	−15.4%
問7　職員の対応について			
ご本人のプライバシーへの配慮については	2.4%	5.2%	53.8%
職員のサービス提供方法の統一性については （どの職員も同じレベルのサービスを提供してくれるかなど）	8.4%	6.5%	−29.2%
不満や要望を聞く体制と対応については （気軽に言うことができるか、しっかりと対応してくれるかなど）	4.8%	7.8%	38.5%
削減率＝1−(A/B)			17.2%

家族アンケート　特養3施設集計

目標はマイナス評価を前回比70%削減でしたが、削減率は17,2%と大幅に下回りました。

特に削減されていない、逆に増加している項目は、「ご本人の様子に関する説明や情報提供について」及び職員のサービス提供方法の統一性については（どの職員も同じレベルのサービスを提供してくれるかなど）の2項目でした。ご本人へのサービスやご家族へのサービスが低下していると受け止められます。職員研修等を行い、サービスの質の向上に努めて参ります。

また、問1の施設の基本理念や基本方針については、知らない方が24%に上っており、また削減も見られていません。日頃からのご本人、ご家族への情報発信が不十分であると感じます。ホームページや刊行物を利用し、知っていただくよう努めて参ります。

第3章第1節　3高齢者施設調査集計結果（2）デイサービスセンター　ショート　グループホーム　あんしんの家

問1　施設の基本理念や基本方針について

	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	全く知らない	無回答
あなたは施設の基本理念や基本方針をご存知ですか	15.3%	37.5%	12.5%	24.4%	5.7%	4.5%
前回結果	9.2%	38.2%	15.4%	27.6%	7.0%	2.6%
単位：人	27	66	22	43	10	8
	共感できる	どちらともいえない	あまり共感できない	まあ共感できる	共感できない	無回答
付問1　その理念、方針に賛同できますか	59.1%	38.7%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%
単位：人	55	36	0	0	0	2

問2　入所するとき

	満足	どちらかというと満足	どちらかというと不満	不満	その他	無回答
施設に関する情報の得やすさについては	43.8%	44.9%	5.7%	0.6%	1.7%	3.4%
単位：人	77	79	10	1	3	6
具体的なサービスの内容や費用に関する説明については	48.3%	42.6%	4.0%	0.6%	1.1%	3.4%
単位：人	85	75	7	1	2	6

問3　ご本人へのサービス提供に関すること

	満足	どちらかというと満足	どちらかというと不満	不満	その他	無回答
個別ケア計画の説明については	57.4%	36.4%	2.8%	0.6%	1.7%	1.1%
単位：人	101	64	5	1	3	2
個別ケア計画へのご本人やご家族の意向・要望の反映については	60.2%	31.3%	1.7%	1.1%	1.7%	4.0%
単位：人	106	55	3	2	3	7

問4　日常のサービス内容について

	満足	どちらかというと満足	どちらかというと不満	不満	その他	無回答
食事については（内容や介助の対応など総合的に）	68.2%	26.7%	1.7%	0.6%	1.7%	1.1%
単位：人	67	47	4	3	6	49
入浴については（頻度や介助の対応など総合的に）	43.8%	22.7%	2.3%	0.0%	3.4%	27.8%
単位：人	77	40	4	0	6	49
トイレやおむつの介助の対応には	40.3%	21.0%	0.6%	0.0%	9.1%	29.0%
単位：人	71	37	1	0	16	51
自由時間の活動については（ご本人の希望に添った活動など）	68.2%	26.7%	1.7%	0.6%	1.7%	1.1%
単位：人	74	62	5	3	9	23
リハビリや機能回復のための取組みについては	68.2%	26.7%	1.7%	0.6%	1.7%	1.1%
単位：人	73	51	15	1	11	25

ご本人の体調への日常的な配慮については	61.4%	26.1%	0.6%	0.0%	1.7%	10.2%
単位：人	108	46	1	0	3	18
ご本人が病気や怪我などの時の対応については	55.7%	23.9%	0.6%	0.0%	8.5%	11.4%
単位：人	98	42	1	0	15	20

問5　施設の快適さや安全対策について

	満足	どちらかというと満足	どちらかというと不満	不満	その他	無回答
施設の快適さについては（清潔さ、適切な温度や明るさなど）	50.0%	31.3%	1.1%	0.6%	5.7%	11.4%
単位：人	88	55	2	1	10	20
施設の構造や設備の安全性については	47.2%	28.4%	4.5%	0.0%	8.5%	11.4%
単位：人	83	50	8	0	15	20

問6　施設と家族との連携・交流について

	満足	どちらかというと満足	どちらかというと不満	不満	その他	無回答
ご本人の様子に関する説明や情報提供については	59.7%	31.8%	2.8%	0.6%	2.8%	2.3%
単位：人	105	56	5	1	5	4

問7　職員の対応について

	満足	どちらかというと満足	どちらかというと不満	不満	その他	無回答
ご本人のプライバシーへの配慮については	61.9%	33.0%	1.1%	0.0%	1.1%	2.8%
単位：人	109	58	2	0	2	5
一人ひとりの利用者の尊重については	64.8%	30.1%	2.3%	0.0%	1.1%	1.7%
単位：人	114	53	4	0	2	3
職員の対応については（優しく丁寧な対応など）	80.1%	17.0%	0.6%	0.0%	1.1%	1.1%
単位：人	141	30	1	0	2	2
職員のサービス提供方法の統一性については（どの職員も同じレベルのサービスを提供してくれるかなど）	68.2%	26.7%	1.7%	0.6%	1.7%	1.1%
単位：人	105	60	3	1	3	4
不満や要望を聞く体制と対応については（気軽に言うことができるか、しっかりと対応してくれるかなど）	68.2%	26.7%	1.7%	0.6%	1.7%	1.1%
単位：人	120	47	3	1	3	2

問8　総合満足度は

	満足	どちらかというと満足	どちらかというと不満	不満	その他	無回答
施設を総合的に評価するとどの程度満足していますか	63.1%	33.0%	1.7%	0.6%	0.6%	1.1%
単位：人	111	58	3	1	1	2

高齢者施設家族アンケート検証:　　デイサービス・ショート・グループホーム・あんしんの家

問1は「全く知らない」「あまり知らない」と答えた人の割合の合計です。
問2からは「不満」「どちらかというと不満」と答えた人の割合の合計です。
目標はそれぞれのマイナス評価を70%削減することです。

前回マイナス評価　5.1%以上の項目	今回＝A	前回＝B	削減率
問1　施設の基本理念や基本方針について			
あなたは施設の基本理念や基本方針をご存知ですか	30.1%	34.6%	13.0%

家族アンケート　ﾃﾞｲ･ショート･あんしんの家　集計

前回マイナス評価　5.1%以上の項目は、問1の「あなたは施設の基本理念や基本方針をご存知ですか」の1項目のみでした。多少の削減はみられますが、3割の方に知られていない現状は、法人としてのアピールが不足しているものと思います。いろんな場面を通じてご家族、ご本人にお知らせしていくよう努めてまいり総合満足度は前回の94.3%から96.1%へと満足しているご家族が増えたことは喜ばしいことです。今後は1になるよう、情報発信、サービスの質の向上に向け取り組んでいます。

第3章　第1節　3　高齢者施設調査集計結果　(3)ケアハウスれんげ・はまゆう

問1　施設の基本理念や基本方針について

	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	全く知らない	無回答
あなたは施設の基本理念や基本方針をご存知ですか	13.5%	43.2%	16.2%	16.2%	8.1%	2.7%
前回結果	5.4%	62.2%	2.7%	18.9%	5.4%	5.4%
単位：人	5	16	6	6	3	1

	共感できる	どちらともいえない	あまり共感できない	まあ共感できる	共感できない	無回答
付問1　その理念、方針に賛同できますか	85.7%	9.5%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%
単位：人	18	2	1	0	0	0

問2　入所するとき

	満足	どちらかというと満足	どちらかというと不満	不満	その他	無回答
施設に関する情報の得やすさについては	37.8%	43.2%	8.1%	2.7%	5.4%	2.7%
前回結果	40.5%	51.4%	5.4%	0.0%	2.7%	0.0%
単位：人	14	16	3	1	2	1
具体的なサービスの内容や費用に関する説明については	45.9%	40.5%	2.7%	2.7%	0.0%	8.1%
前回結果	48.6%	40.5%	8.1%	0.0%	2.7%	0.0%
単位：人	17	15	1	1	0	3

問3　ご本人へのサービス提供に関すること

	満足	どちらかというと満足	どちらかというと不満	不満	その他	無回答
個別ケア計画の説明については	32.4%	45.9%	2.7%	0.0%	10.8%	8.1%
前回結果	37.8%	45.9%	8.1%	0.0%	8.1%	0.0%
単位：人	12	17	1	0	4	3
個別ケア計画へのご本人やご家族の意向・要望の反映については	37.8%	37.8%	0.0%	2.7%	10.8%	10.8%
前回結果	43.2%	37.8%	8.1%	0.0%	8.1%	2.7%
単位：人	14	14	0	1	4	4

問4　日常のサービス内容について

	満足	どちらかというと満足	どちらかというと不満	不満	その他	無回答
食事については （内容や介助の対応など総合的に）	37.8%	29.7%	8.1%	2.7%	2.7%	18.9%
前回結果	43.2%	29.7%	8.1%	0.0%	5.4%	13.5%
単位：人	14	11	3	1	1	7
入浴については （頻度や介助の対応など総合的に）	45.9%	27.0%	2.7%	0.0%	5.4%	18.9%
単位：人	17	10	1	0	2	7
トイレやおむつの介助の対応には	37.8%	24.3%	2.7%	0.0%	8.1%	27.0%
単位：人	14	9	1	0	3	10

自由時間の活動については （ご本人の希望に添った活動など）	37.8%	29.7%	5.4%	0.0%	5.4%	21.6%
単位：人	14	11	2	0	2	8
預かり金の管理方法や出納状況の説明については	29.7%	37.8%	0.0%	0.0%	10.8%	21.6%
単位：人	11	14	0	0	4	8
リハビリや機能回復のための取組みについては	21.6%	32.4%	8.1%	0.0%	13.5%	24.3%
前回結果	32.4%	35.1%	5.4%	0.0%	8.1%	18.9%
単位：人	8	12	3	0	5	9
じょくそう予防や寝たきり防止のための取組みについては	27.0%	35.1%	0.0%	0.0%	8.1%	29.7%
単位：人	10	13	0	0	3	11
ご本人の体調への日常的な配慮については	43.2%	29.7%	2.7%	0.0%	8.1%	16.2%
単位：人	16	11	1	0	3	6
ご本人が病気や怪我などの時の対応については	45.9%	27.0%	2.7%	0.0%	8.1%	16.2%
単位：人	17	10	1	0	3	6

問5　施設の快適さや安全対策について

	満足	どちらかというと満足	どちらかというと不満	不満	その他	無回答
施設の快適さについては （清潔さ、適切な温度や明るさなど）	43.2%	35.1%	5.4%	0.0%	0.0%	16.2%
前回結果	45.9%	29.7%	5.4%	0.0%	5.4%	13.5%
単位：人	16	13	2	0	0	6
施設の構造や設備の安全性については	43.2%	35.1%	2.7%	0.0%	2.7%	16.2%
前回結果	37.8%	37.8%	8.1%	0.0%	2.7%	13.5%
単位：人	16	13	1	0	1	6

問6　施設と家族との連携・交流について

	満足	どちらかというと満足	どちらかというと不満	不満	その他	無回答
ご本人の様子に関する説明や情報提供については	48.6%	43.2%	2.7%	0.0%	5.4%	0.0%
前回結果	48.6%	40.5%	8.1%	0.0%	2.7%	0.0%
単位：人	18	16	1	0	2	0
施設行事などの開催日や時間帯への配慮については	40.5%	48.6%	0.0%	0.0%	8.1%	2.7%
単位：人	15	18	0	0	3	1

問7　職員の対応について

	満足	どちらかというと満足	どちらかというと不満	不満	その他	無回答
ご本人のプライバシーへの配慮については	54.1%	35.1%	2.7%	0.0%	2.7%	5.4%
前回結果	54.1%	32.4%	5.4%	0.0%	5.4%	2.8%
単位：人	20	13	1	0	1	2
一人ひとりの利用者の尊重については	54.1%	40.5%	0.0%	0.0%	2.7%	2.7%
単位：人	20	15	0	0	1	1
職員の対応については （優しく丁寧な対応など）	70.3%	27.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%
前回結果	59.5%	35.1%	5.4%	0.0%	0.0%	0.0%
単位：人	26	10	0	0	0	1

職員のサービス提供方法の統一性については（どの職員も同じレベルのサービスを提供してくれるかなど）	51.4%	32.4%	5.4%	2.7%	5.4%	2.7%
単位：人	19	12	2	1	2	1
不満や要望を聞く体制と対応については（気軽に言うことができるか、しっかりと対応してくれるかなど）	51.4%	32.4%	5.4%	0.0%	5.4%	5.4%
前回結果	45.9%	43.2%	5.4%	0.0%	5.4%	0.0%
単位：人	19	12	2	0	2	2

問8　総合満足度は

	満足	どちらかというと満足	どちらかというと不満	不満	その他	無回答
施設を総合的に評価するとどの程度満足していますか	56.8%	40.5%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%
単位：人	21	15	0	0	0	1

高齢者施設家族アンケート検証：　　ケアハウスれんげ・はまゆう

問1は「全く知らない」「あまり知らない」と答えた人の割合の合計です。
問2からは「不満」「どちらかというと不満」と答えた人の割合の合計です。
目標はそれぞれのマイナス評価を70%削減することです。

前回マイナス評価　4.8%以上の項目	今回＝A	前回＝B	削減率
問1　施設の基本理念や基本方針について			
あなたは施設の基本理念や基本方針をご存知ですか	24.3%	24.3%	0.0%
問2　入所するとき			
施設に関する情報の得やすさについては	10.8%	5.4%	−100.0%
具体的なサービスの内容や費用に関する説明については	5.4%	8.1%	33.3%
問3　ご本人へのサービス提供に関すること			
個別ケア計画の説明については	2.7%	8.1%	66.7%
個別ケア計画へのご本人やご家族の意向・要望の反映については	2.7%	8.1%	66.7%
問4　日常のサービス内容について			
食事については（内容や介助の対応など総合的に）	10.8%	8.1%	−33.3%
リハビリや機能回復のための取組みについては	8.1%	5.4%	−50.0%
問5　施設の快適さや安全対策について			
施設の快適さについては（清潔さ、適切な温度や明るさなど）	5.4%	5.4%	0.0%
施設の構造や設備の安全性については	2.7%	8.1%	66.7%
問6　施設と家族との連携・交流について			
ご本人の様子に関する説明や情報提供については	2.7%	8.1%	66.7%
問7　職員の対応について			
ご本人のプライバシーへの配慮については	2.7%	5.4%	50.0%
職員の対応については（優しく丁寧な対応など）	0.0%	5.4%	100.0%
不満や要望を聞く体制と対応については（気軽に言うことができるか、しっかりと対応してくれるかなど）	5.4%	5.4%	0.0%
削減率＝1−（A/B）			20.5%

家族アンケート　ケアハウス　集計

目標はマイナス評価を前回比70%削減でしたが、削減率は上記の通り、20,5%で達成には至りませんでした。
内容を確認すると日常のサービス内容についての改善が見られていません。食事では、嗜好調査等行い満足いただけるよう努めていき、リハビリ等機能訓練は、機能訓練指導員等の意見を聞き実施していくよう努めていきます。
また、問1や2にあるように、情報提供の満足度が低く、日頃からの情報提供に問題が見受けられます。ご家族への情報発信をホームページや刊行物等で行い、情報が得やすい環境改善に取り組んでいきます。
総合満足度は前回同様97,3%であり、ほとんどの方に満足頂いています。上記のような改善取組を行い、今後もご家族、ご本人に満足いただける施設を目指して取り組んでいきます。

第3章　第2節　自由意見への回答

法人で770件(前回　901件)、御家族対象のアンケートを実施しています。回収した603件から自由意見を頂き、各施設や内容によっては各事業部で話し合い回答を行っています。御家族からのご意見については、出来る限り原文のまま記載をしています。

なお、同一趣旨と解されるものについては重複記載を避けたケースもあります。

1　障害者支援施設　ご家族自由意見への回答

(1)　希望の森

ご家族ご意見		回答
1	・高齢になり親子共々に介護を受けなければならない日も遠くないのでは…と不安を感じています。従って施設の負担も大きくなり、職員の方には特にご迷惑をおかけすることと恐縮に思っています。何よりも一日一日を元気で機嫌よく過ごして頂けることだけを望んでいます。よろしく申し上げます。	利用者の方の高齢化・重度化が進む中、安心・安全な暮らしができることはもちろんですが、「共に暮らす」「共に生きる」という、職員としての心構えを持ち続け、ハード面、ソフト面でサービスを必要とする人にとって、どういう施設であるべきかを考え取り組んでいきたいと思いますので、ご意見、ご要望等、お気軽にお申し出ください。
2	・いつも貴会の皆様には感謝しております。失礼なことに施設の理念・方針など何一つ知りもせず恥ずかしいばかりです。いづれにしても、将来的に私共々は利用者を残し、逝くわけですのであれこれ思いましても仕方のないことですが、その為にも少しの自立とコミュニティを支えてくだされば と思っています。それがどんな形かは分かりませんが、貴会のさらなる発展を心よりお祈りします。	ありがとうございます。施設の理念や方針について、施設側の発信も少なかったのではないかと反省しております。いろいろな場面で情報を発信していきたいと思います。 利用者の方への支援は、自己選択、自己決定を尊重した支援ができるようと務めてまいります。
3	・みんな高齢になり病弱になり足・腰が弱くなっていくなか、一人の対応が大変になっていくだろう…等々を心配しています。	利用者の方の高齢化・重度化が進む中、安心・安全な暮らしができることはもちろんですが、「共に暮らす」「共に生きる」という、職員としての心構えを持ち続け、ハード面、ソフト面でサービスを必要とする人にとって、どういう施設であるべきかを考え取り組んでいきたいと思いますので、ご意見、ご要望等、お気軽にお申し出ください。

4	・いつもよくしてくださり安心しております。病院にもすぐ連れて行ってくださり本当に毎日安心です。	利用者の方の体調把握に努め、必要に応じ通院を行っていきます。
5	・中々難しいかもしれませんが、本人の意思を尊重してほしいです。	利用者の方の想いを聞き、感じ取り、その思いに寄り添い、励まし、その人らしい安心のある生活を送って頂けるよう支援をしていきます。
6	・日常生活の中で周囲に迷惑がかかるような事があれば教えてほしいです。	保護者の方が、不安を持たれないように、ご本人の様子をお知らせしていくようにしていきます。
7	・今後もよろしくお願いします。 ・日頃から大変お世話になっています。現状のままで大変満足しています。 ・担当の先生には常に気を配っていただき感謝しています。 ・施設への要望の前に、これからもこういうアンケートを採って頂ければ（年に一回程度）有り難いと思います。今回は特に要望はありません。 ・連休等極力帰宅できるようにしたいと思いますので、今後ともよろしくお願いします。	ありがとうございます。こちらこそ、よろしくお願い致します。これからもお気づきの点がありましたらお申し出ください。

(2)　松葉学園

ご家族ご意見		回答
1	・近い将来避けて通れない加齢に伴い体力の衰えに加え、体調不良や認知症等で介護負担に至る状態が案じられますが、その時はそれなりの対処（特別養護老人ホーム等）をされると思いますが、どのようになるのか参考までに教えて戴ければと思っております。（私共とて共通の悩みがあります。）	松葉学園では、医療行為が必要となった場合に対応できないのが現状です。松葉学園での受入が困難となった場合には、利用者の方の様子やご家族の方の意向等により、介護認定を受け、ケアマネや介護施設等につないでいくようになります。
2	・同じ施設の保護者同士の交流の機会が、以前に比べほとんどなくなったと感じます。旅行や研修会、食事会などは参加できない人もいるので、何かの機会にちょっとしたお茶くらいのゆっくりと話せる場と時間があるといいなと思います。	保護者会総会等で保護者の方の意見や要望を聞きながら、交流の機会や時間作りを検討していければと思います。ぜひまたご意見をお聞かせください。
3	・成年後見についての要望です。我々保護者も高齢となり、保護者亡き後が心配で死にきれません。早急、後見人制度を施設で取り入れ、できる事なら入所施設の職員が後見できるようなシステム造りをお願い致します。	親亡き後のことは、皆様共通の心配であると思います。成年後見につきましては、現在、西予総合福祉会として法人後見に取り組んでいるところであります。入所施設の職員が後見できるシステムをと言っていただきありがたいことではありますが、利益相反の関係上難しい面があります。そういった問題を解消するための法人後見の取り組みでもあります。できるだけ安心していただけるようお話や情報提供ができればと思います。ぜひご相談ください。

4	・日々、本人の体調を気にして頂いてありがたく思います。帰宅する時など迎えに行くと穏やかに生活している雰囲気が感じられて離れていても安心することができます。これまで介護に携わる方々に大変お世話になってきました。松葉さんを含め介護職のかたなどに働く上での条件がもっと向上すればいいなと思っています。	利用者の方が、松葉学園での暮らしっていいな、幸せだなと感じていただけるよう今後も努めてまいります。職員の処遇につきましても、ご心配頂きありがとうございます。これからも職員一人ひとりが前向きに誇りをもって仕事をし、チームとして支援力を発揮できるよう取り組みます。
5	・利用者の方々は、家に居る期間が少なく、親は学園での生活パターンはほとんど目で確かめることができておりません。だからこそ職員の方々を信じるしかないと思います。腹立たしいことも、その場を抜け出したい時も多いと思います。しかし、どの職業でも楽な職業は何一つありません。やると決めたら、その人がいかに努力するか否かでその人が輝きを放ち、相手に通じるのです。（虫けらだって、犬猫だって心はちゃんと通じるのですから。）障がいを持った者でも同じ目線でもって接して頂ければと思っています。そして食することは生きること。楽しい音楽でも聞きながら食事の時間を大切にし、調理の先生方も頑張って下さる様お願い致します。皆様方の健康を祈りつつ・・・	福祉に携わる職員にとって、貴重なご意見をいただきありがとうございます。松葉学園基本理念である「共に考え　共に生きる～その人らしくありのままに～」を大切に、今後も利用者の方を中心に取り組んでいきます。
6	・長期にかけてご面倒をおかけしております。心よりお礼申し上げます。今後ともよろしくお願い申し上げます。施設の皆様には何かとご面倒掛けっぱなしと思います。何分よろしくお願い申し上げます ・利用させて頂き大変感謝しています。 ・松葉学園の支援員の皆様、全職員の皆様に感謝しております。安心して毎日を過ごしております。	今後ともよろしくお願いします。

(3)　就労継続支援（Ｂ型）事業所　いっとき館

ご家族ご意見		回答
1	・重度の知的なので本人の意見は分かりませんが、嫌がらず通ってくれることが答えだと思います。困ったこと、悩んでいること等、真摯に対応して下さるので、保護者としても安心して預けることができています。	松葉学園を利用していただきありがとうございます。今後も安心して通っていただけるように取り組んでまいります。よろしくお願いいたします。
2	・職員の喫煙に関してあまりよく思わないことがある。精神的にも大変な仕事なので苦労は感じるが、部屋の外のベランダでタバコを吸っている職員を見かけるとがっかりする。喫煙後、利用者と関わるにあたって受動喫煙となり、言葉を発した時、利用者の体内に入り込む。喫煙するなら、利用者や家族の見えないところでして頂きたい。利用者への影響を考えて頂きたい。送迎車を運転しているときも、前の事業所に居たとき、運転手が窓を開けて喫煙しながら運転していたのを見たことがある。連絡ノートにも本人の様子を書くし、日々の様子も書いてあるが、顔を合わせて話すことが少なくなったように感じる。事務的なことやその他のことに追われてか・・・。何でも言って下さいという言葉があれば話しやすいが、たまに話すと落ち込むことがある。学校を卒業と同時に入所生活をさせて自分で生きていく力を身に付けさせたいと考えていたが、それができにくく、何事も入所の順番を待たなければならないと考えると親も年を取り、本人にどこまでしてあげられるか不安、親がこの世にいなくなって誰が本人を世話してくれるのか、そんなことも考える。	喫煙につきまして、ご心配をおかけしております。喫煙場所は、男性支援員室外ベランダとしております。利用者の方の中にも喫煙される方もあり、現在の場所を設定しております。確かに受動喫煙等を考えると、離れた場所や区切られた場所がいいとも考えられますが、今のところは、現在の喫煙場所で様子を見させていただければと思います。喫煙後の利用者との関りについては、利用者の方への影響を考え、不愉快な思いをしないよう努めてまいります。また、話をする機会が少なくなっているようで、申し訳なく思います。今後は気軽に話ができる関係づくりをしていきたいと考えております。将来のこと等考えるとたくさんの心配ごとや不安もあることと思いますので、ぜひご相談ください。すぐに解決できないことも多いかと思いますが、松葉学園だけではなく、相談機関等連携をとりながら考えていくこともできます。

3	・子供は時々気分にむらがあります。たぶん自分もはっきり分からないかと思います。指導員を困らせていることもありました。でも対応がよく本人をなだめてくれたり、話を聞いてくれたり家の方にもきちんと話をしてくれたり心よりうれしく思っています。	通所での利用でも、過ごす時間が多いので、生活リズムの多くを占めるようになります。ご家族同様、できるだけご本人のことを理解しながら支援していきます。
4	・子供と参加できるドライブや旅行をいつも楽しみにしています。旅行は年１回お願いしたいところです。	旅行については、楽しみにされている方も多く、ご家族等の意見も取り入れながら企画しています。今の所は、2 年に 1 回の企画ですが、旅行のない年についても、楽しみのある企画をしていきますので、いろいろなご意見を頂けたらと思います。
5	・各々が極力ストレスのない環境作りをお願いしたいです。	支援中心には考えていますが、環境作りも大切です。人数が多くなると、どうしてもストレスが増えていきます。一人ひとりが、落ち着ける場所になって頂けるように、環境作りにも工夫していきたいと思います。
6	・施設の皆さんは笑顔が良く、信頼でき安心して利用させて頂いています。	今後ともよろしくお願いします。

(4)　障害児通所支援事業所　ぽのぽの

ご家族ご意見		回答
1	・いつもお世話になっております。以前、協調性や運動への苦手意識について少しでも改善されれば・・・と思い、宿題の後で簡単なみんなで出来るゲームをさせてくださいとお願いしたのですが、椅子取りゲームや風船バレー等で充分だったのですが取り入れていただいた感じがなかったのが少し残念でした。学校では、他の子の話すスピードについていけずあまり遊べていない事もあるかと思います。ぽのぽのでは、スピードの同じ子が多いので、まずそこからお友だちと協調しつつ、ルールにそって遊ぶ達成感を感じて欲しいと思います。	ご期待に添えず申し訳ありませんでした。日々のお子さんの様子を充分にお伝えできていなかったこと、重ねてお詫び申し上げます。 ご意見の通り、以前のぽのぽのは狭く、必要に応じて活動室を変更し、長期休暇時には旧蔵貫保育園を利用する等の対応をしていましたが充分なレクリエーションは行えていませんでした。平成 30 年 10 月 1 日に移転した後は、ホールでバレーをしたり、ボール遊び、鬼ごっこ、かくれんぼ等をしたりと、ホールに集まる子ども達が遊びを共有している姿を見るようになりました。また室内ではブロックやプラレールなどのおもちゃを複数人の子ども達が共有で使いながら会話等でのコミュニケーション場面も見られています。 ぽのぽの療育目標は、生活の中で生きる力を養う、自己決定、コミュニケーションスキルの向上です。職員の呼びかけや友だち同士で自然発生した遊びの中に、友だちとの遊びに入りにくい子を誘っていくなど、場面場面に応じてつながって遊ぶ楽しさやルールの中で遊ぶ楽しさを感じてもらえるよう日々の療育に取組んでいます。お気付きの点、ご要望等ありましたらお申し出下さい。

2	支援が必要で通っているので子供が遅れている所を伸ばすような訓練も取り入れてほしい。（それをすると子供が嫌がるかもしれませんが・・・）今は、とても楽しくてしょうがないようです。（ぽのぽのに行くのが・・・）親としては劣っている所を少しでも直したいと思うのでこんなふうに思うんですね。すみません。職員の方は、いつもよくしてもらってありがとうございます。だから子供も楽しみなんだと思います。	貴重なご意見ありがとうございます。ぽのぽのでは、遊びからお子さんの成長を促せるように活動計画を立てております。日々の様子は連絡帳でお知らせしておりますが、ご指摘の通り、療育の内容、活動の目的など説明不足でありました。保護者の方と共にお子さんの成長を支えられるぽのぽのでありたいと思っていますので、また、ご要望などお聞かせいただいたらと思います。
3	・保護者にも、大らかな人、毎日いらいらして子どもにあたってしまっている人、鬱に近いくらい悩まれている人等がおられるのではないかと思います。日々いろんな事を思いますが、そのつど職員の方に相談するのも申し訳なく、健常児のお母さんには言いづらく・・・数ヶ月に１回保護者の集まりの企画があれば参加したりしていますが、それでは追いつかない日々の思いがあります。ストレスが仕事にも家族にも影響しますので、子どもだけでなく、是非保護者のサポートもいただけましたら幸いです。（当人同士おしゃべりする場が月に２回程度あれば充分です）〇〇の日はおしゃべりが出来るから楽しみ、気分が軽くなった、と希望を見い出す方がいるかもしれませんし、ぽのぽのへの敷居が高く感じている方にも、行ってみたいと思うきっかけにもなるかもしれません。勝手な希望ばかりで申し訳ありませんが、検討いただけましたら嬉しいです。	ぽのぽのとしましては、保護者の方のご意見、子どもさんの家庭での様子など教えていただくことはとてもありがたく感じています。ご希望いただければ面談もできますのでお申し出下さい。また、連絡帳等でご相談いただくこともできますのでご活用ください。 懇談会につきまして、ぽのぽのでは、以前、時期を決めて懇談会を開催しておりましたが、参加者が少なく、現在では、ご希望された方を対象に面談を実施しております。しかし、ご要望も多いため、今年度より定期的な懇談会も開催し面談等を行います。
4	・ぽのぽの利用者の保護者同士の関わりが全くといっていい程ない状態なので、定期的に（年に１度でもいいので）会える機会があっても良いかと思う。（小規模での座談会的なもの etc）	懇談会につきまして、ぽのぽのでは、以前、時期を決めて懇談会を開催しておりましたが、参加者が少なく、現在では、ご希望された方を対象に面談を実施しております。しかし、ご要望も多いため、今年度より定期的な懇談会も開催し面談等を行います。

5	初めて利用する時、利用の時間帯（迎えに行く時、預ける時）等の説明が無く困りました。後で注意を受けたので事前の説明をきちんとお願いします。	誠に申し訳ありません。不快な思いをさせてしまったこと、深く反省するとともにお詫びいたします。以後、説明時には伝え忘れのないよう十分に気を付けて参りますので、今後ともご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。
6	・皆で共有できる時間があればよい。（子どもとどう接することが良いのか）	懇談会につきまして、ぽのぽのでは、以前、時期を決めて懇談会を開催しておりましたが、参加者が少なく、現在では、ご希望された方を対象に面談を実施しております。しかし、ご要望も多いため、今年度より定期的な懇談会も開催し面談等を行います。保護者の方々の勉強会等も今後検討してまいります。
7	・ノートを丁寧に書いていただくので、状況がよく分かり感謝しています。差し支えのない範囲で引き続きよろしくお願い致します。	ありがとうございます。今後もぽのぽのでのお子さんの生き生きとした様子がお伝えできるようにしたいと思います。今後ともよろしくお願い致します。
8	・本人のしたい事だけでなく、学習支援、生活自立支援等にも力を入れて欲しい。「保育」だけになりがちなのが残念と思うことがある。	ご期待に添えず、申し訳ありませんでした。今後はご期待に添えるよう取り組んでまいりますので、ご要望等お聞かせいただければと思います。よろしくお願いいたします。 平成 30 年度のぽのぽの放課後等デイサービス支援事業 ①子どもの興味にとことん付き合う・社会経験を大切にする ②近隣施設の活用と公共機関の活用 ③社会の中で生きる療育を目指す ④子どもの発想を大切にし、子どもたちのエンパワメントを高める ⑤「理想を現実に」「興味関心を形にする支援をしていく」を療育方針に掲げて、日々の療育に取り組んでいます。お気付きの点、ご要望等ありましたらお申し出下さい

9	・ぽのぽのへ行くのをとても楽しみにしています。いつもいろいろな活動を工夫していただきありがとうございます。	ありがとうございます。お子さんに楽しく来ていただけることが私たちの励みになります。これからもお子さんに楽しく通ってもらえるよう努力してまいります。今後ともよろしくお願い致します。
10	・療育を受ける際、補助していただいている年配の方より、保育士さんの方が積極的に療育に臨めているので人員配置を変更していただきたい。選択できるといいのかなと思っています。	申し訳ありません。人員配置の変更、選択についての対応は難しいのですが、今後どの職員が関わっても満足いただけるサービスが提供できるよう自己研鑽に努め、ご期待に応えることができるよう努めてまいります。お気付きの点等ありましたらお知らせください。
11	小学生から高校生まで（の間）ずっと成長を見守っていただき、大変感謝しております。	こちらこそ、お子さんの成長に長く関わらせていただき大変感謝しております。ぽのぽの卒業までの間どうぞよろしくお願いします。
12	・いつもお世話になっております。ぽのぽの移転に伴い、落ち着かないこともあるかもしれませんがよろしくお願い致します。夏休みには新ぽのぽのへ本人たちを連れて行っていただきありがとうございました。	皆様にご協力いただき無事移転できました。今は、新しい場所にも子どもさんも少しずつ子慣れ落ち着いてきましたが、環境面においても工夫をしながら取り組んでいきます。お気づきの点がありましたらお知らせください。
13	・新ぽのぽのになりますが、いろんな行事もしていくんですか？？（今年は豪雨でどこへもいってないですが。。。）	ご意見の通り、今年度は 7 月の西日本豪雨の為、夏休みの活動（プール、遠足など）を自粛しておりましたが、この冬休みより活動（遠足など）を再開しております。
14	・送迎の駐車場が一番奥なのはなぜか。利用者によっては近い方が良い（歩行や支えなど）はずだが、職員（新保育園の）用駐車場が手前であることが利用者よりも職員優先であるように感じられる。	お知らせが十分にできておらず申し訳ありません。ぽのぽの玄関前の駐車スペースはぽのぽの専用の駐車場です。そちらをご利用いただければ建物から一番近い場所で車への乗り降りができますので、ぜひご利用ください。何かお困りのことがありましたら、ご連絡ください。
15	・職員など駐車している車に傷をつけた場合（例えばおもちゃを投げてあたった為車がへこんだ）の対応はどうなっているのか？	西予総合福祉会では賠償保険に加入しており状況に応じて対応していきます。何かあった際には、ご連絡・ご相談ください。

16	・夏休みの利用数について、利用人数などは今まで何年か経験しているはずなのに、今年の対応は非常に不愉快だった。	ご利用の希望にお応えする事ができず、不快な思いをさせてしまい申し訳ありませんでした。長期休暇中におきましては、ぽのぽのの定員 20 名を大幅に超えて申し込みがあります。放課後デイサービスの定員を超えて受け入れ可能な人数は、１日あたり定員 20 名×150%=30 人です。今以上の受け入れは、安全面、療育の質ともに確保が難しいのが現状です。皆様のご希望によるご利用であることは十分に承知いたしておりますが、長期休暇中の受け入れに関しては今後も、調整させていただく場合がありますので、ご理解ご協力をいただきますようお願いいたします。
17	・職員さん一人一人は大変すばらしいしありがたい気持ちでいっぱい（←ここ重要）だが何を言っても「西予総合福祉会」には響かないんでしょうけど。箱（施設）が大きくなっても園庭つぶしてますし。柵が檻みたいですし。福祉なのに、（健常の子と障がい者（児））平等でないのは相変わらずですね。西予総合福祉会への期待感はゼロです。	ご期待に添えず申し訳ありません。子どもから大人までだれもが安心して暮らせるよう西予総合福祉会として、ぽのぽのとして取り組んでまいります。今後ともよろしくお願いいたします。
18	・いつもこちらの要望に対応していただきありがとうございます。本人が落ち着いて過ごせています。とても助かっています。 ・いつもお世話になります。お迎えに行った時、笑顔で出てくるので安心しています。	こちらこそありがとうございます。今後もご期待に沿えるよう職員一同励んで参ります。これからもよろしくお願いいたします。

(5)　共同生活援助事業所・共同生活介護事業所　夢の家

ご家族ご意見		回答
1	・平成２２年４月作成の利用契約書は持ち合わせていますが、利用料金及び家賃光熱費等変化しているのではないですか。そこらへんを少し知りたいです。	お知らせができておらず、申し訳ありません。利用料金、家賃光熱水費等変更があった場合には、現在利用者の方に変更をお伝えするようにしておりますが、ご家族の方へもお知らせするようにしていきます。
2	○お金の計算等２年に１回知らせてほしい。１日いくらで働いているか…。 ○夜のイベント等外出時のこと等夜の一人歩きはさせない。 ○個人情報等（タクシーの領収書）やめてほしいと思います。 ○人生残り少なくなり後兄弟達に頼むために…。 ○保険のこととかいろいろと頼まなければ知らせておきたいことなどあります。 ○夜の火事とか事件とかが心配です（急な病気とか夜間の）。	金銭については、バックアップ施設である松葉学園と共に管理しております。給料や日々のお金の使い方等利用者の方と確認・相談しながら進めているところではありますが、今後ご家族の方にも何らかの形でお知らせできればと考えております。わからないこと、知りたいこと等いつでもお申し出下さい。 最近、テレビや新聞等の報道でも、グループホーム関連の事件がとり上げられることも増えご心配のことと思います。外出やイベント等の参加について、利用者の方と話し合いをし、リスクを考えながら取り組んでいきます。防災等への対応につきまして、利用者の方・職員共に年４回の避難訓練（火災・風水害・地震・原子力など）・消火器を使用した２回の初期消化訓練・救命訓練（AED など）、また、避難訓練 DVD 視聴や交通安全教室などを行っています。また、火災をいち早く認知できるよう全グループホームに自動火災報知設備を設置しました。夜間は宿直職員が巡回し、緊急時にもできるだけ迅速に対応できるようにしています。防犯訓練等も行い様々な事項に対応できるようにしたいと思います。 個人情報の管理について、情報の漏洩がないよう厳正に取り扱っておりますが、気になる事がございましたらお声かけ下さい。 将来のことと等いろいろとご心配や不安もあることと思います。お気軽にご相談ください。

3	・最近、顔を合わす機会がなく分からない事が多いですが本人が満足であればそれで良いのではないかと思っております。	夢の家の方針の一つでもある「自分の暮らしは自分でつくる」ということを大切に、今後も利用者の方が自分らしく楽しく過ごせるようにしていきます。
4	・現在は本人も動くことは出来ていますが、将来的に動けなくなった場合の特養老人ホームなどへの入所がスムーズに進むことを希望します。	利用者の方や家族の方の意向を聞きながら、状況に応じて生活場所の移行ができるよう各関係機関と連携し安心して暮らすことができるようにしていきます。
5	・施設の職員の方も親身になって下さり、行事も多く本人も家族も安心しております。有難うございます。	行事等利用者の方の希望を聞き、一緒に考え計画することを基本として進めていきます。
6	・分からないというところに〇を付けていますが、改めてこちらからお聞きしたことがなかったので、分からないという回答にさせていただきました。	聞いてみたいこと等ありましたら、いつでもご連絡ください。
7	・本人の要望などは聴いていただけていると感じています。今後ともよろしくお願いいたします。	今後も利用者の方の思いを聴きながら、暮らしを支えていきます。

2　乳幼児施設自由意見の回答

(1)　保育所

ご家族ご意見		回答
行事について		
1	年間行事や奉仕作業など、もう少し保護者を巻きこんで良いと思います。保育園、保護者の子育てに関する共有を密にする事で、より良い保育園生活を子ども達も過ごせると思います。	ありがたいご意見をいただき感謝いたします。保護者の皆さんのご理解と協力あっての保育園です。今後も役員さんと協議しながら、子どもたちのために協力をお願いしてまいります。
2	保育園での普段の様子を参観できる機会がもっとあるといいなと思います。(土曜など)	年度始めに計画し、今年度は平日の保育参加の日を3日計画し、都合のつく日に、子ども達の様子を見て一緒に過ごしていただきました。来年度も曜日等考慮し、計画を立てていきます。
職員の対応について		
3	送迎の対応、もう一度見直していただくとありがたいです。	送迎時の応対で、不愉快な思いをさせていましたことお詫びいたします。職員一同真摯に受け止め、気持ち良い対応を心がけてまいります。
4	今まで色々な保育園に通わせたことがありますが、中川保育園はクラスの違う先生でもその日の子どもの様子を見て、知ってくれているので帰りにどの先生でも話しも聞けて、すごく安心して預けられるので助かっています。	ありがとうございます。担当のクラスの子どもたちだけでなく、職員間で必要な情報を共有しあい、クラスを越えて子どもたちとの関わりをもっています。 今後も保護者の皆さまの思いに寄り添い、きめ細やかな対応をしていきます。 （中川保育園）。
5	心配事や子どものケガに対する対応もきちんとしていて、下さって言うことないです。	保護者の皆さまの気持ちにいつも寄り添っていきたいことは職員共通の思いです。今後とも心配事、不安に思われることなど、遠慮なくご相談ください。また、ケガに関しては、迅速で適切な対応を心がけ、状況を丁寧に説明していくとともに、これからも職員一同リスク対策に努めていきます。

6	先生方の子どもに対する愛情を感じる機会が多くあります。これからもよろしくお願いいたします。	嬉しいご意見ありがとうございます。 これからも、子どもたち一人一人の気持ちを受容し、気持ちに寄り添いながら、愛情を持って保育していきます。
7	先生方が一生けんめい取り組んでくださっているのが、伝わるのでありがたい気持ちです。”子どもたちファースト、よろこばせたい！たのしませたい！”の思いに頭が下がります。ありがとうございます。園だよりについても、ベースは引き継がれつつも、入園したばかりの人たちにも、分かりやすくマイナーチェンジなされていて、心強いなー、信頼できるなーと、日々感じています。	ありがたいご意見、ありがとうございます。職員も心の励みになります。今後も、さらに、子ども第一をまず考え、みんなが楽しめる保育、体験を増やしていきたいと考えます。
8	子どもが毎日喜んで通っています。先生方やお友だちのおかげだなと感謝しております。	ありがとうございます。子どもさんが喜んで保育園に来て過ごせている事、とてもうれしく思います。保護者の皆様と信頼関係を築き安心して頂けていただけるように努めていきます。
9	・いつもお世話になっております。子ども達も登園を楽しみにしております。お忙しい中、懸命に保育して頂き感謝しております。今後ともよろしくお願い致します。 個々に対応していただき、感謝しています。	ありがとうございます。子どもさんが喜んで保育園に来て過ごせている事、とてもうれしく思います。保護者の皆様と信頼関係を築き安心して頂けていただけるように努めていきます。
10	子どもがケガをした内容、いきさつ、経過についてとても詳しく説明して頂くので、本当にいつも気を付けて下さっていることが十分に伝わり、ありがたいなとおもっております。常日頃から温かい声掛けを頂き大変ほっとしています。これからも息子共々よろしくお願い致します。	怪我については、ご心配をお掛けし大変申し訳なく思っております。今後も、丁寧な対応を心がけて保育を行っていきます。

11	いつもお世話になっております。今では毎日保育園に行きたいくらい子どもが楽しんで通ってくれているので楽しんでいるんだな-と思って安心して通わせています。	「保育園は楽しい！」の気持ちが一番嬉しいです。 これからも色々な人とのかかわりや、様々な経験を通して、楽しい保育園生活になるように努めます。
12	いつも子どものことを気にかけてもらい、嬉しく思います。どの先生も直ぐに子どもの名前を覚えてくれて（大変なのに）子どもも嬉しいし私も嬉しいです。	ありがとうございます。これからも一人一人を大切にした保育をしてまいります。
13	保育士さん全員ともよく関わってもらい、大切にされていると感じます。外にもたくさん連れて行ってもらい、少人数の良さがあると思っています。他の保育園の様子が分からないので何とも言えませんが、今の保育園に不満はありません。 先生たちの雰囲気がすごくよくて、それが保育にも表れていると思います。子どもが、朝起きるとすぐに「保育園行くー」と言うので楽しんでいると思います。	ありがたいお言葉に感謝いたします。今後も一人ひとりの子どもに寄り添い、今後も楽しい保育園づくりを目指してまいります。
連絡・伝達等について		
14	子ども達は保育園が大好きです。2歳までは時々怪我をして帰ってきた子どもも3歳になり怪我も友だちとのトラブルもぐんと減ってきた様子で安心して預けられております。不満ではないのですが、担任の先生が休みの日の先生方の伝達をもう少し密にしていただくとありがたいかなと。「知らなかった」「お休みだったので」はちょっとどうかな…と。トイトレも先生がたのお陰でスムーズに進みました。給食も保育園のおかげで何でも食べれるようになりました。命にかかわる怪我や事故だけはないように徹底して頂きたいです。今後ともよろしくお願い致します。	職員間の連携がうまく出来ていなかったことで、不安な思いをさせ、大変申し訳ございませんでした。今後、伝達漏れが無いよう、全職員に周知し徹底していきます

15	予定変更など、迎えの時に掲示してあるのだが、普段の迎えは仕事のため行くことができず、大切な連絡などを見られないことがある。役員の集合時刻など重要なことは電話かノートで連絡をもらえるとありがたい。	連絡が不十分であったこと申し訳なく思っております。祖父母の方等がお迎えの場合は、連絡帳に記入するようにいたします。変更などがあった場合には、パソコン横に掲示して周知徹底を図ります。また、桜メールの活用をしていきますのでよろしくお願いします。
16	感染症対策についてもう少し徹底して欲しいです。ほか、早めに休ませる、別室にする。	感染症の病気は一人でも発症した場合は,掲示板で当園や他園からの情報を少しでも早くに気をつけてもらえるように伝えていきます。 また、園としてはできるだけ別室にして拡がらないよう気をつけているつもりですが、これからも努力していきます。
17	何かの予定があれば、前日か数日前（１,２）に必要物品や時間など明記して、パソコンの前に貼り出してほしい。	予定変更や持ち物・時間等に関しては、パソコン横の行事予定ボードの下に、掲示します。
18	来月の予定や、来々月の予定を、いつもおたよりで、早めに教えてもらえるので、とても助かって　います。自分の子どもが友だちに対して、いけない事をしてしまった時に、ちゃんと知らせてもらえると嬉しい。	引き続き、園だより、行事予定のミニだより等の活用をし、ご家庭に早めに知らせるよう継続していきます。 保育園内でおきた事については、保育園が責任をもってはいるのですが、ご家庭に知らせるべき事については、職員間で確認しあいながら、お伝えしていきたいと思います。
19	お迎えの時、園長先生に気づいてもらうことが少ないです。保護者が玄関に入った時、分かりやすいような工夫をしてはどうでしょうか?パソコン正面の所の窓はいつも閉まっていて、お知らせの張り紙で職員さんの顔も見えません。	大変不愉快な思いをさせ、申し訳ありません。パソコン正面の窓は開け、お知らせ等は、横に貼り出すようにしました。気持ちのよい対応に努めて参ります。

職員配置について		
20	田之筋保育園の先生方は、本当に一人ひとりにきちんと体調を聞き、帰る時にもその日あったことも教えて下さる、気配りがすごいなあと思う。友だちとぶつかった、怪我をしたとしても頭をさげてくださり、子ども本人がやった事まで誤って下さり、逆にこっちがすみません、と思うくらい!安心して任せられると思える。ただ、いつも本当に忙しそうで、仕事環境としてはきつそうだなと感じる。もっと、余裕のある人数だと先生方も休められるのでは?そのあたりの配慮があったらいいのではないでしょうか。	ありがとうございます。職員の配置につきましては、国の基準以上の保育士を配置しております。が、日々の職員の配置等余裕を持って活動に取り組めるようにしていきます。（田之筋保育園）
保育内容について		
21	ホームページをよく拝見させていただいています。先生方も、毎日お忙しいことと思います。何かイベントがあった時だけでも、撮っていただいている写真などアップしていただいて、一言でもコメントを載せていただけると嬉しいです。子どもが保育園大好きなのは、先生方の愛情をたっぷり感じているからだと思っています。いつも、丁寧な対応に感謝しています。	ホームページがあまり更新できていない時があり、申し訳ありません。楽しみにされている方もたくさんおられると思います。様々な行事がありますが、現在、毎月のホームページ担当者を決めて、更新できるようにしております。今後も、計画だてながら、取り組んでいきたいと考えております。
22	いつも預かって頂きありがとうございます。保育園が使えなくなっても場所を探して子どもたちを預かっていただいて本当ありがたいです。家ではなかなか体験することができないようなことにも、参加させていただきとても園生活が楽しいようです。環境が変わって子どもたちも何か感じているかもしれませんが、先生方が一番苦労されているのではないかと心配です。これからもご迷惑おかけすることがあると思いますが、宜しくお願いします。	地域の中で子どもは育つということを大切にこの場所で保育させて頂いています。地域の方のご協力があり、自然が豊かで心身ともに育つ環境にあります。健康・環境・人間関係・言語・表現の5領域を考慮しながら、職員一同で知恵を出し合い保育してまいります。　（明間保育園）

23	明間保育園は子どもたちの声が明間で唯一たくさん聞こえる最後の場所です。岡山地区にある事で、本来の場所での営業ができないですが、となりのグランドに仮設住宅があるにもかかわらず、営業できない事に避難区域に入っているとはいえ、矛盾を感じます。早く、元の場所での営業ができて、子どもたちがより元気な一日を充実して過ごせるように、無くせばいいや、統合すればいいは最終段階であり、まだその段階でないので、しっかり対応して頂きたい所です。	子どもたちの安全第一を考えますと、大変難しい問題ではありますが、避難指示が解除にならない限り、今の段階で私たちができることを精一杯させていただきたいと思っていますのでよろしくお願い致します。 （明間保育園）
24	2歳児でも活発的なので、怪我だけは気を付けて頂きたいです。	子どもの生活・遊びの場である園生活において、安全な環境を第一考えたいと思います。ヒヤリハットやリスクマネジメント等に取り組み、危機管理に努めてまいります。
25	お年寄りの方との交流も、普段ないのでいい経験もたくさんさせてもらって、子どもも楽しいようです。	保育園ではお年寄りとの触れ合い・交流をとても大切にしております。年間で計画を立てて取り組んでいますが、様々な方々との関わりは、子どもたちの育ちの中でとても大切なことなので、これからも続けていきたいと思っています。
26	トイレトレーニング・衣服の着脱・歯磨きなどに取り組んでいただいて、助かっています。自宅でももちろん行っていますが、時間の余裕がなく手助けすることが多くあります。保育園での取り組みを、引き続きよろしくお願いします。	基本的生活習慣の自立に向けて、ご家庭と一緒に同じ思いで子どもたちと関わっていきたいと思っているので、これからも子どもたちの意欲や気持ちに寄り添い、援助をしながら取り組んでいきたいと思います。
27	子ども達が好き勝手に過ごす時間が多いように感じます。メリハリのある時間が過ごせた方がいいと思います。	週の計画を立て、子ども達の発達に応じた遊びの環境を整えていきます。

28	もう少し、保育園にいる子の特性（障害等）を保育している先生全員の理解や知識を身につけて保育して欲しい。	研修会に参加したり、専門機関との連携を持ちながらアドバイスや指導をして頂いております。それを園内で、全職員に周知し一人ひとりに応じた関わりが出来るように努めて参ります。
29	以前夏場に子どもが保育園で「のどが渇く」と言いました。水分を準備していただいていますが、「コップがなく飲めなかった」と言います。先生方も忙しいと思うので、夏場は個人で水筒を持たすなど改善したらいいと思う。もしくは、飲み水をいつでも飲めるように準備していただきたい。	いつも保育士や給食室の職員が気をつけているつもりですが、ご心配をおかけしてすみませんでした。これからは、水飲み場のコップを多く用意したり、補充をして飲める状態にします。
園の運営に関して(開所時間、日時、延長料金)		
30	元の保育園で早く遊べれるように。	避難指示が解除になり、開園されることを願っています。 （明間保育園）
31	もし、今後、明間保育園の開設困難であれば、閉園時間を 18:30 にしていただければ、安心して就労につけます。延長保育がないのであれば。もし、皆田（下宇和）になるのであればですが。でも、それを希望するのは我が家だけかもしれませんが。先生方も一生懸命に保育して頂き本当に感謝しています。	まだ先のことは分かりませんが、様々な問題点が出て来る事と思われます。その中の一つとして把握させていただき、保護者の皆様が安心して就労できるよう努めていきたいと思います。(明間保育園)
32	このような状況の中で、配慮して下さっている先生方、集会所を貸して下さっている地域の方には感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。一日でも早く、明間保育園の園児みんなが明間保育園にまたもどれることを願っています。 保育園が、被災中でありますが、園長先生を始め先生方が慣れない環境での保育をしていただき、安全面、子どもたちの精神面等の配慮をしてもらえ感謝しています。ただ、何とかして来年度も保育園の存続を願うかぎりです。	あたたかいことばをありがとうございます。避難指示が解除になり、開園されることを願っています。 （明間保育園）

施設設備・安全対策について		
33	園の前が駐車禁止になっているが「雨の日はOK]とか「業者はOK」とかになっていて、決まりが徹底されていない。	入園のしおりでもお伝えしているとおり、園の前は、送迎時の駐車は禁止です。一部の方が守られていないことがありますので徹底します。業者の方は、荷物搬入に関して、停車扱いとしておりますので、ご了承ください。 （下宇和保育園）
34	・雨上がりの園庭で、水たまりで泥んこになって遊ぶことも、自然を肌で感じる良い経験だと思います。強いて言えば、雨上がりを心待ちにしている子ども達が、外に出て思い切って遊べるように水はけの良い園庭に整備してもらえたらありがたいかなと感じます。	水はけの悪い園庭で、ご迷惑をおかけしておりました。ただ、雨上がりの水たまりも、子どもたちにとって格好の遊び場になっていることも事実です。泥んこ遊びが子どもたちにとって、一番、心を開放できる遊びだと思います。ご意見をいただいた保護者の方も、その良さを十分わかっていただいており、ありがたく思います。園庭の水はけにつきましては、昨年度、２月（平成３１年）、業者さんにお願いし、園庭に傾斜を微妙につけていただき、真砂土もいれましたので、これまでよりも随分、水はけがよくなっております。ただ、永久ではありませんので、随時、園庭の様子をみて、今後も改善が必要です。また今年度、4月に保護者会のご協力を得て、どろんこ広場も、設置いたしました。今年の春は、子どもたちも思いきり、どろんこ遊びを満喫することができました。ありがとうございます。これからも、改善できるところはできる限り改善し、園の環境を整えていきたいと思います。（宇和保育園）
35	まともに使用できる遊具が無く何年も改善されていない。早く新しい遊具を入れてもらいたいと思います。	遊具については、業者にお願いして安全点検を行ったり修繕をして使用できるようにしております。使用不可の遊具に関しては、安全面を考えて撤去をしたり、修繕出来る物はきちんと修繕し使用出来るようにしていきたいと思います。新しい遊具については、今後検討をしていきたいと思います。

36	門と事務所が離れていること、門の開閉が静かに出来てしまうことが、どうしても気がかりです。設備上、仕方ないと思うのですが・・・・。支援センターが門から一番近いので、人の出入りについて、見守っていただけると心強いです。他園では重たい門で「ガラガラ・・・」と音がしたりするのが、保護者の方に手間と感じる方もいらっしゃるかもしれませんが、防犯になるのではと思います。カメラを付けるだけでも、「作動中」と知らせるだけでも違うかと思います。でも、人が入れば皆さんで、お声をかけてくださっていますので、気づかって頂いているのは十分感じて感謝しております。これからも、よろしくお願いいたします。	門扉ですが、改修をしながら、現在にいたっているようです。確かに、門扉にふたつ鍵がついてはおりますが、静かですし、上だけで外側の鍵を閉められない方もあるようです。園だより等で呼びかけたり、門の掲示を分かりやすく変えたりはしておりますが、今後も、注意喚起を促し子ども達の安全に配慮していきたいと思います。令和元年5月、門扉の鍵の部分が壊れ、業者さんにお願いし、大きな鍵に取り換えております。子育て支援センター等地域の方が自由に利用できる施設を併設しているということもあり、不特定多数の方の出入りがある保育園です。地域に開放されている保育園という姿勢を大切にしながら、人の出入りについては特にアンテナをはり、全体に注意を呼びかけ、職員の挨拶、声かけを続けていきます。また、防犯カメラについては、夜間延長保育の開始した平成 26 年より園庭側と、玄関側と２基とりつけられ、24時間体制で録画しております。今回のアンケートの結果を踏まえ、みなさんにお知らせしようと、園だよりに掲載しました。また、防犯カメラ作動中というお知らせも、門扉に取り付けました。気づかせていただいた貴重なご意見ありがとうございます。今後も、必要に応じ改善していきます。 （宇和保育園）
37	・保育園裏の駐車場の入り口が少し狭いのがちょっと・・・なくらいです。	ご迷惑・ご不便をおかけしています。 駐車場の入り口は市道のため、広げることはできませんので、ご了承ください。 （中川保育園）

その他		
38	今回のようなアンケートは、社会福祉法人西予総合福祉会へ郵送等の方法が良いのではないでしょうか？思っていたりする事も正直に記入できないといつも思います。保育園についても、アンケートは個別回収だと無記名の意味がないので、無記名の場合は、必ずアンケート回収BOXを置いていただきたい。	アンケート方法につきましては法人として今後の参考にさせていただきます。保育園の玄関のところに御意見およびアンケート入れボックスを設置しておりますが、見えにくいようでしたので、ボックスが分かりやすく、個人情報に配慮して鍵をかけるよういたします。より良い保育園づくりを目指していきますので、保護者の皆さんの忌憚のないご意見をお願いいたします。
39	今年から娘を預けています。お盆も園で子どもを見てもらえることに、少し驚きました！！小学校・中学校も夏休みがあり、保育所もお盆休みがあってもいいと思います。お盆でさえ働かなければならない社会に怒りを感じます。先生方も家庭があり、幼い子どもがいる先生方もいるでしょうし、自分の子どもを自分が努める保育所に預けられないでしょうか?	職員への有難いお言葉に感謝いたします。
40	子どもと関わる仕事であるからこそ、どうか先生たちが受ける仕事や待遇に対するストレスを出来るだけなくすよう福祉会のトップの人達には努めてもらいたいです！！待遇の面で、何かと保育士が話題になっていますが保護者の負担が重くなってもいいので（だって子どもを見てもらえるから働けるわけだし）保育士の方々のお給料を上げて下さい。	職員への有難いお言葉に感謝いたします。法人内では、メンタルヘルス研修会を行ったりストレスチェックも全職員が受け、自分自身でストレスケアの出来る職員の育成に努めております。職場内でも、一人の職員への負担が軽くなるよう協力し合い、保育を行っております。処遇に関してもよりよくしていく為の検討を行い、改善を図っております。

3　高齢者施設自由意見への回答

(1)　短期入所施設　松葉寮

ご家族ご意見		回答
自由意見		
1	蒼月より落ちる	貴重なご意見ありがとうございます。今後は委託業者と連携し、少しでも食事を楽しんで頂けるように努めてまいります。

(2)　宇和町特別養護老人ホーム　松葉寮

ご家族ご意見		回答
自由意見		
1	月 1 回ペースの食事会(母と妹、私達夫婦)が少しでも長く続くことが何よりの楽しみの様子なので続けたいと思います。	施設としても、食事会が継続できますように協力いたします。
2	食事の介助について、これまでも根気よく介助いただいており、感謝しております。ひとりでは食事ができませんので、すみませんが、時間をかけて食事を十分に摂れるよう、宜しくお願い致します。	ありがとうございます。今後も丁寧な食事介助を心がけてまいります。
3	よく面倒をみてもらっており感謝している。本人がいつもみなさんによくしてもらうと言っております。ありがたく思っております。 充分な対応で全く問題ありません。いつも心より感謝しております。	ありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。
4	西日が入るため、午後から室温が高くなります。掛布団の調節を特に気を付けていただきたい。	空調や直射日光を遮るよしずを活用していますが、ご指摘の通り室温が高くなりますので、掛け布団などでの体温調節をさらに心がけます。
5	空き時間をもう少し使って車椅子にのせて外にとか出してやってほしいです。	貴重なご意見ありがとうございます。可能な限り、外気に触れる・日光に直接あたる機会を増やせる場面を検討してまいります。なお、個々の状況をケアプランに反映し、具体的な対応を心がけてまいります。

6	いつもおせわになり、ありがとうございます。大変なことも多いお仕事かと思います。職員の皆さんも心身大切にして下さいね。行くといつも感じよく対応（家族にも）して下さりありがたいです。毎日の様子は遠方のためわからないので満足とまでマルつけられませんでしたが、よくやって頂き感謝しています。お忙しいかと思いますが、ホームページ up 折々に頂けるとうれしいです（生活、行事など）	感謝の言葉励みになります。少しでも生活や行事の様子をお伝えできますようにホームページのアップに努めていきます
7	急病の場合、救急車の利用してください。	貴重なご意見ありがとうございます。ご利用者の状態を確認しつつ関係機関と連携しながら救急車の適正な利用に努めてまいります。

本人ご意見		回答
問１　入所時について		
1	入る前はなかったが、入ってから説明を受けた。	不明な点がございましたらいつでもお聞きください。
問２　ケア計画について		
2	計画書をみたことがない	施設でのケア計画につきましてはご家族にお見せしてご本人に確認してないことがありました。今後はこの点を改めたいと思います。
問３　施設の快適さについて		
3	綺麗にしてある	ありがとうございます。今後も快適な環境づくりに努めてまいります。
問４　食事について		
4	メニューはいいが味付けが悪い 初めはいいと思ったが慣れたら良くなくなってきた。どこでもそうかもしれない。 食べられない時は自分で好きな物を買って食べています。 味付けがよくない。薄かったり濃くて食べられない時がある。	施設において、食べる事はは大きな楽しみであり、これに対する貴重なご意見ありがとうございます。味付けについしては委託業者でレシピを今一度見直し、味ムラが出ないようにお願いしています。今後もおいしい食事を提供出来るように心がけてまいります。

問５　入浴について		
５	着脱に時間がかかるので慣れた職員さんに介助をしてほしい 自宅から来た時は週 2 日が少ないと感じたが、今は体力的にも良いと思っている	慣れた職員の技術を、他の職員に伝え、どの職員が介助に関わっても快適に動作できるように努めます。
問７　余暇・生活内容の自由について		
６	もみじがあるから楽しい 生け花、習字が楽しみ もみじを楽しみにしている。いい時間つぶしになっている	ありがとうございます。これからも皆様の楽しみが増えるよう努力してまいります。
７	外出が少ない	なかなかご希望に添えないですが、これからも少しでも外出回数を増やす工夫に取り組みます。
問 8　健康管理、機能回復について。		
８	座ったままでのリハビリが不満 今の所体調が悪くなったりしたことがない リハビリをしてもらいたい リハビリはしてもらいたいが歩けるようにはならないので諦めている もう少しリハビリをしてもらいたいが、先生が 1 人なので無理はいえないし良くしてもらっている	リハビリについてはご指摘の通り、一人の配置であり、回数や方法など、まだまだ満足のいかない事もあろうかと思います。
問 9　苦情対応について		
９	言いたいことは沢山あるが言ってはいけないと思っている お世話になっているので言わない	言いたい事を言い難くさせて申し訳ございません。一つでも何でも構わないので、言って頂けるような雰囲気作りから始めてまいります。
問 10　プライバシー保護・人権擁護、職員の対応について		
10	職員によって 優しく丁寧な人もいるが、返事をしない職員がいる 頼んでもやってくれない人がいる。男の職員さんは優しい。 忙しいのもわかっているが、職員によって。 以前の施設と比べたらみんなとても優しい	基本理念を念頭に会議などで接遇の大切を共有していますが、それぞれ日々の多忙の中で行き渡らない事も多いと思います。皆様の声で我が振りを治せますので今後も遠慮なくおっしゃって下さい。

問 13　施設への要望などあれば、自由にお書きください		
11	クーラーの不具合等訴えたときの対応が遅い。	修理依頼から修理できずに買い替えの過程において不自由かけて申し訳ありませんでした。今後、この時間を短縮するよう努力いたします。
12	職員みなさん優しい。ありがたいと思っている。 今のままで充分です。 何箇所か施設をまわったが、ここはとても良い所だと思う。	ありがとうございます。今後も『誰もが利用したくなる施設』になるよう努力してまいります。

(3)　ケアハウスれんげ

本人意見		回答
問１　入所時について		
１	・夫が特養にいたのでそばに居られるからここに入所した。	安心して生活ができるよう努めてまいります。
２	・家族が聞いている。 ・覚えていない。	生活内容について不明な点がございましたらいつでもお聞きください。
問２　ケア計画について		
３	・とても楽しく生活できている。	ありがとうございます。 これからも、より一層楽しく生活していただけるよう努めてまいります。
４	・入居して間もないためとまどいもあり生活リズムがあっているか分からない。 ・団体生活なので合っていないところもある。	ご自身の生活リズムに合った生活が継続できるよう努めてまいります。不安なところ、分からないところがあればいつでも職員に聞いていただければと思います。
問３　施設の快適さについて		
５	・日照条件が悪い。冬は日光が入らない。 ・ここは一番いい部屋です。	お部屋の配置によって環境の良し悪しがありますが、一長一短でもあります。また入居の際は空いた部屋への入居となりますのでご理解いただきますようお願いいたします。
問４　食事について		
６	・鶏肉がだめなのに変わりものの魚ばかりで嫌になる。もう少し変ったものを出してほしい ・自分でだし汁をとっていたときのような物が食べたい。 ・同じような味付けが多くおいしくない。 ・私の口には合っています。 ・味がついていない。 ・鶏肉が多い。鶏肉が嫌。 ・米飯が硬かったり柔らかかったり、おかずが同じようなものばかり。 ・内容に変化がほしい。毎週同じメニューになっている。 ・材料を良いものを使ってほしい。少し高級品を使ってほしい。	月に１度、調理委託業者を含めた”食の委員会”にて皆様のご意見をもとに検討をしています。これからはさらに検討結果をもとに改善を行い、満足していただける食事の提供に努めてまいります。

	・味付け材料メニューに変化がほしい。 ・似たようなものばかりでおいしくない。 ・今は慣れたが入居時はおいしくない。つぶした形態なのでおいしくない。	
問５　入浴について		
7	・毎日入浴したい。 ・多人数なのでしょうがないし充分です。 ・週 2 回の入浴だが週 3 回は入浴したい。	現在は、安全にゆったりと入浴をしていただくために入浴日を設定していますが、個別のご要望にも対応できるよう検討してまいります。
問６　排泄について		
8	・トイレットペーパーの質がおちた。	申し訳ございません。 発注誤りで当時シングルペーパーが配布された経緯がありましたが、現在はダブルペーパーを提供させていただいています。
9	・一人でトイレに行けます。	これからも自立した生活が継続できるよう支援させて頂きます。
問７　余暇・生活内容の自由について		
10	・勝手なことばかりしているので分からない。	ご自身のペースで生活されることが大切だと考えます。また施設の提供するレクレーションや趣味活動を上手にご活用ください。
問 8　健康管理、機能回復について		
11	・今は元気だから必要ない。 ・現在健康なのでわからないがそのときには来てくれます。 ・言う前に来てくれる。良く管理してもらっている。	これからも安心して生活をしていただけるよう健康管理に努めてまいります。
12	・心細いときがある。	皆様の健康状態を把握し、また細かな変化にも対応できるよう健康管理に努めていますが、不安なことがございましたらご相談頂きますようお願い致します。
問 9　苦情対応について		
13	・不満はない。こんないいところはない。 ・満足しています。	ありがとうございます。 これからも満足していただけるよう努めてまいります。

問 10　プライバシー保護・人権擁護、職員の対応について		
14	・部屋の鍵がない。	お部屋の鍵を紛失されたということですが、そのような時は再発行致しますので、職員にお声掛け下さいますようお願いします。
15	・優しい人、きつい人色々です。 ・優しい人もいれば、優しくない人もいます。	どの職員であっても優しく笑顔で接することができるよう接遇向上に努めてまいります。
問 11　地域に開かれた運営について。		
16	・レク活動はあまり好きではない。	レク活動は強制ではありませんので、ご自身の生活スタイルに合わせてご参加ください。 なお、引き続き興味を持っていただける内容を検討してまいります。
問 12　総合満足度について		
17	・居させてもらうだけでよい。	今後とも充実した毎日が送れるよう努めてまいります。
18	・家のほうがいい。	集団生活ということで、自由にならないところもありご不便をおかけしますが、「家もいいが、ここもいい」といっていただけるよう努めてまいります。
19	・ありがたい。とてもいいところです。	ありがとうございます。 これからも満足していただけるよう努めてまいります。
20	・いい所もあれば悪い所もあります。一人なので家に帰るわけにもいかず、辛抱しています。	辛抱して生活されていること、大変つらく感じます。ここで生活することが家に勝ることはできなくとも、やすらげる我が家となるよう努めてまいります。
問 13　施設への要望などあれば、自由にお書きください		
21	・私は歌が好きなので歌を唄う時間を増やしてほしい。ここはいいところだからいつまでも居たい。	皆様のご希望を聞きながら、余暇の時間が充実するよう努めてまいります。
22	・これ以上要望はない。満足しています。 ・今の所要望はありません。ありがたいところです。・食事の量を増やしてほしい。野菜を増やして味付けをもっと良くしてほしい。 ・食事の見直しをしてほしい。	食事に関するご要望は多く頂いております。 楽しみのある生活を送る上で食事の良し悪しの影響は大きいと考えます。皆様のご意見が反映できるよう、調理委託業者と検討をしてまいります。

(4)　福祉の里デイサービスセンター

ご家族ご意見		回答
自由意見		
1	昔の年寄りの生活は惨めなものでした。今は気の毒なほど一生懸命やってもらいます。感謝の気持ちでいつも有難うございます。	今の私たちにはもったいないお言葉です。まだまだ至らない点が多く、福祉の里のご利用を心待ちにしていただけるようなサービスをご提供できるよう、より一層サービスの質を向上すべく努めたいと思います。
2	高齢者なので大変お世話になっております。一日も永くデイサービスに行けるよう努力したいと思います。今後ともよろしくお願いします。	ご利用者とご家族の皆様が在宅生活を穏やかに送れるよう支援させていただくことが私たちの役割と考えております。こうしたサービスを実現できるよう全職員でおひとりおひとりにあった関わりを検討し提供できる施設を目指します。
3	色々気をつけてお世話くださり満足、感謝を致しております。今後ともよろしくお願いします。	ご自宅でのご様子を伺いながら私たちのサービス提供に繋げ、ご家族をはじめとするご利用者のご支援に携わる関係機関と適切な連携が図れるよう、職員の質の向上に努めていきます。
4	游の里を利用されていた方が来られるようになり大変だと思いますが密な対応などして頂いております。利用する本人についてもよく理解して頂いていると感じます。今後ともよろしくお願いします。	豪雨災害後数ヶ月の長期間に渡ってたいへんご迷惑をおかけしており申し訳ありません。游の里再開後は、改めて福祉の里の真価が問われるものと改めて気を引き締めたいと思います。
5	施設空間、設備などの情報があれば知りたいと思います。職員の方には明るく接していただいていつも元気をいただいているように思います。	現在のデイサービスの施設設備や一日の流れや年間の行事予定などをパンフレットとして作成致します。
6	撮ってもらった写真をいただくのをとても楽しみにしています。これからもよろしくお願いします。	お買い物や外出、行事など楽しんでいただけるイベントの計画を増やして、そのご様子をおさめた写真をたくさんお届けできればと思います。
7	実意丁寧に対応くださりいつも感謝しております。本当に有難うございます。	福祉の里でできる限りのことを職員一同が精一杯させていただきます。行き届いてない点も多々ありますが、今後ますます改善に努めていきたいと思います。

(5)　グループホーム　うつのみやさんの家

ご家族ご意見		回答
自由意見		
1	近くである事、病院等も連れて行っていただき本当に助かっております。安心しておりますありがたく思っています。	通院については御家族にお願いしている状況ですが、突発的な体調不良時やご家庭の状況にあわせて通院対応しております。今後も日中の様子、身体状態等後家族にお伝えしながら信頼関係を築いて行きたいと思っています。

(6)　ななほし中川

ご家族ご意見		回答
自由意見		
1	通所介護を利用して施設内ショートステイを利用したが、ベッドからトイレが遠く次から別の施設を利用している。(個室にトイレ付でショートステイが利用できるとありがたいです。)	設備の配置で大変ご迷惑をおかけ致しました。現時点でトイレ付個室への改修はできかねる状況です。頂戴したご意見は今後の運営に活かせて頂きます。今後におきましてもご自宅での生活継続を願う立場といたしまして様々なご支援をさせて頂きますのでお気軽にご相談いただければ幸いです。貴重なご意見を賜りありがとうございました。
2	お世話になっています。おかげで大変助かります。皆さんにはよくして頂いてありがたいです。 職員さんが優しく対応してもらい安心しています。ホットする時間があるので家での生活も今のところ続けることが出来ます。 本人も私も家にいる日が多いとイライラする事がありますのでサービスを利用する事で１日でも長く家で生活できることを願っています。サービスを利用する事で本人が施設と家とのメリハリがつきます。私も生活を支えることができます。ありがたいことです。有難うございます。 いつも助かっています。これからもよろしくお願いします。	日頃は、ななほし中川をご活用いただきありがとうございます。職員一同頂戴したお言葉を励みにさせて頂きます。今後ともよろしくお願いいたします。
3	良くしてもらっていると思って安心していますが、デイサービスでの様子等送迎時しかわからないのでもう少し様子が知りたい	施設では個別に連絡帳でご利用中のご様子をお知らせしております。予め、連絡帳の活用をお伝えすべきでした。申し訳ございません。今後は連携をとりやすくする方法をご提案するなどご要望に即したサービス実施に努めて参ります。今後ともよろしくお願いいたします。

4	大変お世話になっています。今後もよろしくお願いします。 時々私自身が体調不良になったりしますので前もってそのときはこういうふうにしてくださいとお願いしてますので助かります。急にショートを利用したいときとか本当に助かります。本当に感謝しています。ありがとうございます。母も喜んでいます。本人が喜んで行っており家族としてもありがたく思っています。今後ともよろしくお願いします。	日頃は、ななほし中川をご活用いただきありがとうございます。職員一同頂戴したお言葉を励みにさせて頂きます。今後ともよろしくお願いいたします。
5	リハビリの先生を配置して欲しい。	法人全体でリハビリ専門スタッフの数に限度がありますので、専門職員の常駐は困難な状況にあります。しかし、リハビリ実施のご要望は頂戴しておりますので、取り組み方を法人内部で検討させていただきます。貴重なご意見を賜りありがとうございました。

(7)　リハビリ専門デイサービス　歩

ご家族ご意見		回答
具体的なサービスの内容や費用に関する説明について		
1	デイ専用の造りではないように感じる。	歩は、旧うわまち南保育園を改修した建物です。子ども目線建築されていますので、現在、少しずつではありますが、気が付いたところから改修をしております。色々ご不便をおかけして申し訳ありません。
2	施設が古い	歩ですが、以前の使用していた伊賀上地区の建築物は元々コンビニ用の物件でしたので明るく開放的でしたが、おかげ様で利用者数の増加にて手狭になりました。よって、現在の所に移転した次第です。建物は古いですが、耐震検査も問題なくクリアしております。使用しづらい場所などは、発見したりご指摘いただければ少しずつ改修していく予定です。これから愛される施設にしていこうと思いますので、何かありましたら助言など宜しくお願い致します。

(8)　游の里デイサービスセンター

ご家族ご意見		回答
自由意見		
1	游の里デイサービスセンターでの利用説明のもと通所していますが、入所時とは活動内容等が変化し、大きな入所決定の理由であった温泉でゆったり入浴したいということが災害のため無くなったショックは本人にとっても精神的にもこたえている様です。年齢を考えても日々大切に楽しく快適に過ごして欲しいです。デイサービスに行っても帰る時間を待ちぼーっとして時を過ごしたと帰宅後話す事もあり、心に残る活動が出来ればとの思いもあります。施設での様子等時々お知らせいただければ嬉しいです。	平成30年7月豪雨災害から翌年1月の運営再開まで長期にわたり大変ご不便をおかけしました。 事業規模を縮小させての（定員：40名→20名、職員数14名→5名）事業再開になっておりますことを重ねてお詫び申し上げます。 デイサービス事業を取り巻く経営環境は、長期にわたる介護報酬単価の低迷や町内におけるデイサービスの事業所増加により大変厳しい状況となっており、游の里は一定の規模縮小を選択した次第です。 以上を踏まえ今年度は西予市との指定管理契約の延長も検討しなければなりません。 ご利用いただける間は心に残る余暇活動、ご利用者様の笑顔を引き出せるように努力してまいります。 デイサービスでの様子など連絡ノートなどを通じてお知らせする事も可能でありますので検討させて頂きます。
2	昼食のメニューがわかると夕食と重複しなくて助かる	当日の食事メニューがひと目で分かるように献立表などを配布するなどして対応していきたいと思います。
3	温泉の再開を望む	皆様方の温かいご理解をいただき無事再開できました。誠にありがとうございました。皆様の健康増進にお役立ていただきたいと願っております。 職員一同ご来館をお待ちしております。
4	認知症で、本人は何も言わないので、どんなことをして頂いているのかわかりませんが、休まずにいっているので皆さんよくして頂いているのだと感謝しています。	感謝のお言葉ありがとうございます。こちらで過ごされた様子等を、連絡ノートを通じてお知らせする事も可能です。今後とも宜しくお願い致します。

5	豪雨災害による受け入れ休止案内を 9 月にもらったこと(不満) 　利用者の氏名について間違いがある(今回のアンケートのあて先も間違えています。	受け入れ中止のご案内文書が遅くなってしまったことで大変ご迷惑をおかけしました。申し訳ございませんでした。今後はご指摘を肝に銘じ速やかな対応を心がけてまいります。ご利用者様の氏名・住所間違いについても重ねてお詫びを致します。早急に全利用者様の氏名・住所を今一度確認させて頂きますのでご了承ください。
6	本人は満足しているようですが、帰って聞いても何を食べたのかわからないようです。 食は生命なりです。メニュー表が見てみたいです。游の里では黒板にメニューが書かれてあったとのこと。游の里では職員さんが調理をされていたとの事。食事代が600円と聞き(高いので)少々驚きました。 もっともっと利用させていただきたいのですが、家族への情報、報告がなく全然わからず首を傾げています。	デイサービスにおける「食」とは非常に大きなウエイトを占めると思います。昼食メニューはご利用者様も楽しみにされていると思いますので、献立表を配布するなどして皆様に情報提供できるように努めたいと思います。家族様の情報、ご報告がないことにつきましては私共の不徳の致すところでございます。「もっと利用したい」といった声にお応えすることで失った信頼を回復できますように精進してまいります。
7	座るばかりは悪いから横に 3 回位してください。	貴重なご意見をありがとうございます。ベッドをご用意させて頂いてますのでご利用者様お一人お一人の状態を確認させていただき静養のご案内をさせて頂きます。
8	今回災害の為状況が変化し、とても大変な中、職員さん皆さん一生懸命対応していただき感謝です。どうぞ、以前のような状態で游の里デイサービスが利用できること願います。食事は、特に游の里での料理がおいしかったと、母が話します。職員さんの対応は変わらずおやさしいこと感謝です。	お褒めの言葉をいただきありがとうございます。 前記しておりますように、水害からの再開時に事業規模の縮小を選択しました。職員の数も削減しましたので、給食もそれまでの手作りから外部委託に変更しております。 ご期待にお応えできかねる状況は心苦しい限りですが、現状でできる限り知恵を絞り、被災前と同様ご利用の方を主体とする事業運営に努めてまいります。 お気づきの点はお気軽にお申し付けください。

(9)　あんしんの家

ご家族ご意見		回答
自由意見		
1	デイの行きの送迎・・・家族が一緒に住んでいないので冬場は市外から準備に来るので出来れば、もうすこし遅くして欲しい。	可能な限り、ご要望にお応えさせていただきます。現在はお約束の時間を設定し送迎させていただいておりますが、時間の変更については可能な限り調整いたしますのでお気軽にご相談下さい。
2	食事をおいしくして欲しい。メニューを考えて欲しい。	現在外注によるご提供となっています。ご要望をいただきますと、その都度業者へ伝え改善を図って参ります。その他のご要望と同様お気軽にお申出下さい。
3	利用したときの本人の様子を丁寧に連絡をしてもらって居てとてもありがたく思っています。やさしく対応してもらい本人も良くしてもらっていると話をしています。今までどおりでよいと思います。不満などありませんので施設に伺うこともせず申しわけございません。	ありがとうございます。これからもご安心いただけるサービス提供を職員一同努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。
4	施設の方はよくして頂いています。やっと名前がわかり信頼関係が出来たと思ったら次は違う方が見えます。信頼関係ができないと何も話せません。	当法人における人事異動により大変ご迷惑おかけしております。安定したサービスのご提供並びに職員の質の向上等を目的としておりますのでご理解を賜りますようお願い申し上げます。なお、頂戴したご意見を踏まえ、一層の職員教育に努め、皆様との信頼関係の早期構築を図ってまいります。貴重なご意見を賜りありがとうございました。

(10)　石城あんしんの家れんげ

ご家族ご意見		回答
自由意見		
1	現在のところは本人も施設に行くことが楽しいようです。	今後も本人さんがお楽しみいただけるようサービスをご提供してまいります。引き続きよろしくお願いいたします。
2	自分の言いたい事は言うけれど人の言うことはあまり聞いていなくて迷惑をかけています	元気で末永くご利用頂くことが私どもの願いです。ご心配なさらず「石城あんしんの家れんげ」をご利用下さい。
3	日中の生活状態を詳しく記録しておられ、施設の様子が良くわかり助かっています。介護のアドバイスも職員の方から伺い参考にさせてもらっています。これからもよろしくお願いします。	小規模施設ですので、お一人お一人に対して深くかかわることができます。ご自宅での生活についても、ご家族と一緒になって考えていきたいと考えています。今後ともよろしくお願いいたします。
4	プライバシーの配慮について、十分配慮をいただいていると思いますが、今後とも重要な事柄として職員間で研修し、共通理解の下利用者と接して欲しい。	プライバシーは重要なことであり、毎年研修を行っています。地域に密着した施設運営であるがゆえに、特に配慮が必要であると認識しています。引き続き、法令順守を徹底しご安心のもと施設をご利用いただけるよう努めて参ります。

（11）　特別養護老人ホーム　皆楽園

ご家族ご意見		回答
自由意見		
1	利用しているときの、怪我などについての家族への説明を早くしてほしい。	ご家族へのご報告、説明、お詫び等、迅速な対応が出来ず不快な思いをお掛け致しましたこと、深くお詫び申し上げます。ご家族のお気持ちへの配慮が足らなかったと反省しかありません。失った信頼を得るためにも、職員間の連携を強化し適切な対応が迅速に行えるように定期的にマニュアルを見直します。また、勉強会の中で全職員が統一した対応が出来るよう努めます。
2	どの職員も笑顔で対応してもらって気軽に訪問しやすい。プロだなといつも感謝しています。	ありがとうございます。全職員が専門職として成長し、プロとしてきめ細やかなサービス提供が行えるように更に努めて参ります。
3	よろしくお願いします。	こちらこそ、これからもよろしくお願いいたします。
4	時々面会に行ったときの様子を見ての回答なので、どちらかといえばに〇をつけました。いつも明るく対応して頂き、感謝しております。	入所されている大切なご家族様が笑顔で気持ちよく過ごして頂けるように接して参ります。気になることがありましたら、些細なことでもかまいません。玄関左に設置のご意見ポックスをご利用いただくか、事務所にてご意見を伺わせて下さい。
5	職員に対する教育、指導を希望します。私の親は職員の心無い言葉に傷つき、しばらくの間落ち込んでいました。一部の職員だとは思いますが、自分の親と同じぐらいに接して欲しいものです。	ご本人、ご家族に辛い思いをお掛けしたこと、誠に申し訳ございませんでした。今後も基本となる接遇、言葉遣い等、繰り返し勉強会を行い、ご家族が安心して皆楽園にお任せいただけるよう努力して参ります。

6	職員の方の対応がとても丁寧で嬉しく思っています。今後ともよろしくお願いします。	ありがとうございます。全員が、統一した対応が出来るように今後も基本的な学びを忘れず努めて参ります。
7	入所して 4 年過ぎました。元気に生活できているのは皆様のお陰と深く感謝致しております。今後ともよろしくお願いします。	看護、介護職員の連携を更に強化し、少しの変化にも対応出来る様努めて参ります。これからも元気で笑顔あふれる生活が送れるように精一杯、ご支援させていただきます。
8	部屋の掃除をして欲しい。(角のところにゴミがある)	環境整備等、再度施設内で話し合い気持ちの良い空間で生活が送れるように努めて参ります。
9	ゆうちょ銀行との（施設利用料）自動振り替えがなぜ出来ないのか。地方ではゆうちょ銀行の利用が一般的ではないのですか。	ご不便をおかけしています。口座振替の依頼をしているのは伊予銀行となります。伊予銀行は農協や他の銀行、信金間とは引き落としの取り扱いが出来ますが、郵貯は対象外となっています。　申し訳ございません。
10	皆楽園の皆様には大変お世話になっています。頻繁に行く事は出来ないのですが、皆様一生懸命仕事をされていることはよくわかります。理想と現実派違うので、現場スタッフの意見が通る施設であって欲しいと思います。それが利用者の満足度アップに繋がると考えます。	貴重なご意見ありがとうございます。皆楽園で生活されるご利用者、職員が共に楽しいと感じる場所づくりに努めて参ります。ご利用者本位のサービス提供が行えるよう、現場の意見に耳を傾け、職員一人ひとりが考え実践できる施設づくりに努めて参ります。今後ともご家族の些細な疑問やご意見、是非お聞かせ下さい。
11	いつも良くして頂いて感謝しております。こちらが知らないこともありアンケートに答えづらかった所もありますが。今後ともよろしくお願いいたします。	アンケートのご回答、ありがとうございました。ご利用者と職員といった閉鎖的な社会になりがちで、立地も良いとは言えません。ボランティアの受け入れ等、積極的に行い開かれた施設づくりに努めます。また、施設発行の広報を通し行事や日頃のご様子をお知らせしています。遠方にお住まいのご家族の心配は尽きないと思います。何かありましたらいつでもご連絡下さい。

本人意見		回答
問２　ケア計画について		
１	職員さんが良くしてくれる。	施設の生活に不便のないよう、精一杯ご支援させていただきます。お気づきの点がありましたら、遠慮なくおっしゃってください。皆さまのご要望に少しでもそえるよう努めて参ります。
問３　施設の快適さについて		
２	居室の洗面台がたまに水浸しになっている為、転倒しないよう気をつけている。	大変ご迷惑をおかけしています。安全で安心に過ごしていただけるよう努めて参ります。各ユニット１日数回確認するように心がけます。
問４　食事について		
３	時々おかずを残されている。	食事量が多いと残される方や薄めの味付けで作らせていただいているため、好みに合わず残される方がいらっしゃるかもしれません。栄養士、調理師ともにおいしい食事が提供できるよう努めます。
問７　余暇・生活内容の自由について		
４	したくない。	各ユニットの職員と相談し、ゆっくり時間がもてるよう工夫できることがあれば改善していきます。
問 13　施設への要望などあれば、自由にお書きください		
５	特にありません。職員さんが良くしてくれている。	ありがとうございます。皆楽園が安心して暮らせる場所となるようどんなことでもかまいません。何かありましたらお知らせ下さい。

(12)　デイサービスセンター　皆楽園

ご家族ご意見		回答
自由意見		
1	手足の運動が出来ればして欲しいです。	レクリエーション時に体操、歩行練習等は実施しておりますが手足の運動も個別に取入れてまいります。
2	毎月の予定表（行事、レクレーション等）をもらえたらありがたいです。レクレーションも参加していないと思いますが、男の人も楽しめるようなものがあればいいと思います。送迎時にいないのでとてもお世話になっています。ありがとうございます。※質問に関してはよく分からないことが多いです。送迎時にいないので話も出来ず、本人からの話もよくわからないのでどのような状態かわからず…申し訳ありません。しぶしぶ行っている状態ですが、少しずつ慣れて来ているようです。これからもよろしくお願いいたします。	現在も行事・レクリエーション・送迎時間等を記した利用予定表（カレンダー）を配布しております。ご希望があれば、デイサービスでの様子や家庭での様子をやりとりする為の連絡ノートも用意することが可能ですのでご連絡ください。今後もご利用者の方が安心して利用していただけるデイサービスを目指してまいります。
3	職員さんにはいつも親切にして頂き感謝しております。これからもどうぞよろしくお願いいたします。	ありがとうございます。今後ともよろしくお願い申し上げます。
4	預けての施設での生活はわかりません。送り迎えの職員さんの対応は感じよく、様子も知らせてもらえ感謝です。	ありがとうございます。今後も気持ちの良い対応を心掛けてまいります。

(14)　特別養護老人ホーム　あけはま荘

ご家族ご意見		回答
自由回答		
1	他施設では介護日誌があるように聞いているが、あけはま荘では？またあるとすれば事務所か、ユニットか。あるとすれば、介護日誌を、視ますかの一声があってもよいのでは	説明不足で申し訳ありませんでした。あけはま荘でも介護日誌があり、ユニットで管理させていただいています。いつでもお見せすることは出来るので、来荘時、職員にお声掛けいただければと思います。今後は、入所時や家族会、来荘時等で介護日誌をお見せ出来る事をお伝えさせていただきます。 貴重な御意見ありがとうございました。
2	いつもお世話になっています。母が写っている写真を見て・・・（笑）一年を通して、季節ごとのたくさん行事をして頂き、驚き、ありがたく思います。こちらが自宅にいたら、こんなに楽しく過ごすことができたかな？と思いをめぐらしています。母が刺激のある平穏な生活を送ることができていること、私たち家族は、とてもうれしく思っています。これからもよろしく御願いします。	そのように言っていただきありがとうございます。今後もご利用者の方が楽しく過ごしていただけるよういろいろな企画をして行きたいと思います。また、ご家族にも参加していただけるような企画も考えておりますので、御都合が良ければぜひ御参加下さい。今後ともよろしくお願いいたします。
3	私たち二人、主人は仕事が忙しく、私は車椅子なので思うように、おばあちゃんの所に行けないですが、なるべく行くようにしています。どうか宜しく御願いします。	いつもありがとうございます。ご無理をなさらないよう、ご家族の都合が良い時に来ていただけるだけでありがたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。
4	今の所特にありません。職員の皆様によくしていただいておりますので、大変ありがたいです。ただ、日中、座っていることが多いので、足のむくみがひどく、それがとても気になります。何か方法があれば改善できるよう御願いします。	いつもありがとうございます。足のむくみに対して十分なケアが出来ておらず申し訳ありません。ベッドで休んでいただく時に足を高くして休んでいただいてはおりますが、個別に運動やマッサージ、足湯等を取り入れ血流をよくし、むくみの軽減に努めて行きます。今後ともよろしくお願いいたします。

(15)　明浜デイサービスセンター

ご家族ご意見		回答
自由意見		
1	食事の不満がある様なので、味付けの工夫をしてほしい	月に 1 度、食の委員会にて皆様のご意見をもとに検討して改善すべきは調理委託業者へ伝えています。 これからも満足していただける食事の提供に努めてまいります。

自己評価

自己評価は愛媛県福祉サービス第三者評価制度の評価基準（1）基本評価項目（2）内容評価項目について障害者施設、保育所、老人福祉施設別の評価票の各設問に職員が答え自己評価しました。
職員数10名以内の小規模な施設はほぼ全員に評価依頼をし、30名以上の施設においてはおよそ20名を目途に、正職員、パート職員の中から無作為で選びました。評価票には評価項目、評価基準が示されており基準を十分クリアしている場合A評価、ほぼクリアしている場合B評価、取り組みが不十分な場合C評価としています。施設ごとに職員の雇用形態にかかわらず、もれなく評価をしましたが施設の規模等様々であり依頼人数や比率は統一できていません。また、新規採用職員や職種によってはほとんど未経験の評価項目があり、無回答比率が高くなっているケースがあります。
法人職員759人のうち、該当施設の職員を対象として288人が評価をしました。

施設名	依頼人数	職員数	前回依頼数	前回職員数	前々回依頼数	前々回職員数	前々々回依頼数	前々々回職員数
法人集計	288	759	309	622	280	522	221	374
事務局	—	5	—	5	—	—	—	—
松葉診療所 ※1	—	11	1	10	—	—	—	—
養護・障害者施設	72	163	58	132	60	94	54	67
松葉学園	44	91	20	71	29	53	26	32
希望の森	28	41	38	43	31	41	28	35
ひまわりの家 ※2	—	31	—	18	—	—	—	—
乳幼児施設	61	184	80	131	82	101	68	101
うわまち南保育園 ※3	—	0	11	22	16	20	15	20
うわまち東保育園 ※4	—	0	14	18	15	17	11	20
中川保育園	16	28	10	22	11	12	7	8
田之筋保育園	10	14	8	9	7	8	6	8
下宇和保育園	8	14	10	15	6	9	6	8
明間保育園	7	8	7	10	5	5	3	7
宇和保育園	20	44	20	35	22	30	20	30
うわまち未来こども園	—	57	—	—	—	—	—	—
石城保育園	—	11	—	—	—	—	—	—
多田保育園	—	8	—	—	—	—	—	—
高齢者入所・短期入所施設	77	273	53	210	67	236	36	134
特別養護老人ホーム松葉寮	20	98	20	90	30	104	17	93
特別養護老人ホーム皆楽園	19	52	17	51	20	52	19	41
特別養護老人ホームあけはま荘	20	67	16	69	17	80	—	—
地域密着型特別養護老人ホーム開明の杜 ※5	—	33	—	—	—	—	—	—
養護老人ホーム三楽園	18	23	—	—	—	—	—	—
高齢者通所・地域密着型施設	63	89	98	105	71	91	63	72
福祉の里デイサービスセンター	5	12	14	16	16	25	23	32
游の里デイサービスセンター	6	15	13	15	13	16	16	16
明浜デイサービスセンター	8	9	11	12	—	—	—	—
皆楽園デイサービスセンター	8	9	8	10	—	—	—	—
グループホームうつのみやさんの家	7	8	7	7	8	8	6	6
あんしん家	9	10	10	10	8	11	9	9
石城あんしんの家れんげ	3	4	9	9	7	9	9	9
多田あんしんの家 ※6	—	0	9	9	10	10	—	—
ななほし中川	10	11	9	9	9	12	—	—
リハビリデイ 歩	7	11	6	6	—	—	—	—
リハビリデイ 三間店 ※7	—	0	2	2	—	—	—	—
軽費老人ホーム	15	34	19	34	0	0	0	0
ケアハウスれんげ	9	11	9	12	—	—	—	—
ケアハウスはまゆう	6	12	10	10	—	—	—	—
その他職員（温泉施設勤務） ※8	—	11	—	12	—	—	—	—

※1 ※2 ※3 ※4※5※6※7※8はアンケートは行なっていません。

１、障がい者支援施設

自己評価（希望の森）

Ⅰ－１　理念・基本方針

		A	B	C	無回答
Ⅰ－１－(1)－①	理念が明文化されている。	22	6	0	0
Ⅰ－１－(1)－②	理念に基づく基本方針が明文化されている。	22	6	0	0
Ⅰ－１－(2)－①	理念や基本方針が職員に周知されている。	17	11	0	0
Ⅰ－１－(2)－②	理念や基本方針が利用者等に周知されている。	12	15	1	0
Ⅰ－２－(1)－①	中・長期計画が策定されている。	19	7	1	1
Ⅰ－２－(1)－②	中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	18	7	2	1
Ⅰ－２－(2)－①	事業計画の策定が組織的に行われている。	12	12	1	3
Ⅰ－２－(2)－②	事業計画が職員に周知されている。	9	19	0	0
Ⅰ－２－(2)－③	事業計画が利用者等に周知されている。	14	11	3	0
Ⅰ－３－(1)－①	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	5	22	1	0
Ⅰ－３－(1)－②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	21	6	0	1
Ⅰ－３－(2)－①	質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	19	9	0	0
Ⅰ－３－(2)－②	経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	16	9	3	0

Ⅱ　組織の運営管理

		A	B	C	無回答
Ⅱ－１－(1)－①	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	15	11	2	0
Ⅱ－１－(1)－②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	17	9	2	0
Ⅱ－１－(1)－③	外部監査が実施されている。	21	6	1	0
Ⅱ－２－(1)－①	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	19	8	1	0
Ⅱ－２－(1)－②	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	18	7	2	1
Ⅱ－２－(2)－①	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されて いる。	14	12	2	0
Ⅱ－２－(2)－②	職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	16	8	4	0
Ⅱ－２－(3)－①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	19	8	1	0
Ⅱ－２－(3)－②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	19	8	1	0
Ⅱ－２－(3)－③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	19	9	0	0
Ⅱ－２－(4)－①	実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	21	6	1	0

Ⅱ－３　安全管理

		A	B	C	無回答
Ⅱ－３－(1)－①	緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	19	8	0	1
Ⅱ－３－(1)－②	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	19	8	0	1
Ⅱ－３－(1)－③	災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	20	8	0	0

Ⅱ－４　地域との交流と連携

		A	B	C	無回答
Ⅱ－４－(1)－①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	20	7	1	0
Ⅱ－４－(1)－②	事業所が有する機能を地域に還元している。	19	7	1	1
Ⅱ－４－(1)－③	ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	14	8	4	2
Ⅱ－４－(2)－①	必要な社会資源を明確にしている。	17	9	1	1
Ⅱ－４－(2)－②	関係機関等との連携が適切に行われている。	8	17	2	1
Ⅱ－４－(3)－①	地域の福祉ニーズを把握している。	16	9	2	1
Ⅱ－４－(3)－②	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	21	7	0	0

Ⅲ　適切な福祉サービスの実施

		A	B	C	無回答
Ⅲ－１－(1)－①	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	23	5	0	0
Ⅲ－１－(1)－②	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	16	12	0	0
Ⅲ－１－(2)－①	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	18	8	2	0
Ⅲ－１－(3)－①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	16	9	3	0
Ⅲ－１－(3)－②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	16	11	0	1
Ⅲ－１－(3)－③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	16	10	2	0
Ⅲ－２－(1)－①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	22	5	0	1
Ⅲ－２－(1)－②	評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	17	9	1	1
Ⅲ－２－(2)－①	提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	21	7	0	0
Ⅲ－２－(2)－②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	20	7	0	1
Ⅲ－２－(3)－①	利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	23	5	0	0
Ⅲ－２－(3)－②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	21	7	0	0
Ⅲ－２－(3)－③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	22	6	0	0
Ⅲ－３－(1)－①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	23	5	0	0
Ⅲ－３－(1)－②	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	21	7	0	0
Ⅲ－３－(2)－①	事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	18	10	0	0

Ⅲ－４　サービス実施計画の策定

		A	B	C	無回答
Ⅲ－４－(1)－①	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	22	6	0	0
Ⅲ－４－(2)－①	サービス実施計画を適切に策定している。	20	8	0	0
Ⅲ－４－(2)－②	定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	19	9	0	0
Ａ－１－(1)－①	コミュニケーション手段を確保するための支援や工夫がなされている。	17	10	1	0
Ａ－１－(1)－②	利用者の主体的な活動を尊重している。	22	6	0	0
Ａ－１－(1)－③	利用者の自力で行う日常生活上の行為に対する見守りと支援の体制が整備されている。	21	6	0	1
Ａ－１－(1)－④	利用者のエンパワメントの理念にもとづくプログラムがある。	16	11	1	0
Ａ－１－(1)－⑤	虐待（拘束、暴言、暴力、無視、放置等）や体罰による人権侵害の防止策や、万一に備えての取組が徹底されている。	21	7	0	0
Ａ－２－(1)－①	サービス実施計画に基づいた食事サービスが用意されている。	24	4	0	0
Ａ－２－(1)－②	食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本として美味しく、楽しく食べられるように工夫されている。	22	6	0	0
Ａ－２－(1)－③	喫食環境（食事時間を含む）に配慮している。	22	6	0	0
Ａ－２－(2)－①	入浴は、利用者の障害程度や介助方法など個人的事情に配慮している。	21	6	1	0
Ａ－２－(2)－②	入浴は、利用者の希望に沿って行われている。	23	5	0	0
Ａ－２－(2)－③	浴室・脱衣場等の環境は適切である。	25	3	0	0
Ａ－２－(3)－①	排泄介助は快適に行われている。	26	2	0	0
Ａ－２－(3)－②	トイレは清潔で快適である。	26	2	0	0
Ａ－２－(4)－①	利用者の個性や好みを尊重し、衣服の選択について支援している。	22	6	0	0
Ａ－２－(4)－②	衣類の着替え時の支援や汚れに気づいた時の対応は適切である。	23	5	0	0
Ａ－２－(5)－①	利用者の個性や好みを尊重し、選択について支援している。	24	4	0	0
Ａ－２－(5)－②	理髪店や美容院の利用について配慮している。	27	0	0	0
Ａ－２－(6)－①	安眠できるように配慮している。	24	4	0	0
Ａ－２－(7)－①	日常の健康管理は適切である。	26	2	0	0
Ａ－２－(7)－②	必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられる。	24	4	0	0
Ａ－２－(7)－③	内服薬・外用薬等の扱いは確実に行われている。	24	3	1	0
Ａ－２－(8)－①	余暇・レクリエーションは、利用者の希望に沿って行われている。	20	8	0	0
Ａ－２－(9)－①	外出は利用者の希望に応じて行われている。	22	6	0	0
Ａ－２－(9)－①	外泊は利用者の希望に応じるよう配慮されている。	23	5	0	0
Ａ－２－(10)－①	預かり金について、適切な管理体制が作られている。	20	8	0	0
Ａ－２－(10)－②	新聞・雑誌の購読やテレビ等は利用者の意志や希望に沿って利用できる。	26	2	0	0
Ａ－２－(10)－③	嗜好品（酒、たばこ等）については、健康上の影響等に留意した上で、利用者の意志や希望が尊重されている。	26	2	0	0
Ａ－３－(1)－①	一般就労に向けて、情報提供や職場実習の実施など、積極的な支援が行われている。	0	0	0	0
Ａ－３－(1)－②	働く場として、個々の障害程度や特性に応じた作業内容を用意している。	0	0	0	0
Ａ－３－(1)－③	工賃規程を設けるなど、報酬について適正に支払われている。	0	0	0	0
Ａ－３－(1)－④	働きやすい作業環境が用意され、安全衛生面でも配慮されている。	0	0	0	0

希望の森自己評価
○１５％以上の職員が「C」をつけた項目についての検証

Ⅱ　組織の運営管理
２　人材の確保・養成
（２）職員の就業状況に配慮がなされている
　②　職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。

職員の福利厚生や健康維持について、働き方改革を通して検討しています。昨年職員アンケートを実施し、職員の意見を聞き今後の福利厚生に取り組んでいます。引き続き職員の意見を取り入れ働きやすい職場つくりに努めて参ります。

４　地域との交流と連携
（１）地域との連携が確保されている。
　③　ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。

事業所において、行事等でボランティアの受入れを以前から行ってきました。その経験を基にボランティアの受入れを行っていますが、経験に頼っており明確な体制が確立されていないと思われます。全職員が地域との連携やボランティア受入れの体制を確立していきます。

自己評価（松葉学園）

Ⅰ－１　理念・基本方針

		A	B	C	無回答
Ⅰ－１－(1)－①	理念が明文化されている。	36	7	0	1
Ⅰ－１－(1)－②	理念に基づく基本方針が明文化されている。	35	8	0	1
Ⅰ－１－(2)－①	理念や基本方針が職員に周知されている。	23	20	0	1
Ⅰ－１－(2)－②	理念や基本方針が利用者等に周知されている。	10	25	7	2
Ⅰ－２－(1)－①	中・長期計画が策定されている。	30	11	0	3
Ⅰ－２－(1)－②	中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	25	15	2	2
Ⅰ－２－(2)－①	事業計画の策定が組織的に行われている。	20	19	3	2
Ⅰ－２－(2)－②	事業計画が職員に周知されている。	14	27	2	1
Ⅰ－２－(2)－③	事業計画が利用者等に周知されている。	8	24	10	2
Ⅰ－３－(1)－①	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	22	18	3	1
Ⅰ－３－(1)－②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	26	16	1	1
Ⅰ－３－(2)－①	質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	15	22	5	2
Ⅰ－３－(2)－②	経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	15	25	3	1

Ⅱ　組織の運営管理

		A	B	C	無回答
Ⅱ－１－(1)－①	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	19	21	2	2
Ⅱ－１－(1)－②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	22	17	2	3
Ⅱ－１－(1)－③	外部監査が実施されている。	33	8	1	2
Ⅱ－２－(1)－①	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	15	18	8	3
Ⅱ－２－(1)－②	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	15	26	0	3
Ⅱ－２－(2)－①	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されて いる。	16	23	4	1
Ⅱ－２－(2)－②	職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	25	16	2	1
Ⅱ－２－(3)－①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	29	12	1	2
Ⅱ－２－(3)－②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	19	18	5	2
Ⅱ－２－(3)－③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	23	16	4	1
Ⅱ－２－(4)－①	実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	31	11	0	2

Ⅱ－３　安全管理

		A	B	C	無回答
Ⅱ－３－(1)－①	緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	33	10	0	1
Ⅱ－３－(1)－②	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	28	14	1	1
Ⅱ－３－(1)－③	災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	26	16	0	2

Ⅱ－４　地域との交流と連携

		A	B	C	無回答
Ⅱ－４－(1)－①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	24	18	1	1
Ⅱ－４－(1)－②	事業所が有する機能を地域に還元している。	16	25	1	2
Ⅱ－４－(1)－③	ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	25	11	5	3
Ⅱ－４－(2)－①	必要な社会資源を明確にしている。	13	26	4	1
Ⅱ－４－(2)－②	関係機関等との連携が適切に行われている。	17	21	4	2
Ⅱ－４－(3)－①	地域の福祉ニーズを把握している。	9	22	10	3
Ⅱ－４－(3)－②	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	22	15	5	2

Ⅲ　適切な福祉サービスの実施

		A	B	C	無回答
Ⅲ－１－(1)－①	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	31	11	1	1
Ⅲ－１－(1)－②	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	24	18	1	1
Ⅲ－１－(2)－①	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	19	20	3	2
Ⅲ－１－(3)－①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	27	12	3	2
Ⅲ－１－(3)－②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	26	15	2	1
Ⅲ－１－(3)－③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	18	18	6	2
Ⅲ－２－(1)－①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	25	13	3	3
Ⅲ－２－(1)－②	評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	20	18	3	3
Ⅲ－２－(2)－①	提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	26	15	2	1
Ⅲ－２－(2)－②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	23	16	4	1
Ⅲ－２－(3)－①	利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	30	12	1	1
Ⅲ－２－(3)－②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	30	12	0	2
Ⅲ－２－(3)－③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	21	20	2	1
Ⅲ－３－(1)－①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	25	17	1	1
Ⅲ－３－(1)－②	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	34	7	2	1
Ⅲ－３－(2)－①	事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	25	16	1	2

Ⅲ－４　サービス実施計画の策定

		A	B	C	無回答
Ⅲ－４－(1)－①	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	29	14	0	1
Ⅲ－４－(2)－①	サービス実施計画を適切に策定している。	23	19	1	1
Ⅲ－４－(2)－②	定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	30	12	1	1
Ａ－１－(1)－①	コミュニケーション手段を確保するための支援や工夫がなされている。	24	19	1	0
Ａ－１－(1)－②	利用者の主体的な活動を尊重している。	31	11	2	0
Ａ－１－(1)－③	利用者の自力で行う日常生活上の行為に対する見守りと支援の体制が整備されている。	27	14	3	0
Ａ－１－(1)－④	利用者のエンパワメントの理念にもとづくプログラムがある。	17	25	0	2
Ａ－１－(1)－⑤	虐待（拘束、暴言、暴力、無視、放置等）や体罰による人権侵害の防止策や、万一に備えての取組が徹底されている。	32	12	0	0
Ａ－２－(1)－①	サービス実施計画に基づいた食事サービスが用意されている。	32	7	0	5
Ａ－２－(1)－②	食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本として美味しく、楽しく食べられるように工夫されている。	25	13	1	5
Ａ－２－(1)－③	喫食環境（食事時間を含む）に配慮している。	29	9	2	4
Ａ－２－(2)－①	入浴は、利用者の障害程度や介助方法など個人的事情に配慮している。	30	8	1	5
Ａ－２－(2)－②	入浴は、利用者の希望に沿って行われている。	27	10	1	6
Ａ－２－(2)－③	浴室・脱衣場等の環境は適切である。	31	1	5	7
Ａ－２－(3)－①	排泄介助は快適に行われている。	33	3	4	4
Ａ－２－(3)－②	トイレは清潔で快適である。	36	1	6	1
Ａ－２－(4)－①	利用者の個性や好みを尊重し、衣服の選択について支援している。	25	14	1	4
Ａ－２－(4)－②	衣類の着替え時の支援や汚れに気づいた時の対応は適切である。	28	13	1	2
Ａ－２－(5)－①	利用者の個性や好みを尊重し、選択について支援している。	30	10	0	4
Ａ－２－(5)－②	理髪店や美容院の利用について配慮している。	35	1	1	7
Ａ－２－(6)－①	安眠できるように配慮している。	34	0	2	8
Ａ－２－(7)－①	日常の健康管理は適切である。	38	1	2	3
Ａ－２－(7)－②	必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられる。	38	3	2	1
Ａ－２－(7)－③	内服薬・外用薬等の扱いは確実に行われている。	39	1	1	3
Ａ－２－(8)－①	余暇・レクリエーションは、利用者の希望に沿って行われている。	25	14	2	3
Ａ－２－(9)－①	外出は利用者の希望に応じて行われている。	28	11	1	4
Ａ－２－(9)－①	外泊は利用者の希望に応じるよう配慮されている。	29	7	1	7
Ａ－２－(10)－①	預かり金について、適切な管理体制が作られている。	35	2	0	7
Ａ－２－(10)－②	新聞・雑誌の購読やテレビ等は利用者の意志や希望に沿って利用できる。	38	0	2	4
Ａ－２－(10)－③	嗜好品（酒、たばこ等）については、健康上の影響等に留意した上で、利用者の意志や希望が尊重されている。	39	1	0	4
Ａ－３－(1)－①	一般就労に向けて、情報提供や職場実習の実施など、積極的な支援が行われている。	11	6	0	8
Ａ－３－(1)－②	働く場として、個々の障害程度や特性に応じた作業内容を用意している。	12	4	0	9
Ａ－３－(1)－③	工賃規程を設けるなど、報酬について適正に支払われている。	12	5	0	8
Ａ－３－(1)－④	働きやすい作業環境が用意され、安全衛生面でも配慮されている。	8	10	0	7

松葉学園自己評価
○１５％以上の職員が「C」をつけた項目についての検証

Ⅰ　福祉サービスの基本方針と組織
１　理念・基本方針
（２）理念や基本方針が周知されている。
　②　理念や基本方針が利用者等に周知されている。

　各事業所において、責任者または担当者が、利用者等の皆様へ理念や基本方針の内容を分かりやすくする工夫をし説明を行っていく。また、説明を行うための時間・場所等をつくっていく。

２　計画の策定
（２）計画が適切に策定されている。
　③　事業計画が利用者等に周知されている。

　各事業所において、責任者または担当者が、利用者等の皆様へ事業計画の内容を分かりやすくする工夫をし説明を行っていく。また、説明を行うための時間・場所等をつくっていく。

Ⅱ　組織の運営管理
２　人材の確保・養成
（１）　人事管理の体制が整備されている。
　①　必要な人材に関する具体的なプランが確立している。

　基本方針や各計画に沿って必要な人数等は確立されているが、常勤・非常勤の比率や有資格者の配置等のプランは確立されていません。今後、人材確保とともに適切な配置を確立していきたいと考えます。

４　地域との交流と連携
（２）　地域の福祉向上のための取組を行っている。
　①　地域の福祉ニーズを把握している。

　地域の福祉ニーズの把握は、民生児童委員等からの意見徴収や、地域からの声により把握していますが、積極的な取組は出来ていないところもあります。今後は、地域のニーズ把握のためのアンケートや相談事業からの意見を取り入れてニーズの把握に努めてまいります。

２ 乳幼児施設

基本評価項目

対象		評価分類	評価項目	評価細目	a	b	c	無回答
	Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織	Ⅰ－１ 理念・基本方針	Ⅰ－１－(1) 理念、基本方針が確立されている。	Ⅰ－１－(1)－① 理念が明文化されている。	59	2	0	0
				Ⅰ－１－(1)－② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	59	2	0	0
			Ⅰ－１－(2) 理念や基本方針が周知されている。	Ⅰ－１－(2)－① 理念や基本方針が職員に周知されている。	50	11	0	0
				Ⅰ－１－(2)－② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	38	22	1	0
		Ⅰ－２ 計画の策定	Ⅰ－２－(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	Ⅰ－２－(1)－① 中・長期計画が策定されている。	41	18	2	0
				Ⅰ－２－(１)－② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	40	19	2	0
			Ⅰ－２－(２) 計画が適切に策定されている。	Ⅰ－２－(２)－① 事業計画の策定が組織的に行われている。	45	13	3	0
				Ⅰ－２－(２)－② 事業計画が職員に周知されている。	40	18	3	0
				Ⅰ－２－(２)－③ 事業計画が利用者等に周知されている。	29	29	3	0
		Ⅰ－３ 管理者の責任リーダーシップ	Ⅰ－３－(1) 管理者の責任が明確にされている。	Ⅰ－３－(1)－① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	50	10	1	0
				Ⅰ－３－(１)－② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	51	9	1	0
			Ⅰ－３－(２) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	Ⅰ－３－(２)－① 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	46	14	1	0
				Ⅰ－３－(２)－② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	47	13	1	0
		Ⅱ－１ 経営状況の把握	Ⅱ－１－(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	Ⅱ－１－(1)－① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	35	23	3	0
				Ⅱ－１－(1)－② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	34	24	3	0
				Ⅱ－１－(1)－③ 外部監査が実施されている。	59	1	1	0
		Ⅱ－２ 人材の確保・養成	Ⅱ－２－(1) 人事管理の体制が整備されている。	Ⅱ－２－(1)－① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	41	18	2	0
				Ⅱ－２－(1)－② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	43	14	4	0
			Ⅱ－２－(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	Ⅱ－２－(2)－① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	48	13	0	0
				Ⅱ－２－(2)－② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	47	11	3	0

基本評価項目	Ⅱ 組織の運営管理		Ⅱ－２－(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	Ⅱ－２－(3)－①　職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	51	10	0	0
				Ⅱ－２－(3)－②　個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	49	12	0	0
				Ⅱ－２－(3)－③　定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	42	19	0	0
			Ⅱ－２－(4) 実習生の受入れが適切に行われている。	Ⅱ－２－(4)－①　実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	51	9	1	0
		Ⅱ－３ 安全管理	Ⅱ－３－(1) 利用者の安全を確保するための取組が行われている。	Ⅱ－３－(1)－①　緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	51	10	0	0
				Ⅱ－３－(1)－②　利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	53	8	0	0
				Ⅱ－３－(1)－③　災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	54	7	0	0
		Ⅱ－４ 地域との交流と連携	Ⅱ－４－(1) 地域との関係が適切に確保されている。	Ⅱ－４－(1)－①　利用者と地域との関わりを大切にしている。	57	4	0	0
				Ⅱ－４－(1)－②　事業所が有する機能を地域に還元している。	50	11	0	0
				Ⅱ－４－(1)－③　ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	56	5	0	0
			Ⅱ－４－(2) 関係機関との連携が確保されている。	Ⅱ－４－(2)－①　必要な社会資源を明確にしている。	45	15	1	2
				Ⅱ－４－(2)－②　関係機関等との連携が適切に行われている。	52	9	0	2
			Ⅱ－４－（３） 地域の福祉向上のための取組を行っている。	Ⅱ－４－(3)－①　地域の福祉ニーズを把握している。	38	23	0	0
				Ⅱ－４－(3)－②　地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	43	18	0	0
		Ⅲ－１ 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ－１－(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	Ⅲ－１－(1)－①　利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	51	10	0	0
				Ⅲ－１－(1)－②　利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	52	9	0	0
			Ⅲ－１－(2) 利用者満足の向上に努めている。	Ⅲ－１－(2)－①　利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	49	12	0	0

	Ⅲ　適切な福祉サービスの実施		Ⅲ－１－(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	Ⅲ－１－(3)－①　利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	52	9	0	0
				Ⅲ－１－(3)－②　苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	58	3	0	0
				Ⅲ－１－(3)－③　利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	55	6	0	0
		Ⅲ－２ サービスの質の確保	Ⅲ－２－(1) 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。	Ⅲ－２－(1)－①　サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	43	18	0	0
				Ⅲ－２－(1)－②　評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	44	17	0	0
			Ⅲ－２－(2) 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。	Ⅲ－２－(2)－①　提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	49	12	0	2
				Ⅲ－２－(2)－②　標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	44	17	0	2
			Ⅲ－２－(3) サービス実施の記録が適切に行われている。	Ⅲ－２－(3)－①　利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	51	10	0	0
				Ⅲ－２－(3)－②　利用者に関する記録の管理体制が確立している。	52	9	0	0
				Ⅲ－２－(3)－③　利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	47	13	1	1
		Ⅲ－３ サービスの開始・継続	Ⅲ－３－(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	Ⅲ－３－(1)－①　利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	51	10	0	0
				Ⅲ－３－(1)－②　サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	57	4	0	0
			Ⅲ－３－(２) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	Ⅲ－３－(２)－①　事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	46	15	0	2
				Ⅲ－４－(1)－①　定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	48	13	0	1
		Ⅲ－４ サービス実施計画の策定	Ⅲ－４－(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	Ⅲ－４－(2)－①　サービス実施計画を適切に策定している。	53	8	0	1
				Ⅲ－４－(2)－②　定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	49	12	0	1

内容評価項目

分類		評価項目	評価細目	a	b	c	無回答
内容評価項目	A-1 子どもの発達援助	1-（1）発達援助の基本	A-1-（１）-①　保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	52	8	0	1
			A-1-（１）-②　指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	51	9	0	1
			A-1-（１）-③　入園当初の環境変化に対応できるよう支援している。	57	4	0	0
		1-(2) 健康管理・食事	A-1-(2)-①　登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	55	6	0	0
			A-1-(2)-② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	55	5	1	0
			A-1-(2)-③　歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	53	7	1	0
			A-1-(2)-④　感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	54	7	0	0
			A-1-(2)-⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている。	53	8	0	0
			A-1-(2)-⑥　子どもの給食内容について、献立の作成・調理の工夫が行われている。	55	6	0	0
			A-1-(2)-⑦　子どもの喫食状況を把握するなどして、保育所給食の向上について体制が整えられている。	50	10	1	0
			A-1-(2)-⑧　子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	52	8	1	0
			A-1-(2)-⑨　アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医等からの指示を得て、対応を行っている。	55	3	1	2
		1-（3）保育環境	A-１-(3)-①　子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	44	17	0	0
			A-１-（３）-②　生活の場に相応しい環境とする取組を行っている。	46	15	0	0
		1-（4）保育内容	A-１-(4)-①　子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	57	4	0	0
			A-１-(4)-②　基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	55	6	0	0
			A-１-(4)-③　子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	35	25	1	0
			A-１-(4)-④　身近な自然や社会とかかわれるような取組がなされている。	45	13	0	3
			A-１-(4)-⑤　さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。	37	24	0	0
			A-１-(4)-⑥　遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	53	8	0	0
			A-１-(4)-⑦　子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。A-１-(4)-⑥　遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	49	11	1	0
			A-１-(4)-⑧　性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	51	10	0	0

			A－１－(4)－⑨　乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	45	16	0	0
			A－１－(4)－⑩　長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	42	19	0	0
			A－１－(4)－⑪　障害児や特に気になる子どもの保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	40	19	1	1
	A－２子育て支援	2－（１）入所児童の保護者の育児支援	A－２－(1)－①　一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	51	7	1	2
			A－２－(1)－②　家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	54	6	0	1
			A－２－(1)－③　子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	46	12	1	2
			A－２－(1)－④　虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	55	3	1	2
			A－２－(1)－⑤　虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	54	4	1	2
		２－（２）一時保育	A－２－(2)－①　一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	16	4	0	0
	A－３安全・事故防止	３－（１）安全・事故防止	A－３－(1)－①　調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	48	11	0	2
			A－３－(1)－②　食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている。	41	13	5	2
			A－３－(1)－③　事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取組を行っている。	50	9	1	1
			A－３－(1)－④　事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	44	14	2	1
			A－３－(1)－⑤　不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	54	6	0	1

乳幼児施設自己評価検証
〇１５%以上の職員が「C」をつけた項目についての検証

・１５%以上の職員が「C」をつけた項目はありませんでした。
比較的「C」をつけた職員が多かった項目について検証しました。

Ⅰ福祉サービスの基本方針と組織
２計画の策定
（２）計画が適切に策定されている。

事業計画の策定周知について、計画は策定されているものの、職員や利用者家族への周知が十分でないところがあると思われます。職員へは職員会等を使用し、利用者保護者へは、刊行物や保護者会等を通して、周知、理解に努めてまいります。

Ⅱ組織の運営管理
１経営状況の把握
（１）経営環境の変化等に適切に対応している。

社会福祉事業全体の動向や地域の利用者数や利用者像の変化の把握が十分ではないと考えます。保育業界の動向等、全国規模の研修会への参加やその地区での福祉ニーズの把握に努めてまいります。

２人材の確保・養成
（１）人事管理の体制が整備されている。
②人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。

平成２６年から、人事制度を改定し、人事考課の内容を見直し取り組んできています。評価表を作成し、客観的な基準を設けて行っていますが、まだ確立されていないところがあると思われます。評価表を理解し基準に基づいて人事考課を行うよう努めてまいります。

（２）職員の就業状況に配慮がなされている
② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。

職員の福利厚生や健康維持について、働き方改革を通して検討しています。昨年職員アンケートを実施し、職員の意見を聞き今後の福利厚生に取り組んでいます。引き続き職員の意見を取り入れ働きやすい職場つくりに努めて参ります。

特養･ケアハウス自己評価
基本項目

対象		評価分類	評価項目	評価細目	A	B	C	無回答
基本評価項目	Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織	Ⅰ－1 理念・基本方針	Ⅰ－1－(1)　理念、基本方針が確立されている。	Ⅰ－1－(1)－①　理念が明文化されている。	62	28	1	1
				Ⅰ－1－(1)－②　理念に基づく基本方針が明文化されている。	66	25	1	0
			Ⅰ－1－(2)　理念や基本方針が周知されている。	Ⅰ－1－(2)－①　理念や基本方針が職員に周知されている。	44	44	3	1
				Ⅰ－1－(2)－②　理念や基本方針が利用者等に周知されている。	17	62	12	1
		Ⅰ－2 計画の策定	Ⅰ－2－(1)　中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	Ⅰ－2－(1)－①　中・長期計画が策定されている。	53	28	9	2
				Ⅰ－2－(1)－②　中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	41	34	14	3
			Ⅰ－2－(2)　計画が適切に策定されている。	Ⅰ－2－(2)－①　事業計画の策定が組織的に行われている。	24	41	24	3
				Ⅰ－2－(2)－②　事業計画が職員に周知されている。	34	49	8	1
				Ⅰ－2－(2)－③　事業計画が利用者等に周知されている。	17	54	16	5
		Ⅰ－3 管理者の責任リーダーシップ	Ⅰ－3－(1)　管理者の責任が明確にされている。	Ⅰ－3－(1)－①　管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	40	42	9	1
				Ⅰ－3－(1)－②　遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	44	36	6	6
			Ⅰ－3－(2)　管理者のリーダーシップが発揮されている。	Ⅰ－3－(2)－①　質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	35	47	8	2
				Ⅰ－3－(2)－②　経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	33	46	11	2
	Ⅱ 組織の運営管理	Ⅱ－1 経営状況の把握	Ⅱ－1－(1)　経営環境の変化等に適切に対応している。	Ⅱ－1－(1)－①　事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	33	46	7	6
				Ⅱ－1－(1)－②　経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	37	43	8	4
				Ⅱ－1－(1)－③　外部監査が実施されている。	66	21	1	4
		Ⅱ－2 人材の確保・養成	Ⅱ－2－(1)　人事管理の体制が整備されている。	Ⅱ－2－(1)－①　必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	24	52	10	6
				Ⅱ－2－(1)－②　人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	31	45	13	3
			Ⅱ－2－(2)　職員の就業状況に配慮がなされている。	Ⅱ－2－(2)－①　職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	20	50	18	4
				Ⅱ－2－(2)－②　職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	36	40	15	1
			Ⅱ－2－(3)　職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	Ⅱ－2－(3)－①　職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	32	51	9	0
				Ⅱ－2－(3)－②　個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	32	48	11	1
				Ⅱ－2－(3)－③　定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	28	56	7	1
			Ⅱ－2－(4)　実習生の受入れが適切に行われている。	Ⅱ－2－(4)－①　実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	19	32	34	7
		Ⅱ－3 安全管理	Ⅱ－3－(1)　利用者の安全を確保するための取組が行われている。	Ⅱ－3－(1)－①　緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	38	50	2	2
				Ⅱ－3－(1)－②　利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	52	34	5	1
				Ⅱ－3－(1)－③　災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	45	42	3	2

特養･ケアハウス自己評価
基本項目

基本評価項目	Ⅱ 組織の運営管理	Ⅱ－４ 地域との交流と連携	Ⅱ－４－(1)　地域との関係が適切に確保されている。	Ⅱ－４－(1)－①　利用者と地域との関わりを大切にしている。	35	51	3	3
				Ⅱ－４－(1)－②　事業所が有する機能を地域に還元している。	29	45	16	2
				Ⅱ－４－(1)－③　ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	26	50	13	3
			Ⅱ－４－(2)　関係機関との連携が確保されている。	Ⅱ－４－(2)－①　必要な社会資源を明確にしている。	24	46	16	6
				Ⅱ－４－(2)－②　関係機関等との連携が適切に行われている。	25	46	12	9
			Ⅱ－４－（３）　地域の福祉向上のための取組を行っている。	Ⅱ－４－(3)－①　地域の福祉ニーズを把握している。	19	56	10	7
				Ⅱ－４－(3)－②　地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	36	30	17	9
	Ⅲ 適切な福祉サービスの実施	Ⅲ－１ 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ－１－(1)　利用者を尊重する姿勢が明示されている。	Ⅲ－１－(1)－①　利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	46	42	3	1
				Ⅲ－１－(1)－②　利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	45	34	13	0
			Ⅲ－１－(2)　利用者満足の向上に努めている。	Ⅲ－１－(2)－①　利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	25	49	14	4
			Ⅲ－１－(3)　利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	Ⅲ－１－(3)－①　利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	28	53	11	0
				Ⅲ－１－(3)－②　苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	32	47	11	2
				Ⅲ－１－(3)－③　利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	26	49	13	4
		Ⅲ－２ サービスの質の確保	Ⅲ－２－(1)　質の向上に向けた取組が組織的に行われている。	Ⅲ－２－(1)－①　サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	42	41	6	3
				Ⅲ－２－(1)－②　評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	30	45	10	7
			Ⅲ－２－(2)　提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。	Ⅲ－２－(2)－①　提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	32	55	2	3
				Ⅲ－２－(2)－②　標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	37	47	6	2
			Ⅲ－２－(3)　サービス実施の記録が適切に行われている。	Ⅲ－２－(3)－①　利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	56	33	3	0
				Ⅲ－２－(3)－②　利用者に関する記録の管理体制が確立している。	55	32	4	1
				Ⅲ－２－(3)－③　利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	43	44	2	3
		Ⅲ－３ サービスの開始・継続	Ⅲ－３－(1)　サービス提供の開始が適切に行われている。	Ⅲ－３－(1)－①　利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	40	43	3	6
				Ⅲ－３－(1)－②　サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	50	29	3	10
			Ⅲ－３－（２）　サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	Ⅲ－３－（２）－①　事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	46	33	6	7
				Ⅲ－４－(1)－①　定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	46	41	3	2
		Ⅲ－４ サービス実施計画の策定	Ⅲ－４－(2)　利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	Ⅲ－４－(2)－①　サービス実施計画を適切に策定している。	50	35	6	1
				Ⅲ－４－(2)－②　定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	52	36	1	3

15%以上の職員が「C」をつけた項目についての検証

特養･ケアハウス自己評価
内容項目

分類		評価項目	評価細目	A	B	C	無回答
内容評価項目	1 利用者の尊重	1-（1）利用者の尊重	1-（1）-① 利用者と信頼関係を構築するための取組が積極的に行われている。	29	61	1	1
			1-（1）-② 利用者の主体的な活動を尊重している。	21	62	9	0
			1-（1）-③ 利用者の自力で行う日常生活上の行為に対する見守りと支援の体制が整備されている。	29	59	3	1
		1-（2）利用者の権利擁護	1-（2）-① 利用者の権利を擁護する具体的な取組が行われている。	39	27	22	4
			1-（2）-② 虐待や身体拘束による人権侵害の防止策や、万一に備えての取組が徹底されている。	48	39	4	1
		1-（3）ターミナルケア	1-（3）-① 終末期（ターミナル）にあたっての支援体制が構築されている。	35	33	17	7
		1-（4）認知症ケア	1-（4）-① 認知症高齢者への対応は、利用者の個別的状況を十分に把握した上で、適切なケアに努めている。	15	60	4	13
	2 日常生活支援	2-（1）食事	2-（1）-① サービス実施計画に基づいた食事サービスが用意されている。	65	20	3	4
			2-（1）-② 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本として美味しく、楽しく食べられるように工夫されている。	31	54	7	0
			2-（1）-③ 栄養ケアマネジメントを全ての利用者に対し、適切に提供できる仕組みになっている。	37	34	9	12
			2-（1）-④ 喫食環境（食事時間を含む）に配慮している。	23	51	8	10
		2-（2）入浴	2-（2）-① 入浴は、利用者の心身の状態やケア方法など個人的事情に配慮している。	46	45	0	1
			2-（2）-② 入浴は、利用者の希望に沿って行われている。	23	44	23	2
			2-（2）-③ 浴室・脱衣場等の環境は適切である。	58	3	28	3
		2-（3）排泄	2-（3）-① 排泄介助は適正かつ快適に行われている。	68	0	17	7
			2-（3）-② トイレは清潔で快適である。	49	2	36	5
		2-（4）睡眠	2-（4）-① 安眠できるように配慮している。	74	0	11	7
		2-（5）移動	2-（5）-① 移動の介助は利用者個々の心身の状況に応じて適切な技術を用いるとともに、個々の要望に十分に配慮している。	33	44	3	12
		2-（6）機能回復訓練	2-（6）-① 利用者の心身の状況に応じた機能回復の支援が適切に行われている。	21	46	8	17
		2-（7）健康管理	2-（7）-① 日常の健康管理は適切である。	76	1	12	3
			2-（7）-② 褥瘡の予防対策について、具体的取組が行われている。	45	31	0	16
			2-（7）-③ 必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられる。	53	33	4	2
			2-（7）-④ 内服薬・外用薬等の扱いは確実に行われている。	66	0	10	16

		２−（８） 衣服等	２−（８）−①　利用者の個性や好みを尊重し、衣服の選択について支援している。	33	43	2	14
			２−（８）−②　利用者の身だしなみや清潔への配慮について支援が行われている。	49	27	2	14
		２−（９） 理容美容	２−（９）−①　利用者の理容・美容については、利用者の個性や好みを尊重し、選択を支援している。	46	29	4	13
		２−（１０） 外出、外泊	２−（１０）−①　外出、外泊は利用者の希望に応じて行われている。	30	51	9	2
		２−（１１） 余暇・レク	２−（１１）−①　利用者の余暇活動やレクリエーションへの支援が適切に行われている。	31	56	5	0
		２−（１２） 所持金・預かり金の管理等	２−（１２）−①　利用者の金銭を預かり管理する場合は、利用者や家族に定期的に報告するなど適切な管理体制が整備されている。	54	28	4	6
			２−（１２）−②　新聞・雑誌の購読やテレビ等は利用者の意志や希望に沿って利用できる。	68	1	22	1
			２−（１２）−③　食料品や嗜好品（酒、たばこ等を含む）、衣服などの身の回り品は、利用者が直接選んで購入でき、それを楽しむことができるように配慮している。	33	42	15	2

デイサービス・ショート・グループホーム・あんしんの家自己評価
基本項目

対象		評価分類	評価項目	評価細目	A	B	C	無回答
	Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織	Ⅰ－1 理念・基本方針	Ⅰ－1－(1)　理念、基本方針が確立されている。	Ⅰ－1－(1)－①　理念が明文化されている。	41	21	1	0
				Ⅰ－1－(1)－②　理念に基づく基本方針が明文化されている。	41	22	0	0
			Ⅰ－1－(2)　理念や基本方針が周知されている。	Ⅰ－1－(2)－①　理念や基本方針が職員に周知されている。	31	28	4	0
				Ⅰ－1－(2)－②　理念や基本方針が利用者等に周知されている。	12	40	10	1
		Ⅰ－2 計画の策定	Ⅰ－2－(1)　中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	Ⅰ－2－(1)－①　中・長期計画が策定されている。	36	18	6	3
				Ⅰ－2－(1)－②　中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	35	23	1	4
			Ⅰ－2－(2)　計画が適切に策定されている。	Ⅰ－2－(2)－①　事業計画の策定が組織的に行われている。	34	19	9	1
				Ⅰ－2－(2)－②　事業計画が職員に周知されている。	36	22	3	2
				Ⅰ－2－(2)－③　事業計画が利用者等に周知されている。	16	32	11	4
		Ⅰ－3 管理者の責任リーダーシップ	Ⅰ－3－(1)　管理者の責任が明確にされている。	Ⅰ－3－(1)－①　管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	29	28	5	1
				Ⅰ－3－(1)－②　遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	29	27	3	4
			Ⅰ－3－(2)　管理者のリーダーシップが発揮されている。	Ⅰ－3－(2)－①　質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	28	31	3	1
				Ⅰ－3－(2)－②　経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	28	29	5	1
	Ⅱ 組織の運営管理	Ⅱ－1 経営状況の把握	Ⅱ－1－(1)　経営環境の変化等に適切に対応している。	Ⅱ－1－(1)－①　事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	25	27	7	4
				Ⅱ－1－(1)－②　経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	31	23	6	3
				Ⅱ－1－(1)－③　外部監査が実施されている。	43	10	6	4
		Ⅱ－2 人材の確保・養成	Ⅱ－2－(1)　人事管理の体制が整備されている。	Ⅱ－2－(1)－①　必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	18	35	8	2
				Ⅱ－2－(1)－②　人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	33	24	3	3
			Ⅱ－2－(2)　職員の就業状況に配慮がなされている。	Ⅱ－2－(2)－①　職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	20	36	6	1
				Ⅱ－2－(2)－②　職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	34	26	3	0
			Ⅱ－2－(3)　職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	Ⅱ－2－(3)－①　職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	35	22	5	1
				Ⅱ－2－(3)－②　個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	28	25	9	1
				Ⅱ－2－(3)－③　定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	20	32	10	1
			Ⅱ－2－(4)　実習生の受入れが適切に行われている。	Ⅱ－2－(4)－①　実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	18	21	20	4
		Ⅱ－3 安全管理	Ⅱ－3－(1)　利用者の安全を確保するための取組が行われている。	Ⅱ－3－(1)－①　緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	37	24	1	1
				Ⅱ－3－(1)－②　利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	39	21	2	1
				Ⅱ－3－(1)－③　災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	28	30	5	0

基本評価項目		Ⅱ－４ 地域との交流と連携	Ⅱ－４－(1)　地域との関係が適切に確保されている。	Ⅱ－４－(1)－①　利用者と地域との関わりを大切にしている。	24	28	7	4
				Ⅱ－４－(1)－②　事業所が有する機能を地域に還元している。	23	27	12	1
				Ⅱ－４－(1)－③　ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	18	34	9	2
			Ⅱ－４－(2)　関係機関との連携が確保されている。	Ⅱ－４－(2)－①　必要な社会資源を明確にしている。	18	35	7	3
				Ⅱ－４－(2)－②　関係機関等との連携が適切に行われている。	27	28	4	4
			Ⅱ－４－（３）　地域の福祉向上のための取組を行っている。	Ⅱ－４－(3)－①　地域の福祉ニーズを把握している。	17	33	9	4
				Ⅱ－４－(3)－②　地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	35	20	4	4
	Ⅲ　適切な福祉サービスの実施	Ⅲ－１ 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ－１－(1)　利用者を尊重する姿勢が明示されている。	Ⅲ－１－(1)－①　利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	36	26	1	0
				Ⅲ－１－(1)－②　利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	42	17	3	1
			Ⅲ－１－(2)　利用者満足の向上に努めている。	Ⅲ－１－(2)－①　利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	28	28	6	1
			Ⅲ－１－(3)　利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	Ⅲ－１－(3)－①　利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	30	26	7	0
				Ⅲ－１－(3)－②　苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	32	27	3	1
				Ⅲ－１－(3)－③　利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	27	22	11	3
		Ⅲ－２ サービスの質の確保	Ⅲ－２－(1)　質の向上に向けた取組が組織的に行われている。	Ⅲ－２－(1)－①　サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	31	25	4	3
				Ⅲ－２－(1)－②　評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	24	24	11	4
			Ⅲ－２－(2)　提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。	Ⅲ－２－(2)－①　提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	31	28	1	3
				Ⅲ－２－(2)－②　標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	29	28	3	3
			Ⅲ－２－(3)　サービス実施の記録が適切に行われている。	Ⅲ－２－(3)－①　利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	40	22	0	1
				Ⅲ－２－(3)－②　利用者に関する記録の管理体制が確立している。	45	16	0	2
				Ⅲ－２－(3)－③　利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	40	22	0	1
		Ⅲ－３ サービスの開始・継続	Ⅲ－３－(1)　サービス提供の開始が適切に行われている。	Ⅲ－３－(1)－①　利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	42	18	2	1
				Ⅲ－３－(1)－②　サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	49	10	0	4
			Ⅲ－３－（２）　サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	Ⅲ－３－（２）－①　事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	34	23	1	5
				Ⅲ－４－(1)－①　定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	34	27	0	2
		Ⅲ－４ サービス実施計画の策定	Ⅲ－４－(2)　利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	Ⅲ－４－(2)－①　サービス実施計画を適切に策定している。	39	22	0	2
				Ⅲ－４－(2)－②　定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	46	15	0	2

デイサービス・ショート・グループホーム・あんしんの家自己評価
内容項目

分類		評価項目	評価細目	A	B	C	無回答
内容評価項目	1 利用者の尊重	1－（1）利用者の尊重	1－（1）－① 利用者と信頼関係を構築するための取組が積極的に行われている。	28	35	0	0
			1－（1）－② 利用者の主体的な活動を尊重している。	27	34	2	0
			1－（1）－③ 利用者の自力で行う日常生活上の行為に対する見守りと支援の体制が整備されている。	30	31	2	0
		1-（2）利用者の権利擁護	1－（2）－① 利用者の権利を擁護する具体的な取組が行われている。	23	22	9	9
			1－（2）－② 虐待や身体拘束による人権侵害の防止策や、万一に備えての取組が徹底されている。	30	21	7	5
		1-（3）ターミナルケア	1－（3）－① 終末期（ターミナル）にあたっての支援体制が構築されている。	23	17	13	10
		1-（4）認知症ケア	1－（4）－① 認知症高齢者への対応は、利用者の個別的状況を十分に把握した上で、適切なケアに努めている。	26	33	2	2
	2 日常生活支援	2－（1）食事	2－（1）－① サービス実施計画に基づいた食事サービスが用意されている。	39	16	0	8
			2－（1）－② 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本として美味しく、楽しく食べられるように工夫されている。	19	31	6	7
			2－（1）－③ 栄養ケアマネジメントを全ての利用者に対し、適切に提供できる仕組みになっている。	11	23	16	13
			2－（1）－④ 喫食環境（食事時間を含む）に配慮している。	18	33	5	7
		2－（2）入浴	2－（2）－① 入浴は、利用者の心身の状態やケア方法など個人的事情に配慮している。	35	20	1	7
			2－（2）－② 入浴は、利用者の希望に沿って行われている。	24	26	6	7
			2－（2）－③ 浴室・脱衣場等の環境は適切である。	42	0	13	8
		2－（3）排泄	2－（3）－① 排泄介助は適正かつ快適に行われている。	52	0	10	1
			2－（3）－② トイレは清潔で快適である。	54	1	7	1
		2－（4）睡眠	2－（4）－① 安眠できるように配慮している。	45	0	3	15
		2-（5）移動	2－（5）－① 移動の介助は利用者個々の心身の状況に応じて適切な技術を用いるとともに、個々の要望に十分に配慮している。	37	26	0	0
		2－（6）機能回復訓練	2－（6）－① 利用者の心身の状況に応じた機能回復の支援が適切に行われている。	27	25	8	3

	2 日常生活支援	2－（７）健康管理	2－（７）－① 日常の健康管理は適切である。	50	2	6	5
			2－（７）－② 褥瘡の予防対策について、具体的取組が行われている。	26	26	1	10
			2－（７）－③ 必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられる。	30	23	4	6
			2－（７）－④ 内服薬・外用薬等の扱いは確実に行われている。	46	1	8	8
		2－（８）衣服等	2－（８）－① 利用者の個性や好みを尊重し、衣服の選択について支援している。	27	18	5	13
			2－（８）－② 利用者の身だしなみや清潔への配慮について支援が行われている。	40	17	1	5
		2－（９）理容美容	2－（９）－① 利用者の理容・美容については、利用者の個性や好みを尊重し、選択を支援している。	30	16	8	9
		2－（１０）外出、外泊	2－（１０）－① 外出、外泊は利用者の希望に応じて行われている。	19	20	8	16
		2－（１１）余暇・レク	2－（１１）－① 利用者の余暇活動やレクリエーションへの支援が適切に行われている。	19	34	1	9
		2－（１２）所持金・預かり金の管理等	2－（１２）－① 利用者の金銭を預かり管理する場合は、利用者や家族に定期的に報告するなど適切な管理体制が整備されている。	28	12	8	15
			2－（１２）－② 新聞・雑誌の購読やテレビ等は利用者の意志や希望に沿って利用できる。	37	4	9	13
			2－（１２）－③ 食料品や嗜好品（酒、たばこ等を含む）、衣服などの身の回り品は、利用者が直接選んで購入でき、それを楽しむことができるように配慮している。	23	16	9	15

15%以上の職員が「C」をつけた項目についての検証

職員自己評価アンケート集計

（1）全入所施設及びﾃﾞｲ･ショート･あんしんの家　基本項目　自己評価集計

15%以上の職員が『C』を付けた項目が白抜き表示ですが、内容を確認いたしますと、まず、『事業計画が利用者等に周知されていない』と評価している職員が多く見受けられます。ご家族アンケートでも同様に結果があり、早急に課題の解決に取り組みます。

また、『就業状況の配慮』や『個別の教育･研修計画』にもC評価が多くみられます。各施設の職員会等で意見交換の場を積極的に設けたりして、全職員の働きがいの向上に努めます。

更に、地域との交流と連携においてもC評価が多い項目が見られます。社会福祉法人の地域貢献は、全国的にも法人の存在意義とともにどのような貢献が出来るかが緊急の課題として問われています。老人事業部会などでどのような貢献が出来るか検討し、出来ることから実践してまいります。

（2）全入所施設及び　ﾃﾞｲ･ショート･あんしんの家　内容項目　自己評価集計

まず、『利用者の権利擁護についての取り組み』ですが、在宅サービスのデイ･ショート･あんしんの家部門でC評価が高くなっています。独居の方をはじめとして様々な在宅環境の利用者と向き合っている職員にとって、自分たちが関わっていける限界もあり、この数字になっているのではないでしょうか。

次に、『ターミナルケア』についてですが、入所職員、通所系職員ともにC評価が15%を超えています。特養においては看取り介護に重点を入れていますが、『まだまだ十分な見取りの体制が取れていない』という自己評価です。各施設とも看取りケアの振り返り等を通して、更なる体制構築を目指していきます。

入所施設では、入浴や排泄介助の関連項目についてもC評価の数値が高くなっています。入浴の希望や快適な排泄介助に向けて、暮らしの中での個別ケアとして何が出来るかを考えていきます。

最後に、入所･通所系ともに『新聞･雑誌の講読やテレビ視聴への希望』についてもC評価が多くなっています。各施設･事業所の環境面の問題があり、全て解決することは困難ではありますが、個々のニーズを深く汲み取り、現状で出来る工夫を最大限に行い、少しでも利用者満足につなげ、評価の改善に努めます。

特養・ケアハウス、デイ・ショート・あんしんの家自己評価
○１５％以上の職員が「C」をつけた項目についての検証

基本評価項目
Ⅰ福祉サービスの基本方針と組織項目について

この項目において、基本理念や方針や事業計画の周知等活用されていないことが低い評価となっています。基本方針や事業計画が立案のみに終わらず組織の中で活用していくよう努めます。

Ⅱ　組織の運営管理

人材の確保・養成において、職員の就業状況への配慮や実習生の受入に対する評価が低くなっています。職員の就業状況の把握は勤怠管理システムを導入し事務局で一括管理することで、就業状況を把握し改善していきたいと思います。また、実習生の受入れ体制について、以前から実習生の受入れを行ってきましたが、明確な体制が確立されていないところもあり、人材育成の面からも体制の確立を行ってまいります。
地域との関係が適切に確保されている項目において、事業所の地域に対して機能の地域への還元、社会資源の明確化が低い評価となっています。地域に対して、広報誌・ＨＰ等を通してアピールしてまいります。

Ⅲ　適切な福祉サービスの実施

福祉サービスの質の確保で評価の低い項目がありました。サービスの質の評価を行いそれに基づいた改善がされていないとの評価であり、今後は、ＰＤＣＡサイクルを用いサービスの質の向上に向けた取組をなお一層努めてまいります。

内容評価項目
１　利用者の尊重
ターミナルケア（終末期）の支援体制の構築が低い評価となっています。特養において看取り介護に重点をおいていますが、まだ十分な体制が取れていないとの評価となっています。ターミナルケア（終末期）という難しい項目ですが、看取りケアの振り返りを通して、更なる支援体制の構築に努めてまいります。

２　日常生活支援
日常生活支援では、入浴、排泄の項目で低い評価となっています。入浴、排泄は利用者の尊厳にかかわる問題であるため、利用者の希望に沿った対応、環境の整備等を今後も進めてまいります。
入所施設において、新聞・雑誌の購読や食料品や嗜好品、衣類の購入など、利用者が直接選んで購入できていないとの評価でした。各事業所の環境、利用者の状況等の問題があり解決は難しい面もありますが、個々のニーズに対応していくよう努めてまいります。

（参考　1）

平成　30 年　9 月　吉日

利用者ご家族様

社会福祉法人
西予総合福祉会
理事長　　清家浩之
中長期計画委員会

利用者アンケート調査への協力について（お願い）

拝啓

初秋の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は格別のお引き立てをいただき、ありがたく御礼申し上げます。

西予総合福祉会では、平成 20 年に中長期計画策定の資料とするため障害者施設、保育園、高齢者施設ご利用者ご家族へのアンケート調査を実施し、大変多くの皆様から貴重なご意見やご要望を頂戴いたしました。

さて、中長期計画では、その進捗状況を確認するため、3 年おきに利用者家族アンケート等を行い計画の達成度や新たな課題の発掘に努め計画に反映させることと記されています。前回の短期事業(平成 21～22 年度)では平成 23 年 8 月にアンケートを実施し、実績の検証をいたしました。今回、中期事業(平成 23～25 年度)の実績検証及び長期計画(平成 26～30 年度)修正の為、改めて皆さまからご意見を伺いたいと思います。ご多用とは存じますが、**同封のアンケートにご回答いただき 9 月 30 日までに投函**いただきますようお願いいたします。今回も、ご要望やご質問等に真摯にお応えし、中長期計画の確認と改正に取り組みたいと思います。

アンケート依頼は平成 23 年実施時と同様、障害者施設、保育園、高齢者施設ごとに、利用者 30 名以下の施設は全員に、30 名以上の施設は無作為に抽出した 30 名以上の方の御家族にお願いしました。

敬具